Forum on Information Technology 2013

第12回情報科学技術フォーラム

プログラム

FIT2013実行委員長･プログラム委員長ご挨拶 ……	1
インフォメーション ……	2
交通案内図 ……	3
キャンパス図・会場図 ……	5
プログラム（タイムテーブル） ……	8
会場別スケジュール ……	12
各種イベントのご案内 ……	14
イベント企画概要 ……	15
講演論文集の内容 ……	34
展示会のご案内 ……	35
査読付き論文について ……	36
一般講演プログラム ……	37
論文査読者一覧 ……	61
FIT委員名簿 ……	63

平成25年9月4日（水）～6日（金）
鳥取大学　鳥取キャンパス

懇親会　9月5日(木)　18:45より
ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間(東)」

FIT2013本部　鳥取大学　鳥取キャンパス　共通教育棟 A棟3F 第1会議室
臨時電話 080-6624-2658（会期中のみ通話可能）

【主催】
一般社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

一般社団法人 電子情報通信学会
The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
情報・システムソサイエティ（ISS）　Information and Systems Society
ヒューマンコミュニケーショングループ（HCG）　Human Communication Group

【共催】 国立大学法人鳥取大学

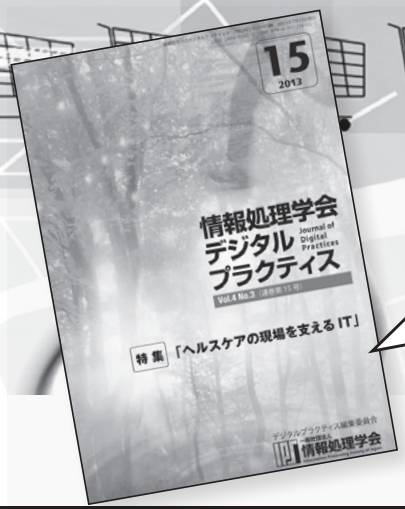
【協賛】 公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
一般社団法人鳥取市観光コンベンション協会

「情報処理」「情報処理 特集別刷」「デジタルプラクティス」amazon でご購入いただけます！

情報処理学会では、会誌「情報処理」「特集別刷」および「デジタルプラクティス」をオンライン通販サイト amazon でも販売しています。ぜひご利用ください。

「情報処理」（毎月15 日発行）
各分野のトップレベルの方々が、最新技術を分かりやすく解説しています。著名人による巻頭コラム、特集、解説、報告、連載、コラムなど。　◆定価 1,680 円（本体 1,600 円）

「情報処理」特集別刷
会誌「情報処理」の特集記事のみを抜き出した別刷（冊子）です。興味のある分野について手軽に読むことができます。
◆定価 700 円（本体 667 円）



「デジタルプラクティス」（年 4 回発行）
さまざまな実務の現場における IT 実践の中で積み重ねられる創意工夫、新しい利用法、経験から得られる教訓などを論文の形にして社会全体で公開共有し再利用することを目的としています。　◆定価 1,575 円（本体 1,500 円）

ご注文は ⇒ http://www.amazon.co.jp/

一般社団法人 情報処理学会 Information Processing Society of Japan
会誌編集部門　E-mail: editj@ipsj.or.jp
Tel.(03)3518-8371　Fax.(03)3518-8375

FIT2013 実行委員長・プログラム委員長 ご挨拶

FIT2013 実行委員会 委員長
砂原　秀樹
慶應義塾大学　大学院メディアデザイン研究科　教授

FIT2013 プログラム委員会 委員長
荒川　賢一
株式会社　NTT ドコモ先進技術研究所　所長

第 12 回目を迎える FIT2013 は初めての中国地方での開催ということで、鳥取での開催となります。FIT2013 は船井業績賞受賞記念講演、研究会等からの意欲的な提案による 13 件のイベント企画セッション、査読付き論文・一般論文からなる一般講演セッションで構成されています。なお、査読付き論文を含む一般講演数は 704 件を数えます。

本年度の船井業績賞は、プログラミング言語「Ruby」の開発者として著名なだけでなく、ICT の発展に関しても独自の視点で卓越したビジョンをお持ちの Ruby アソシエーション理事長　まつもとゆきひろ氏に贈呈することになり、受賞記念講演をして頂きます。船井業績賞受賞記念講演については、一般の方々にも広く聴講いただきたいという主旨で、無料公開講演としております。

一般講演セッションのプログラム編成には、情報処理学会各研究会、電子情報通信学会情報・システムソサイエティ、および、ヒューマンコミュニケーショングループ各研究専門委員会のご協力を頂きました。ここに FIT2013 開催に関するご協力に深く感謝いたします。

最後になりますが、会場をご提供下さいました国立大学法人鳥取大学様、並びに、開催準備と運営に多大なご尽力をいただきました現地実行委員会の皆様に深く御礼申し上げます。

インフォメーション

■総受付（インフォメーションコーナー）［共通教育棟 A 棟 1F 語学シャワー室］
受付時間：4 日（水）8:30-16:30　5 日（木）8:30-16:30　6 日（金）8:30-15:00
各種受付、講演論文集・DVD-ROM 販売、問合せ窓口

■ FIT2013 本部・手荷物預かり［共通教育棟 A 棟 3F 第 1 会議室］
臨時電話 080-6624-2658（会期中のみ通話可能）

■聴講参加費［プログラム・参加章・DVD-ROM 付き］（税込）
正会員：10,000 円　一般非会員：20,000 円　学生：無料（プログラム・参加章のみ）
船井業績賞受賞記念講演 限定聴講参加（会員・非会員問わず）：無料（参加章のみ）

■講演論文集・DVD-ROM（税込）
講演論文集セット（全論文集・DVD-ROM・カバー付き）：個人購入・法人購入共 57,000 円
講演論文集各分冊：個人購入 12,000 円 / 法人購入 15,000 円
講演論文集 DVD-ROM：個人購入 8,000 円 / 法人購入 55,000 円 / 学割会場販売：4,000 円
*DVD-ROM には一般講演全論文とプログラム収録

■懇親会
日時：9 月 5 日（木）18:45-20:45
会場：ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間（東）」
参加費（税込）：一般（正会員・非会員）5,000 円　学生 2,000 円
一般講演セッション座長または査読付き論文査読者 3,000 円
* FIT2013 会場（鳥取大学）から懇親会会場（ホテルニューオータニ鳥取）までは送迎バスで移動致します。
（送迎バス集合時間と出発時間：5 日（木）集合：17:50　出発：18:00）
送迎バスの乗車場所（大学事務局前）は、P.5 のキャンパス図をご確認下さい。
送迎バス乗車の際には、懇親会参加章引換券をスタッフにご提示下さい。

■お知らせ事項

［連絡掲示板］
FIT に関する周知および伝言等は、総受付前に設置する「連絡掲示板」に掲示しますのでご注意下さい。
各会場への個別の連絡や館内アナウンス等は致しません。

［休憩室・ネット接続コーナー（無線 LAN）］
利用可能エリア：共通教育棟 C 棟 3F C31
ご希望の方は、FIT2013 総受付で利用申込書に必要事項をご記入のうえ、受付に提出して下さい。引き換えに利用案内をお渡し致します。なお電源の提供はしておりませんのでご了承下さい。

［食堂］
大学会館 1F カフェテリアマーレ（第 1 食堂）営業時間 8:30-19:00
大学会館 2F ベーカリーカフェ（セルリア）営業時間 10:30-15:00

［売店］
大学会館（東館）2F ショップ 営業時間 10:30-15:00

［お土産コーナー・観光案内デスク］
FIT2013 会場において、鳥取県のお土産コーナー・観光案内デスクを準備する予定です。
場所は開催当日に会場総受付でご案内と致します。

［喫煙について］
大学構内は全面禁煙です。

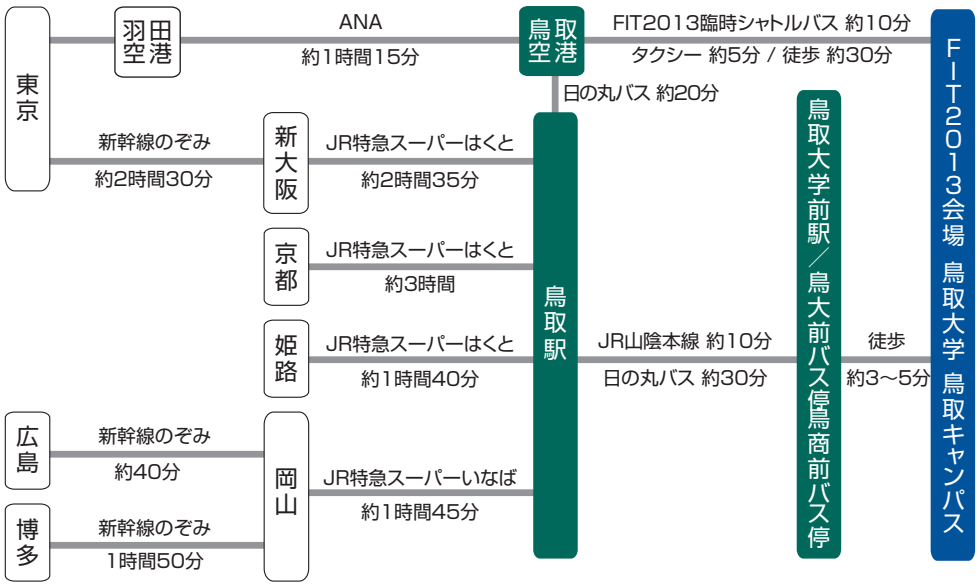
［駐車場について］
一般参加者用の駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮下さい。
会場へは、公共交通機関等をご利用のうえ、お越し下さいますようお願い致します。

［会場（鳥取大学）までの交通］* 運行時間については、P.4 の JR・バス各種時刻表をご確認下さい。
・鳥取空港から会場まで FIT2013 臨時シャトルバス約 10 分、タクシー約 5 分、徒歩約 30 分
※ 会期中は、航空便ダイヤにあわせて鳥取空港〜会場間の臨時シャトルバスを運行致します（大型 1 台運行）。
・鳥取空港から鳥取駅までバス約 20 分
・鳥取駅から鳥大前駅まで JR 約 10 分、バス約 30 分、鳥大前駅、最寄りバス停から会場まで徒歩約 5 分
・タクシー会社　日本交通：0857-26-6111　日ノ丸ハイヤー：0857-22-2121　観光タクシー：0857-21-1234
大森タクシー：0857-23-6511　旭タクシー：0857-28-0081

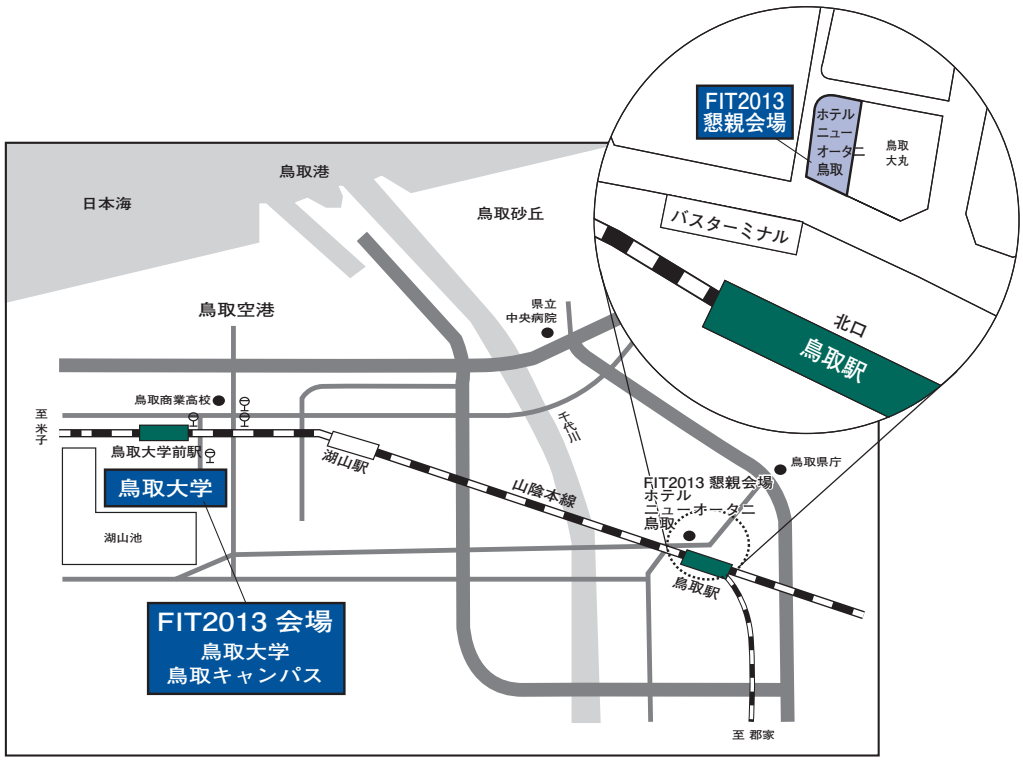
■今後の FIT・大会情報
・FIT2014 第 13 回情報科学技術フォーラム
会期：2014 年 9 月 3 日（水）〜 5 日（金）　会場：筑波大学 筑波キャンパス
・情報処理学会 第 76 回全国大会
会期：2014 年 3 月 11 日（火）〜 13 日（木）　会場：東京電機大学 東京千住キャンパス
・電子情報通信学会 2014 年総合大会
会期：2014 年 3 月 18 日（火）〜 21 日（金）　会場：新潟大学

■ FIT2013 幹事学会
一般社団法人情報処理学会 事業部門　Tel.03-3518-8373　e-mail：jigyo@ipsj.or.jp

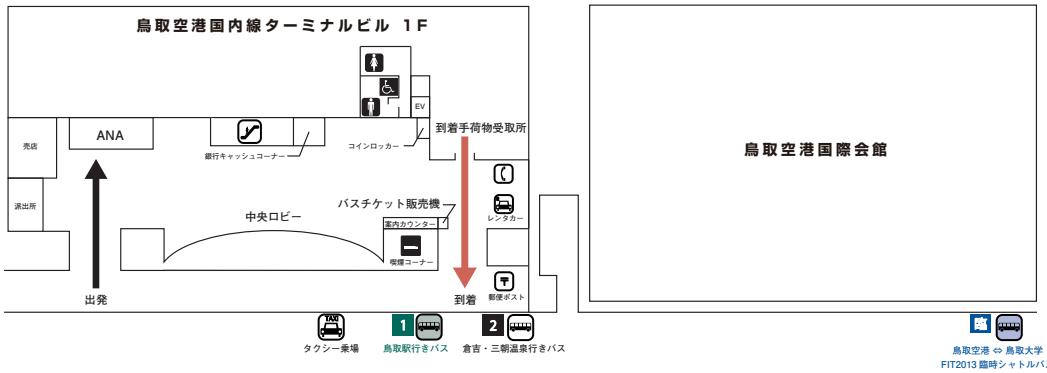
交通案内図



鳥取大学鳥取キャンパス周辺図



鳥取空港バス乗降場所



JR・バス　各種時刻表

■鳥取空港 ⇔ 鳥取駅［日の丸バス（定期便）］

※航空便のダイヤ改正によりバスの発着時刻が変更になる可能性がございます。

鳥取空港 ⇒ 鳥取駅　〈所要時間 約20分 / 運賃450円〉

鳥取空港（発）	鳥取駅（着）	羽田空港 ⇒ 鳥取空港 航空便
08:05	08:25	ANA293鳥取空港 07:55着
12:20	12:40	ANA295鳥取空港 12:10着
17:25	17:45	ANA297鳥取空港 17:15着
21:10	21:30	ANA299鳥取空港 21:00着

※原則、航空便到着時刻の10分後がバスの出発時刻になります。

鳥取駅 ⇒ 鳥取空港　〈所要時間 約20分 / 運賃450円〉

鳥取駅（発）	鳥取空港（着）	鳥取空港 ⇒ 羽田空港 航空便
06:05	06:25	ANA292鳥取空港 07:05発
07:40	08:00	ANA294鳥取空港 08:40発
11:55	12:15	ANA296鳥取空港 12:55発
16:45	17:05	ANA298鳥取空港 17:45発

※原則、バス到着時刻の40分後が航空便の出発時刻になります。

■鳥取空港 ⇔ 鳥取大学［FIT2013臨時シャトルバス］

※9月4日～6日の期間、以下の航空便ダイヤにあわせて臨時シャトルバス1台を運行いたします。
※シャトルバスの定員は60名、運賃は無料です。
※航空便のダイヤ改正によりバスの発着時刻が変更になる可能性がございます。

鳥取空港 ⇒ 鳥取大学 鳥取キャンパス　〈所要時間 約10分 / 運賃無料〉

鳥取空港（発）	鳥取大学（着）	台数	羽田空港 ⇒ 鳥取空港 航空便
08:15	08:25	大型 1台	ANA293鳥取空港 07:55着
12:30	12:40	大型 1台	ANA295鳥取空港 12:10着

※原則、航空便到着時刻の20分後がバスの出発時刻になります。

鳥取大学 鳥取キャンパス ⇒ 鳥取空港　〈所要時間 約10分 / 運賃無料〉

鳥取大学（発）	鳥取空港（着）	台数	鳥取空港 ⇒ 羽田空港 航空便
11:55	12:05	大型 1台	ANA296鳥取空港 12:55発
16:45	16:55	大型 1台	ANA298鳥取空港 17:45発

※原則、バス到着時刻の50分後が航空便の出発時刻になります。
※FIT2013最終日（9月6日）の鳥取大学（発）16:45のみシャトルバス2台を運行いたします。

■鳥取駅 ⇔ 鳥取大学［JR山陰本線］

〈所要時間 約10分 / 運賃180円〉

時間（平日）	鳥取駅発 ⇒ 鳥取大学前駅 倉吉・米子・出雲市方面	鳥取大学前駅発 ⇒ 鳥取駅 倉吉・鳥取・大阪方面
7	07 25	02 46
8	04 33 52	22 40
9	27	32
10	17 34	13
11	15	01 48
12	14 55	30 54
13		41
14	01 34	43
15	23	03
16	03 19 54	09 39
17	55	15 39
18	31	21 30 56
19	10 44	28

FIT2013会期中（9月4日～6日）の期間限定臨時運行列車です。
時刻については、臨時便の為に多少前後する可能性がございます。
鳥取大学前駅18:30発の臨時運行列車は、4日・5日のみ運行予定です。

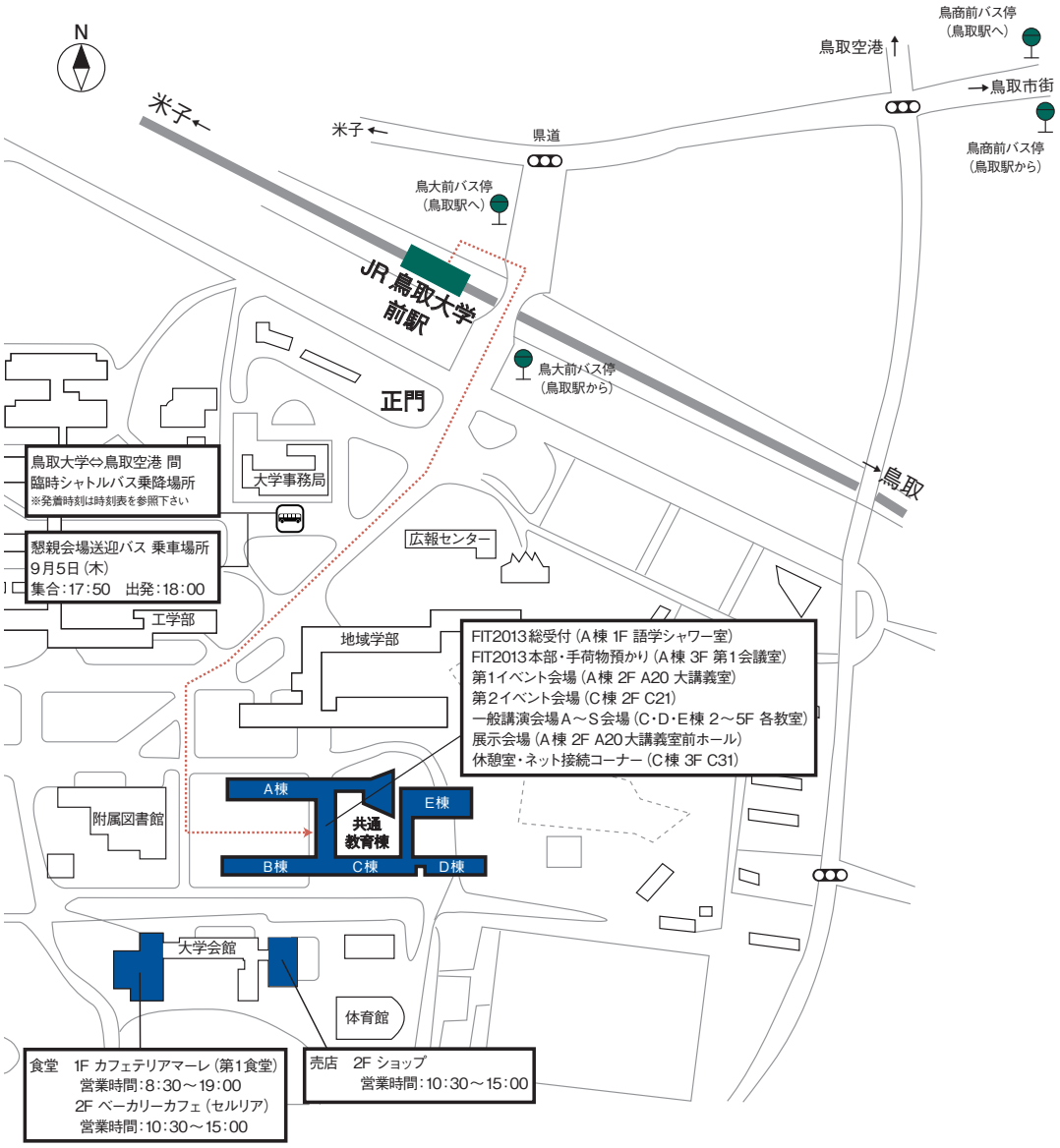
■鳥取駅 ⇔ 鳥取大学［日の丸バス（定期便）］

〈所要時間 約30分 / 運賃350円程度〉

時間（平日）	鳥取駅バスターミナル⑤発 ⇒ 鳥大前 / 鳥商前 各バス停	鳥大前 / 鳥商前 各バス停発 ⇒鳥取駅バスターミナル⑤
7	00 10 (18) 35	02 07 10 28 36 (42) 44 (52) 54
8	08 15 20 45	(02) 04 (07) 09 10 19 46 48
9	25 55	12 18 37 57
10	25 45 55	21
11	45	00 49 50
12	15 (30)	10
13	15 (25) 45 55	06 31 50 (57) 59
14	15 (25) 28 55 (58)	50
15	(20) 25 (45) 55	(03) 05 21 (33) 34 35 51
16	05 (15) 25 55	00 (23) 25 35 (52) 54
17	(00) (08) 15 25 38 55	17 27 (42) 44 52
18	15 50	19 46 48
19	15 45	11

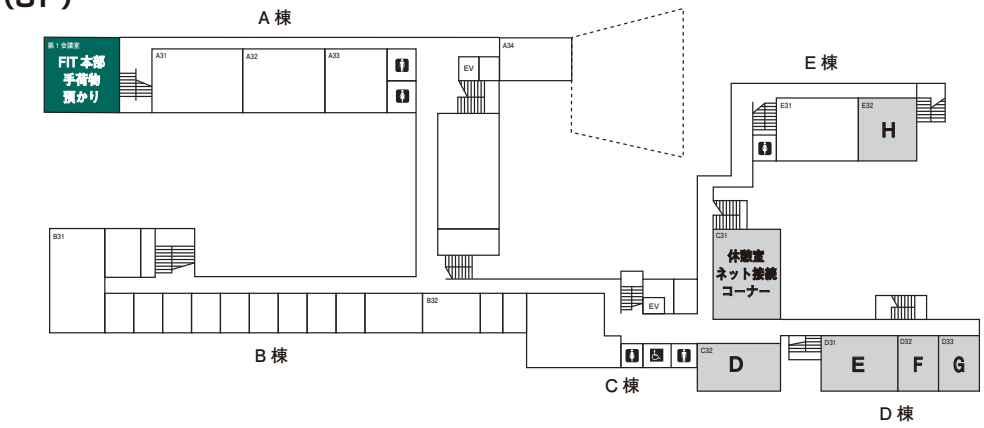
※バスの時刻により発着バス停が異なりますのでご注意下さい
○着 鳥大前バス停　○発 鳥大前バス停
□着 鳥商前バス停　□発 鳥商前バス停

鳥取大学鳥取キャンパス図（アクセス）

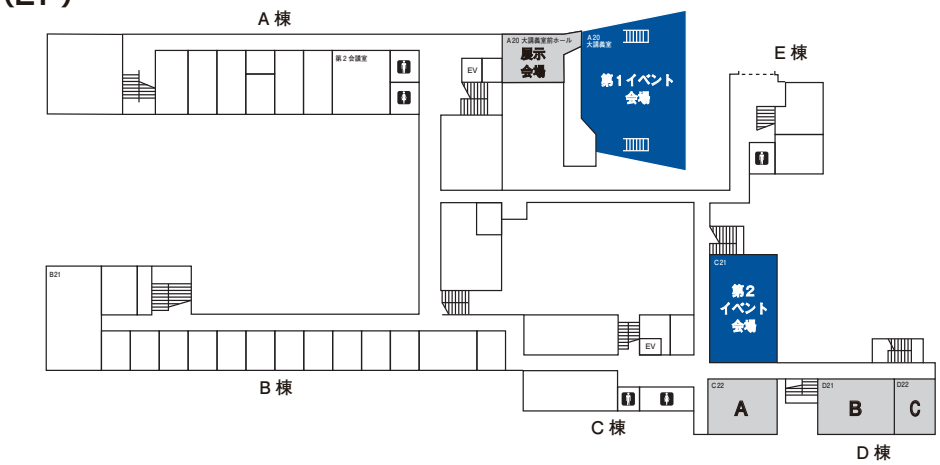


会場図　共通教育棟（1 ～ 3F）

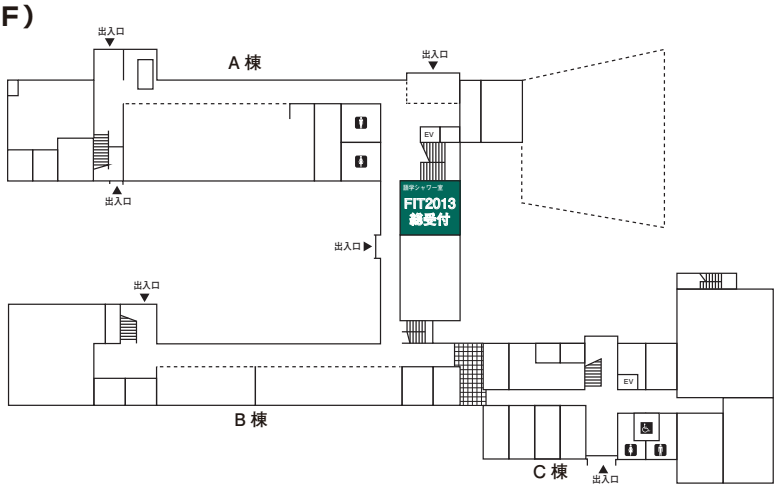
(3F)



(2F)

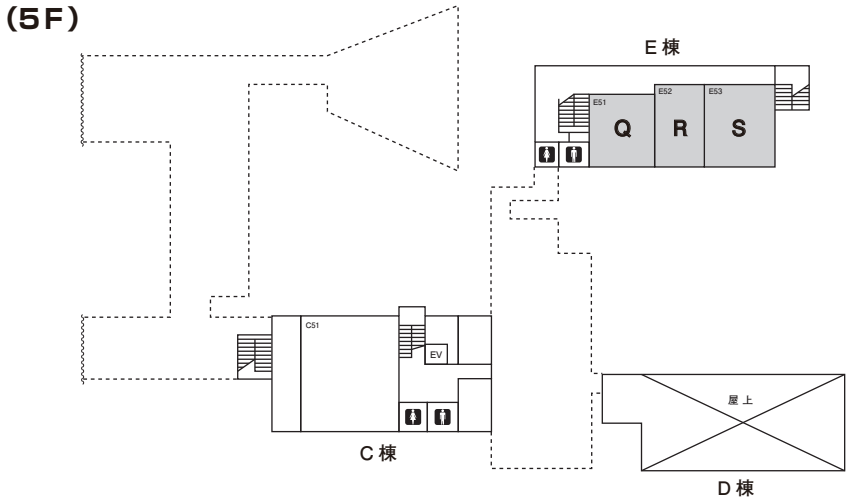


(1F)

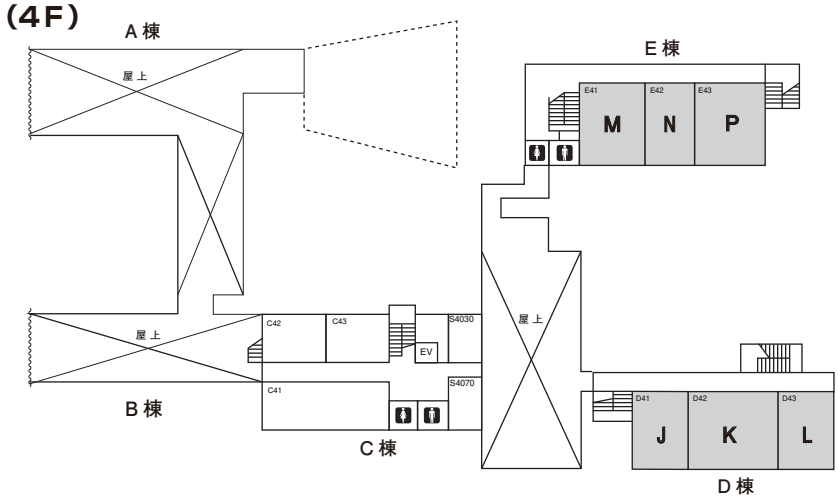


会場図　共通教育棟（4～5F）

(5F)



(4F)



日時＼会場		第1イベント会場 共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室	第2イベント会場 共通教育棟 C 棟 2F C21	展示会場 共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室前ホール
9月4日（水）	9:30 **1** 12:00	国際情勢の変化から見る サイバー攻撃 ～その本質を探る～ P. 15	人文科学における 時空間情報の活用 P. 23	展示会 9:30 ～ 17:00 P. 35
	13:00 **2** 15:00	第 2 回統一的評価基準に基づく 電子透かしコンテスト ～チャレンジングな評価 基準を超えられるか！～ P. 16	ビッグデータ時代の オンライン学習 アルゴリズム P. 25	
	15:30 **3** 17:30	身近になったライフログ P. 18	受賞者フォーラム： メディア認識・理解の 最前線と若手への メッセージ P. 26	
9月5日（木）	9:30 **4** 12:00		10:00 ～ 12:00 ICT における産業界が望む ヒューマンリソース ～ ICT の将来を担う キャリアを究める～ P. 29	展示会 9:30 ～ 17:00 P. 35
	13:00 13:50	FIT 学術賞 表彰式		
	14:00 15:15	【無料公開】 FIT2013 船井業績賞 受賞記念講演 「Ruby が成し遂げたこと」 まつもと ゆきひろ （Ruby アソシエーション 理事長） P. 15	第 1 イベント会場 FIT2013 船井業績賞受賞記念講演 中継予定	
	15:30 **5** 17:30	ビッグデータ時代到来！ ～ウェブ最先端企業が 最新動向を語る～ P. 18	ソーシャルメディアの分析 ～経済物理学、数理モデル の観点から～ P. 30	
		18:45 - 20:45　懇　親　会（ホテルニューオータニ鳥取）		
9月6日（金）	9:30 **6** 12:00	環境問題と サイバーワールド ～身近な問題にどうやって 取り組むか～ P. 20	学びを科学する： MOOCs で Cloud な Big Data を Learning Analytics！ P. 31	展示会 9:30 ～ 15:00 P. 35
	13:00 **7** 16:00	13:00 ～ 15:00 映像符号化の最新動向 ～ HEVC 標準化～ P. 22	基礎理論が導く最先端技術： 計算限界解明への取り組みと 超高速アルゴリズム開発 P. 32	

※右下の数字は当プログラム冊子の掲載ページ番号です。

プログラム（タイムテーブル）

A 共通教育棟 C 棟 2F C22	B 共通教育棟 D 棟 2F D21	C 共通教育棟 D 棟 2F D22	D 共通教育棟 C 棟 3F C32	E 共通教育棟 D 棟 3F D31
アルゴリズム・ コンピュテーション（1） 喜田　拓也 （北大） A 分野 P. 37	モバイル OS 山内　利宏 （岡山大） B 分野 P. 38	組込みシステムと アーキテクチャ 中本　幸一 （兵庫県大） C 分野 P. 39	実世界 DB 灘本　明代 （甲南大） D 分野 P. 41	自然言語処理・応用 村田　真樹 （鳥取大） E 分野 P. 42
アルゴリズム・ コンピュテーション（2） 全　眞嬉 （東北大） A 分野 P. 37	基盤ソフトウェア 山田　浩史 （農工大） B 分野 P. 38	ディペンダブルシステム （1） 金川　信康 （日立） C 分野 P. 39	Web・検索 鈴木　優 （名大） D 分野 P. 41	物語生成 橋本　泰一 （グリー） E 分野 P. 42
アルゴリズム・ コンピュテーション（3） 阿久津　達也 （京大） A 分野 P. 37	並列処理 城田　祐介 （東芝） B 分野 P. 38	ディペンダブルシステム （2） 中村　友洋 （日立） C 分野 P. 39	文書グラフ・ 自然言語処理 斉藤　和巳 （静岡県大） D 分野 P. 41	
アルゴリズム・ コンピュテーション（4） 河村　彰星 （東大） A 分野 P. 37	仕様・設計， 形式的手法 井上　真二 （鳥取大） B 分野 P. 38	再構成型システムと システム設計 弘中　哲夫 （広島市大） C 分野 P. 39	位置情報・地理 DB・ 時空間 DB 熊本　忠彦 （千葉工大） D 分野 P. 41	自然言語処理・基礎 松本　一則 （KDDI 研） E 分野 P. 42
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2013 船井業績賞受賞記念講演」を開催				
数理モデル化と 問題解決 但馬　康宏 （岡山県大） A 分野 P. 37	アプリケーション開発， 品質保証 阿萬　裕久 （愛媛大） B 分野 P. 38	コンピュータシステム 技術（1） 吉永　努 （電通大） C 分野 P. 39		音楽情報処理（1） 酒向　慎司 （名工大） E 分野 P. 42
18:45 - 20:45　懇　親　会（ホテルニューオータニ鳥取）				
プログラミングと 数理モデル化 庄野　逸 （電通大） A 分野 P. 38	デジタルドキュメント・ ソフトウェアサイエンス 久代　紀之 （九工大） B 分野 P. 39	コンピュータシステム 技術（2） 窪田　昌史 （広島市大） C 分野 P. 40	検索・推薦 小林　亜樹 （工学院大） D 分野 P. 41	音楽情報処理（2） 森勢　将雅 （山梨大） E 分野 P. 42
			ソーシャルメディア 牛尼　剛聡 （九大） D 分野 P. 41	音声情報処理 伊藤　彰則 （東北大） E 分野 P. 43

日時 ＼ 会場		F 共通教育棟 D 棟 3F D32	G 共通教育棟 D 棟 3F D33	H 共通教育棟 E 棟 3F E32	J 共通教育棟 D 棟 4F D41	K 共通教育棟 D 棟 4F D42	L 共通教育棟 D 棟 4F D43
9月4日（水）	9:30	データマイニング	ゲーム情報学	AR・VR・応用	画像知覚	イラストと CG	情報伝達・コミュニケーション
	1	松原　繁夫 （京大）	村松　正和 （電通大）	神原　誠之 （奈良先端大）	合志　清一 （工学院大）	塚本　昌彦 （神戸大）	倉本　到 （京都工繊大）
	12:00	F 分野 P. 43	F 分野 P. 44	H 分野 P. 46	I 分野 P. 47	I 分野 P. 49	J 分野 P. 50
	13:00	知識処理	生体情報科学（1）	文字認識・物体認識		人の実在性・存在感	UI･HI の基礎（1）
	2	八槇　博史 （電機大）	高橋　正信 （芝浦工大）	岩村　雅一 （大阪府大）		福住　伸一 （NEC）	伊藤　昌毅 （鳥取大）
	15:00	F 分野 P. 43	G 分野 P. 44	H 分野 P. 46		J 分野 P. 49	J 分野 P. 50
	15:30	情報推薦	生体情報科学（2）	動作解析・バイオメトリクス	画像特徴・検出（1）	人の状態観察・推定（1）	UI･HI の基礎（2）
	3	栗原　聡 （電通大）	阪田　治 （山梨大）	槇原　靖 （阪大）	三功　浩嗣 （KDDI 研）	石井　裕 （岡山県大）	棟方　渚 （北大）
	17:30	F 分野 P. 43	G 分野 P. 45	H 分野 P. 46	I 分野 P. 48	J 分野 P. 49	J 分野 P. 50
9月5日（木）	9:30	マルチエージェント	生体情報科学（3）	映像解析・セグメンテーション	画像特徴・検出（2）	人の状態観察・推定（2）	デバイス・ロボットへの応用
	4	山本　泰生 （山梨大）	古川　徹生 （九工大）	大谷　淳 （早大）	高村　誠之 （NTT）	渡辺　昌洋 （NTT）	加藤　昇平 （名工大）
	12:00	F 分野 P. 43	G 分野 P. 45	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	J 分野 P. 49	J 分野 P. 51
	13:00 13:50	第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2013 船井業績賞受賞記念講演」を開催					
	14:00 15:15						
	15:30	シミュレーション	映像解析・光源・照明	画像計測	HEVC	新しいコミュニケーション	教育工学（2）
	5	菅原　俊治 （早大）	長原　一 （九大）	堀　磨伊也 （鳥取大）	藤井　俊彰 （名大）	田中　貴紘 （農工大）	島川　博光 （立命館大）
	17:30	F 分野 P. 44	H 分野 P. 46	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	J 分野 P. 50	K 分野 P. 51
		18:45 - 20:45　懇　親　会（ホテルニューオータニ鳥取）					
9月6日（金）	9:30	ネットワーク情報処理	顔・ジェスチャ	特徴抽出	画像符号化	ヒューマン情報処理の基礎	AVM・画像表現
	6	服部　宏充 （京大）	岩井　儀雄 （鳥取大）	望月　貴裕 （NHK 放送技研）	坂東　幸浩 （NTT-AT）	望月　理香 （NTT）	亀山　渉 （早大）
	12:00	F 分野 P. 44	H 分野 P. 46	H 分野 P. 47	I 分野 P. 48	J 分野 P. 50	I 分野 P. 49
	13:00	学習	人物検出・移動検知	マルチメディア・仮想環境基礎	画像復元・超解像	人の状態推定とその応用	教育工学（4）
	7	藤田　桂英 （農工大）	山口　修 （東芝）	今井　順一 （千葉工大）	内藤　整 （KDDI 研）	水科　晴樹 （NICT）	小西　達裕 （静岡大）
	16:00	F 分野 P. 44	H 分野 P. 46	K 分野 P. 51	I 分野 P. 48	J 分野 P. 50	K 分野 P. 51

プログラム（タイムテーブル）

M 共通教育棟 E 棟 4F E41	N 共通教育棟 E 棟 4F E42	P 共通教育棟 E 棟 4F E43	Q 共通教育棟 E 棟 5F E51	R 共通教育棟 E 棟 5F E52	S 共通教育棟 E 棟 5F E53
高機能 マルチメディア（1） 栗林　稔 （神戸大） K 分野 P. 52	福祉情報工学（1） 和田　親宗 （九工大） K 分野 P. 53	ネットワークプロトコル 鈴木　聡 （高エネルギー 加速器研） L 分野 P. 55	街路における 情報収集と提供 梅津　高朗 （滋賀大） M 分野 P. 56	QR コードと 画像処理 吉留　健 （鳥取大） O 分野 P. 57	地域・ ビジネスモデル（1） 江崎　和博 （法大） O 分野 P. 59
サイバーワールド 井原　雅行 （NTT） K 分野 P. 52	マルウェア・ 不正アクセス対策 高橋　健一 （鳥取大） L 分野 P. 54	ユビキタスセンシング・ 家電制御 岩井　将行 （電機大） M 分野 P. 55	車車間通信と シミュレーション 屋代　智之 （千葉工大） M 分野 P. 56	エネルギー・ ネットワーク 刀川　眞 （室蘭工大） O 分野 P. 57	地域・ ビジネスモデル（2） 新川　芳行 （龍谷大） O 分野 P. 59
高機能 マルチメディア（2） 新見　道治 （九工大） K 分野 P. 52	分散システム基礎 山口　実靖 （工学院大） L 分野 P. 54	測位技術 寺島　美昭 （三菱） M 分野 P. 55	人文科学と コンピュータ 関野　樹 （総合地球環境学研） N 分野 P. 56	照明システム・ センシング 神沼　靖子 （情報処理学会 フェロー） O 分野 P. 58	ビジネス・流通 金田　重郎 （同志社大） O 分野 P. 59
教育工学（1） 中平　勝子 （長岡技科大） K 分野 P. 52	情報漏洩対策・ 個人情報保護 朴　美娘 （神奈川工科大） L 分野 P. 54	スマートフォン アプリケーション 新井　イスマイル （明石高専） M 分野 P. 55	教育学習支援 情報システム 安武　公一 （広島大） N 分野 P. 57	電力情報分析 若原　俊彦 （福岡工大） O 分野 P. 58	レコメンデーション と WebAPI 西　宏之 （崇城大） O 分野 P. 59
第 1 イベント会場で 「FIT 学術賞表彰式」及び「FIT2013 船井業績賞受賞記念講演」を開催					
教育工学（3） 小尻　智子 （関西大） K 分野 P. 52	認証 福田　洋治 （愛知教育大） L 分野 P. 54	モバイル アプリケーション 高田　敏弘 （NTT） M 分野 P. 55		画像情報システム 高橋　尚子 （國學院大） O 分野 P. 58	防災・減災 丸山　文宏 （富士通研） O 分野 P. 59
18:45 - 20:45　懇　親　会（ホテルニューオータニ鳥取）					
福祉情報工学（2） 縄手　雅彦 （島根大） K 分野 P. 52	クラウド コンピューティング 山井　成良 （岡山大） L 分野 P. 54	センサネットワーク 岩井　将行 （電機大） M 分野 P. 56	電子化知的財産・ 社会基盤 橋本　誠志 （徳島文理大） N 分野 P. 57	データマイニング 内田　理 （東海大） O 分野 P. 58	行動マイニング 岡本　学 （NTT） O 分野 P. 60
福祉情報工学（3） 酒向　慎司 （名工大） K 分野 P. 53	ネットワーク運用 山之上　卓 （鹿児島大） L 分野 P. 55	マルチメディア通信 と分散処理 原　隆浩 （阪大） M 分野 P. 56	コンピュータと教育 鈴木　貢 （島根大） N 分野 P. 57	スマートフォンアプリ 石野　正彦 （福井工大） O 分野 P. 58	位置情報マイニング 福田　洋治 （愛知教育大） O 分野 P. 60

会場別スケジュール

第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）

日	時　間	内　　容
9月4日（水）	**国際情勢の変化から見るサイバー攻撃　～その本質を探る～**	
	9:30-10:45	講演「本質を見抜く“目力”講座」岡谷貢（富士通 / IPA）
	10:45-12:00	パネル討論 司　　会：加藤雅彦（インターネットイニシアティブ） パネリスト：岡谷貢（富士通 / IPA），高倉弘喜（名大），前田典彦（カスペルスキー）， 有本真由（小川綜合法律事務所）
	第 2 回統一的評価基準に基づく電子透かしコンテスト　～チャレンジングな評価基準を超えられるか！～	
	13:00-13:05	開会挨拶　越前功（NII）
	13:05-13:20	概要説明・審査結果発表・入賞者表彰　岩村恵市（東理大）
	13:20-14:20	入賞者によるアルゴリズム or 性能紹介
	14:20-14:40	審査講評（画像）　合志清一（工学院大）
	14:40-15:00	審査講評（音響）　西村明（東京情報大）
	身近になったライフログ	
	15:30-17:30	パネル討論 司　　会：角康之（はこだて未来大） パネリスト：中村聡史（明大），川井拓也（ヒマナイヌ），寺岡照彦（ヤフー），小関悠（Facebook）
9月5日（木）	**FIT 学術賞　表彰式**	
	13:00–13:50	FIT 運営委員長 挨拶 FIT2012 ヤングリサーチャー賞 表彰式 FIT2013 論文賞 表彰式 公益財団法人 船井情報科学振興財団 挨拶 FIT2013 船井ベストペーパー賞 表彰式 FIT2013 船井業績賞 表彰式 FIT2013 船井業績賞 受賞挨拶
	FIT2013 船井業績賞受賞記念講演　［無料公開］	
	14:00-15:15	**Ruby が成し遂げたこと** **まつもと　ゆきひろ（Ruby アソシエーション 理事長）**
	ビッグデータ時代到来！　～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～	
	15:30-15:50	講演 1「ソーシャルメディアにおけるビッグデータの活用と課題」 橋本泰一（グリー）
	15:50-16:10	講演 2「課題解決エンジンを支えるデータ処理システムと利活用事例」 角田直行（ヤフー）
	16:10-16:30	講演 3「E-commerce 企業におけるビッグデータ収集・解析基盤とその活用例」 平手勇宇（楽天）
	16:30-16:50	講演 4「リクルートのビッグデータへの取り組み」 米谷修（リクルートテクノロジーズ）
	16:50-17:30	パネル討論「ビッグデータ時代、今必要なモノは何？」 司　　会：山名早人（早大） パネリスト：橋本泰一（グリー），角田直行（ヤフー），平手勇宇（楽天），米谷修（リクルートテクノロジーズ）
9月6日（金）	**環境問題とサイバーワールド　～身近な問題にどうやって取り組むか～**	
	9:30-10:00	講演 1「日本の PM2.5 の現状と数値シミュレーションの課題」 菅田誠治（国立環境研）
	10:00-10:30	講演 2「東アジア黄砂発生監視システムの開発」 木村玲二（鳥取大）
	10:30-11:00	講演 3「マルチプラットフォームによる汽水域環境モニタリング技術の現状と課題」 作野裕司（広島大）
	11:10-12:00	パネル討論「きれいな水と空気が当たり前と思ってはいけない！ ～環境問題を解決する技術のあり方を、技術、社会、人の立場から議論する～」 司　　会：井原雅行（NTT） パネリスト：菅田誠治（国立環境研），木村玲二（鳥取大），作野裕司（広島大）
	映像符号化の最新動向　～ HEVC 標準化～	
	13:00-13:30	講演 1「HEVC 技術解説［予測処理］」 坂東幸浩（NTT-AT）
	13:30-14:00	講演 2「HEVC 技術解説［直交変換符号化と量子化処理］」 市ヶ谷敦郎（NHK）
	14:00-14:30	講演 3「HEVC 技術解説［ループ内フィルタ処理］」 蝶野慶一（NEC）
	14:30-15:00	講演 4「HEVC 技術解説［エントロピー符号化］」 服部亮史（三菱）

第２イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）

日	時　間	内　　容
9月4日（水）	**人文科学における時空間情報の活用**	
	9:30-9:35	オープニング
	9:35-10:00	講演 1「地図の多様性を維持するための社会文化環境」 有川正俊（東大）
	10:00-10:25	講演 2「人文科学における時間情報の活用」 関野樹（総合地球環境学研）
	10:25-10:50	講演 3「ウェブ GIS を用いた空間時間データ可視化分析共同研究環境」 BOURDON Julien（京大）
	10:50-11:15	講演 4「VR-AR 技術を用いた多元的デジタルアーカイブズ・シリーズ」 渡邉英徳（首都大）
	11:15-12:00	パネル討論 司　　会：原正一郎（京大） パネリスト：有川正俊（東大），関野樹（総合地球環境学研），BOURDON Julien（京大），渡邉英徳（首都大）
	ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム	
	13:00-13:40	講演 1「オンライン予測理論とその応用」 畑埜晃平（九大）
	13:40-14:20	講演 2「知識の探索と活用のジレンマと多腕バンディット問題」 本多淳也（東大）
	14:20-15:00	講演 3「インターネットにおけるオンライン学習」 中村篤祥（北大）
	受賞者フォーラム：メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ	
	15:30-15:47	講演 1「物体の見えのモデリングから人の視覚へ」 佐藤洋一（東大）
	15:47-16:04	講演 2「一般化学習ベクトル量子化の開発と実用化」 佐藤敦（NEC）
	16:04-16:21	講演 3「大規模事例を用いる高速なパターン認識とその応用」 岩村雅一（大阪府大）
	16:21-16:38	講演 4「手書きインタフェースの実用化」 中川正樹（農工大）
	16:38-16:55	講演 5「滑らか拘束とバイヨン寺院」 池内克史（東大）
	16:55-17:30	パネル討論「社会的評価の高い研究とは　～表彰受賞者が語る研究の社会的インパクトと醍醐味～」 司　　会：鷲見和彦（青学大） パネリスト：佐藤洋一（東大），佐藤敦（NEC），岩村雅一（大阪府大），中川正樹（農工大），池内克史（東大）
9月5日（木）	**ICT における産業界が望むヒューマンリソース　～ ICT の将来を担うキャリアを究める～**	
	10:00-12:00	パネル討論 司　　会：荒川賢一（NTT ドコモ） パネリスト：荒川賢一（NTT ドコモ），山田勉（日立），橋本雅伸（NEC），梶本一夫（パナソニック）， 日高東潮（NTT），諸永知子（富士通研）
	ソーシャルメディアの分析　～経済物理学、数理モデルの観点から～	
	15:30-15:35	全体司会
	15:35-15:40	講演概要紹介「物理学からのソーシャルメディア分析」 石井晃（鳥取大）
	15:40-16:30	講演 1「ブログから見る人間の集団的振る舞いの法則性」 佐野幸恵（日大）
	16:30-17:20	講演 2「ソーシャルメディアの解析手法としてのヒット現象の数理モデル」 石井晃（鳥取大）
	17:20-17:30	エンディング
9月6日（金）	**学びを科学する：MOOCs で Cloud な Big Data を Learning Analytics !**	
	9:30-12:00	パネル討論 司　　会：竹村治雄（阪大） パネリスト：土佐尚子（京大），山内祐平（東大），山田恒夫（放送大），山川修（福井県大）， 武田俊之（関西学院大），梶田将司（京大）
	基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発 ［新学術領域「計算限界解明」・JST ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト・JST ERATO 河原林巨大グラフプロジェクト共同企画］	
	13:00-13:25	講演 1「計算限界解明：なぜ限界を？＆なぜ今？」 渡辺治（東工大）
	13:25-13:50	講演 2「離散構造処理系に関する計算量解析と実問題への適用」 湊真一（北大）
	13:50-14:15	講演 3「巨大グラフの解析とアルゴリズム」 河原林健一（NII）
	14:30-16:00	ポスターセッション「基礎理論から見えてくる最先端アルゴリズムの世界」

一般講演会場　A ～ S 会場（共通教育棟 C 棟２，３F　D 棟２，３，４F　E 棟３，４，５F）

4 日（水）9:30 ～ 12:00 , 13:00 ～ 17:30　　5 日（木）9:30 ～ 12:00 , 15:30 ～ 17:30
6 日（金）9:30 ～ 12:00 , 13:00 ～ 16:00

展示会会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室前ホール）

4 日（水）9:30 ～ 17:00　　5 日（木）9:30 ～ 17:00　　6 日（金）9:30 ～ 15:00

懇親会会場（ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間（東）」）

5 日（木）18:45 ～ 20:45

各種イベントのご案内

■船井業績賞受賞記念講演　5 日（木）14:00-15:15　【無料公開】

第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）
「Ruby が成し遂げたこと」
まつもと ゆきひろ（Ruby アソシエーション 理事長）

■ FIT 学術賞表彰式　5 日（木）13:00-13:50

第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）
FIT2013 船井業績賞・船井ベストペーパー賞・論文賞／ FIT2012 ヤングリサーチャー賞

■イベント企画

第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）
・4 日　9:30-12:00　国際情勢の変化から見るサイバー攻撃　～その本質を探る～
・4 日　13:00-15:00　第 2 回統一的評価基準に基づく電子透かしコンテスト
～チャレンジングな評価基準を超えられるか！～
・4 日　15:30-17:30　身近になったライフログ
・5 日　15:30-17:30　ビッグデータ時代到来！　～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～
・6 日　9:30-12:00　環境問題とサイバーワールド　～身近な問題にどうやって取り組むか～
・6 日　13:00-15:00　映像符号化の最新動向　～ HEVC 標準化～

第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）
・4 日　9:30-12:00　人文科学における時空間情報の活用
・4 日　13:00-15:00　ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
・4 日　15:30-17:30　受賞者フォーラム：メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ
・5 日　10:00-12:00　ICT における産業界が望むヒューマンリソース
～ ICT の将来を担うキャリアを究める～
・5 日　15:30-17:30　ソーシャルメディアの分析　～経済物理学、数理モデルの観点から～
・6 日　9:30-12:00　学びを科学する：MOOCs で Cloud な Big Data を Learning Analytics !
・6 日　13:00-16:00　基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発

■展示会

展示会場：共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室前ホール
展示期間：4 日（水）9:30 ～ 17:00　5 日（木）9:30 ～ 17:00　6 日（金）9:30 ～ 15:00
出展企業・団体（五十音順）
・鳥取大学 大学院工学研究科 計算機工学 AB 研究室
・株式会社日経 BP / 株式会社日経 BP マーケティング

■懇親会　5 日（木）18:45-20:45

会場：ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間（東）」

イベント企画概要

FIT2013 船井業績賞受賞記念講演
Ruby が成し遂げたこと
9 月 5 日（木）14:00-15:15［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［講演概要］
プログラミング言語 Ruby はしばしば「日本発」のプログラミング言語として取り上げられることが多く、また、日本人が開発したソフトウェアとして海外で広く使われている稀有な例として見なされることも多い。しかし、多くの人が持つ「海外で成功している国産ソフトウェア」のイメージと、実際の Ruby との間にはかなり大きな乖離があるように思われる。本講演では、Ruby の歴史経緯と現状、また「Ruby の成功」の実態について紹介する。また、日本の技術者が世界において成功するための、「裏ワザ」とでもいうべき、ひとつの方法についても紹介する。

まつもと　ゆきひろ（Ruby アソシエーション 理事長）
1965 年生れ、鳥取県出身。島根県在住。1990 年、筑波大学第三学群情報学類卒業、1997 年からネットワーク応用通信研究所所属。2007 年から楽天技術研究所フェロー、Ruby アソシエーションフェロー。2010 年から米 Heroku Chief Architect, Ruby。

国際情勢の変化から見るサイバー攻撃～その本質を探る～
9 月 4 日（水）9:30-12:00［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
情報セキュリティの概念が誕生してから、攻撃目的や技術は変化し続けている。そして我々は現在、標的型メール攻撃、標的型諜報攻撃といった、国家をもゆるがす「サイバー空間」のセキュリティ問題に直面している。このような状況の中で、攻撃の表面を見ているだけでは、真の目的、意図を知ることは難しい。本セッションでは、現在起きているサイバー攻撃の本質を探ることを目的とし、まず前半で、標的型攻撃事案を例に、それらが国際情勢や外交安全保障にまで繋がる問題であることを解説し、後半で我々はそれにどう立ち向かってゆくのか、パネル討論を行う。本セッションを通して、表面的な現象ではなく、本質的な問題をとらえることの重要性が理解されることを期待するものである。

司会：加藤　雅彦（インターネットイニシアティブ）
1995 年豊橋技術科学大学大学院工学研究科知識情報工学専攻修了。修士（工学）。1998 年株式会社インターネットイニシアティブ入社。システムインテグレーション、脆弱性検査サービスの立ち上げ等の業務に従事。ネットワークシステムの安全な設計に関する研究やクラウドセキュリティに関する講演等も行っている。日本ネットワークセキュリティ協会幹事、調査研究部会長、電子情報通信学会、情報処理学会各会員。

●［9:30-10:45］講演「本質を見抜く“目力”講座」

［講演概要］
国家レベルのサイバー攻撃、その背景・意図するものは何か？ 3 月 20 日に起こった韓国でのサイバー攻撃事例や、「サイバー空間問題」の背景などを題材に、技術目線を越えたところにある「本質」を見抜く“目力”の必要性について解説します。サイバーセキュリティ分野も技術から国際情勢・安全保障などの分野に直接関係する複雑かつ広範な要素を内包するテーマとなっており、その本質と背景の理解が難しくなって来ています。現象をうわべではなく、多面的に見つめる力と技“目力”は研究者にとっても、エンジニア、プログラマにとっても、セキュリティ関係等すべての創造的な仕事をする人たちが普段から意識しておくべき益々重要な能力となってきています。

岡谷　貢（富士通）
1980 年、航空自衛隊入隊後、戦闘機操縦士を経て兵器システム開発業務、IT 型システム開発及び情報セキュリティ関連業務のプロジェクト責任者に従事。2002 年、航空幕僚監部、防衛省内部部局、内閣官房情報セキュリティ対策推進室を兼任。NIRT（政府緊急対応要員）として日本の CSIRT 体制構築と NISC 立ち上げを行う。2006 年、統合幕僚監部にて防衛省サイバーセキュリティ体制構築後、空自教育機関にて人材育成業務に従事。2008 年、再度、内閣官房情報セキュリティセンター（NISC）に出向し、政府の情報セキュリティ政策の企画立案、各省政策の相互調整業務を実施。20012 年 10 月に、航空自衛隊を任を全うし退官。富士通及び独立行政法人情報処理推進機構（IPA）に勤務。現在、NISC「リスク評価検討会」委員、IPA「脅威と対策研究会」委員。

● ［10:45-12:00］パネル討論

［討論概要］
インターネットが広く一般に利用され、社会基盤となった今、サイバー攻撃は国際情勢にも影響する存在となっている。このような状況において、我々は新たなサイバー攻撃とどう立ち向かってゆくのか、講演の内容をもととして、社会、技術、法律といった、様々な視点からパネルディスカッションを行い、安全安心にネットを利用するために我々がなすべきことを議論する。

司会：加藤　雅彦（インターネットイニシアティブ）
写真および略歴は「国際情勢の変化から見るサイバー攻撃～その本質を探る～」司会紹介を参照。

パネリスト：岡谷　貢（富士通）
写真および略歴は「講演　本質を見抜く“目力”講座」を参照。

パネリスト：高倉　弘喜（名大）
1995 年 3 月 京都大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程修了。1995 年 4 月 日本学術振興会特別研究員（PD）（この間、米国イリノイ大学訪問研究員）。1995 年 10 月 奈良先端科学技術大学院大学助手。1997 年 4 月 京都大学工学研究科講師。2000 年 10 月 京都大学大型計算機センター助教授。2002 年 4 月 京都大学学術情報メディアセンター助教授。2010 年 1 月 名古屋大学情報基盤センター教授（現職）。

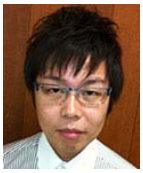
パネリスト：前田　典彦（カスペルスキー）
ISP 関連会社・SIer にて、主にネットワークやサーバの構築運用管理業務を経て、2007 年 1 月より Kaspersky Labs Japan に入社。同社で実施しているマルウェアを中心としたインターネット上の様々な脅威解析・調査結果をもとに、情報セキュリティ普及啓発活動に従事。早稲田大学政治経済学部卒。

パネリスト：有本　真由（小川綜合法律事務所）
2005 年 3 月、東京大学法学部卒業。2010 年 8 月、最高裁判所司法研修所修了。2010 年 8 月、弁護士登録、小川綜合法律事務所入所（現在に至る）。2012 年 10 月、情報ネットワーク法学会入会。

第 2 回統一的評価基準に基づく電子透かしコンテスト ～チャレンジングな評価基準を超えられるか！～

9 月 4 日（水）13:00-15:00［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会（EMM）の第二種研究会である情報ハイディング及びその評価基準研究会（IHC）では、電子透かし技術に対して統一的な評価基準を定め、その基準を毎年更新して、その基準を超える電子透かしを募集している。本年度の基準は昨年より難しく実用的な評価基準となっており、電子透かしの実用化を実現していくための第 2 歩目となるものである。本企画では上記評価基準を超えた電子透かし方式の提案者を招待講演者として招き、その説明及び性能に関するデモなどを行って頂きディスカッション、及び表彰を行うものである。招待講演者は 4 名程度を予定。



司会：岩田　基（大阪府大）
1999 年大阪府立大学大学院工学研究科博士前期課程修了、同年大阪府立大学工学部助手、現在、大阪府立大学大学院工学研究科助教。博士（工学）。電子透かし、ステガノグラフィ、文書画像理解、文書画像検索に関する研究に従事。情報ハイディング及びその評価基準（IHC）委員会幹事。

●［13:00-13:05］開会挨拶

越前　功（NII）
1997 年東京工業大学大学院理工学研究科応用物理学専攻修士課程修了。日立製作所システム開発研究所研究員を経て、2007 年より国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授。2010 年 4 月ドイツ・フライブルグ大学 計算機科学・社会情報学研究所 客員教授。2011 年 10 月ドイツ・マルティン・ルター大学（ハレ大学）企業情報学研究所 客員教授。コンテンツセキュリティの教育研究に従事。電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究専門委員会委員長。情報処理学会長尾真記念特別賞、情報処理学会論文賞、電子情報通信学会 ISS 活動功労賞、映像情報メディア学会藤尾フロンティア賞、画像電子学会画像電子技術賞等受賞。博士（工学）。

●［13:05-13:20］概要説明・審査結果発表・入賞者表彰

［概要］
IHC 委員会の活動概要説明、本年度の審査結果発表、及び入賞者表彰。

岩村　惠市（東理大）
1980 年九州大学工学部情報工学科卒業。1982 年同大学大学院情報工学研究科修士課程修了。同年キャノン（株）入社。1994 年東京大学博士（工学）。現在、東京理科大学工学部電気工学科教授。主に符号理論、並列処理、情報セキュリティ、電子透かしの研究に従事。IEEE、電子情報通信学会各会員、情報ハイディングおよびその評価基準（IHC）研究会委員長。情報処理学会フェロー。

●［13:20-14:20］入賞者によるアルゴリズム or 性能紹介

［概要］
入賞者によるアルゴリズム説明、及びデモ。

●［14:20-14:40］審査講評（画像）

［概要］
応募された画像電子透かしに関する講評、及び審査過程における議論の経緯・留意点等。

合志　清一（工学院大）
1981 年早稲田大学理工学研究科博士前期課程修了、同年日本放送協会（NHK）入局。1984 年より NHK 放送技術研究所等において、ハイビジョンのディジタル信号処理、伝送、電子透かし、映像符号化、物体抽出の研究に従事。2008 年シャープ（株）に転じ高解像度ディスプレイの研究に従事。2011 年より工学院大学情報学部情報デザイン学科教授。

●［14:40-15:00］審査講評（音響）

［概要］
応募された音響電子透かしに関する講評、及び審査過程における議論の経緯・留意点等。

西村　明（東京情報大）
1990 年九州芸術工科大学音響設計学科卒業。1996 年九州芸術工科大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。1996 年東京情報大学情報学科助手を経て、2012 年より同情報文化学科教授。EMM 研究専門委員会副委員長。楽器音、音空間知覚、聴覚マスキング機構、オーディオ測定技術、音響情報ハイディング技術の研究に従事。IEEE、電子情報通信学会、日本音響学会、AES 各会員。博士（芸術工学）。

身近になったライフログ［パネルセッション］
9 月 4 日（水）15:30-17:30［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
ライフログは古くて新しいトピックである。特にこの数年間はスマートフォンや行動記録のためのガジェットの普及が後押しし、日常の写真、会話、行動に関する多種多様なデータが蓄積され始めた。そして、記憶支援、マーケティング、行動予測によるサービス個人化など、具体的なターゲットを意識した試みが始まりつつある。そこで、大学や企業で行われている実践的な研究事例を集め、パネル討論形式でこの分野を概観し、今後の進むべき方向を議論する。具体的には、写真や映像によるライフログの主観性／客観性と個人／社会の関係や、オンライン上の活動と日常の実世界での行動との相互強化について議論したい。

司会：角　康之（はこだて未来大）
1990 年早稲田大学卒業、1995 年東京大学博士課程修了。ATR 主任研究員、京都大学准教授を経て、2011 年より公立はこだて未来大学教授。博士（工学）。知識や体験の共有を促すコミュニケーションツールや、人のインタラクションの理解と支援にかかわるメディア技術の研究に従事。

パネリスト：中村　聡史（明大）
1976 年生。2004 年大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。同年独立行政法人情報通信研究機構専攻研究員。2006 年京都大学大学院情報学研究科特任助手、2009 年同特定准教授。2013 年明治大学総合数理学部准教授、現在に至る。サーチとインタラクションやライフログ、情報曖昧化技術やソーシャルアノテーション分析等の研究活動に従事。情報処理学会、ヒューマンインタフェース学会等の会員。博士（工学）。

パネリスト：川井　拓也（ヒマナイヌ）
2002 年に首掛け式のネックストラップ型インターバルカメラ「ライフスライス」を考案。体験を視覚化し共有する活動が同年文化庁メディア芸術祭特別賞を受賞。2004 年に撮る側と撮られる側が同時に写るフレーム型カメラ「Howdy?」を開発、ポッドキャストを音声地図として活用する「PodWalker」など独自の発想でライフログを実践している。Ustream を中心にライブメディアコーディネーターとしても活躍中。

パネリスト：寺岡　照彦（ヤフー）
1992 年大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。同年三菱電機株式会社中央研究所入所。2007 年 9 月より、ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN 研究所。現在、同所 上席研究員。ビジュアルインタフェースやライフログの研究開発に従事。情報処理学会、IEEE、ACM、各会員。博士（工学）。

パネリスト：小関　悠（Facebook）
京都大学大学院情報学研究科修士課程修了。三菱総合研究所にて官公庁や通信キャリア向けにネットメディア、モバイルビジネスなどの調査研究・コンサルティングに従事。2012 年 4 月より Facebook 勤務。広告ビジネスの拡大を担う Media Solutions Manager を担当している。専門はウェブサービス、ライフログ、データマイニング。著書に『先読み「情報脳」の鍛え方 情報中毒社会サバイバルガイド』。他ビジネス誌などに寄稿多数。

ビッグデータ時代到来！～ウェブ最先端企業が最新動向を語る～
9 月 5 日（木）15:30-17:30［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
ビッグデータという言葉が使われるようになってから久しいが、収集したビッグデータをどう役立てていくのかが、次第に重要視されてきている。そこで本企画では、ビッグデータを実際に収集・活用している Web 最先端企業 4 社の担当者から、①ビッグデータをどのように解析・活用しているのか、②ビッグデータ関連で、どのような課題を抱えているのか、③ビッグデータ関連で、アカデミアに期待することは何であるのか、等について講演いただき、ビッグデータ時代に勝ち残るために必要な事項について、ディスカッションしていく。

司会：山口　実靖（工学院大）
2002 年東京大学大学院工学系研究科電子情報工学専攻博士課程修了。博士（工学）。2002 年東京大学生産技術研究所研究員。2005 年日本学術振興会特別研究員。2006 年工学院大学工学部情報通信工学科講師。2007 年工学院大学工学部情報通信工学科准教授、現在に至る。ストレージシステム等の研究に従事。

●［15:30-15:50］講演（1）「ソーシャルメディアにおけるビッグデータの活用と課題」

［講演概要］
携帯電話端末および通信の高速化、スマートフォンの爆発的な復旧により、誰でもいつでもどこでもインターネットを利用できるモバイルインターネット環境が整いつつある。このようなモバイルインターネット環境の整備にともなって、ソーシャルメディアが目覚ましい勢いで発展している。グリーもまた、ソーシャル・ネットワーク・サービス（ＳＮＳ）やソーシャルゲームといったソーシャルサービスを中心に成長を遂げ、現在 169 カ国・地域でサービスを提供している。本セッションでは、モバイルインターネット環境を中心としたソーシャルメディアサービスにおけるビッグデータとは何か、ビッグデータを活用する上での技術やその課題について述べる。

橋本　泰一（グリー）
1997 年　東京工業大学工学部情報工学科卒業。2002 年　同大学　大学院情報理工学研究科　博士課程修了。同年同大学同研究科 助手。2006 年 同大学 統合研究院。2010 年 同大学 総合プロジェクト支援センター 特任准教授。2012 年 グリー株式会社 エンジニア。

●［15:50-16:10］講演（2）「課題解決エンジンを支えるデータ処理システムと利活用事例」

［講演概要］
Yahoo! JAPAN は現在約 100 種類のサービスを提供し、「ユーザーファースト」を合言葉にユーザーや社会の「課題解決エンジン」であり続けるべく、日々様々な課題に取り組んでいます。ユーザーの課題を早く深く、そして正確に掴むために行動履歴を中心とするデータを収集し解析することが必須となります。本講演では、Yahoo! JAPAN がデータに基づいたソリューション領域において、どのようなシステム基盤を持ち、どのように利活用しているのかについて技術解説や事例を交えて紹介します。

角田　直行（ヤフー）
1978 年生まれ。2005 年にヤフー株式会社へ入社し、これまでに地図や路線情報、検索などのサービスから YST（Yahoo! Search Technology）や検索プラットフォームなどバックエンドの開発に関わる。現在は全社横断的なデータ解析を担う部門にて全サービスのログを中心とするデータの収集、処理を行うインフラ基盤を中心にレコメンデーションや要素技術などのソリューション全般について技術統括を行っている。

●［16:10-16:30］講演（3）「E-commerce 企業におけるビッグデータ収集・解析基盤とその活用例」

［講演概要］
約 4 万の店舗、約 1 億 3,000 万点を超える商品、7,500 万を超えるユーザアカウントを要する楽天市場では、日々膨大な量のデータが生成され続けており、これらのデータを如何に解析し、活用していくのかは大変重要な課題となっている。本講演では、楽天市場におけるビッグデータを収集するシステム基盤や、それを保存・解析するストレージ基盤の構築事例、および、商品レコメンド、商品検索アシストシステム等の事例について言及しながら、楽天がビッグデータをどのように活用しているのかについて述べる。

平手　勇宇（楽天）
2005 年　早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。2008 年　同大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士（工学）。2006 年 -2009 年 同大学メディアネットワークセンター助手。2009 年 楽天株式会社楽天技術研究所。2011 年より同研究所インテリジェンスドメインチームリーダ。

●［16:30-16:50］講演（4）「リクルートのビッグデータへの取り組み」

［講演概要］
就職（リクナビ）や結婚（ゼクシィ）、住宅購入（SUUMO）などの「ライフイベント領域」、グルメ（ホットペッパー）や旅行（じゃらん）などの「ライフスタイル領域」。―こうした様々なWebサービスを企画運営するリクルートでは、アクセスログデータや購買データなど、日々大量のデータが生まれ、蓄積されています。弊社では、多様なデータが大規模化・複雑化していく中、アナリティクスとテクノロジーを活用してマーケティングの強化やWebサービスの向上を図っています。本講演では、弊社がこれらビッグデータにどのように対峙しているのか、管理・分析・活用といった取り組みに関して、いくつかの事例とそれぞれの成果を交えてご紹介します。

米谷　修（リクルートテクノロジーズ）
1988年リクルート入社、経理部配属。グループ会社の会計システムを自作するなど自ら手を動かす日々を過ごす。「リクナビ」開発リーダー時代は開発コスト半減などの構造改革を実現。その後、開発基盤の専門組織を立上げ、独自のアジャイル開発スキームの構築や、ネットインフラ基盤の構築などを実現する。 Hadoopは他社に先駆け早期に導入、年間で170を超える案件に繋がっている。2012年10月より現職。趣味はサーバースペックの暗記とゴルフ。

●［16:50-17:30］パネル討論「ビッグデータ時代、今必要なモノは何？」

［討論概要］
ビッグデータ時代に勝ち残るには何が今不足しているのか、何が必要なのかについて、ディスカッションを行う。

司会：山名　早人（早大）
1993年早稲田大学大学院・理工学研究科・博士課程修了。博士（工学）。1993年電子技術総合研究所・研究員。1998年通産省・機械情報産業局 電子機器課・課付、2000年早稲田大学理工学部助教授。2004年国立情報学研究所 客員助教授。2005年早稲田大学理工学術院教授。同年国立情報学研究所客員教授、現在に至る。情報検索、大規模データ解析等の研究に従事。Google Hacks（オライリー・ジャパン）、オプティマイジング Webサイト（同）の監訳者。

パネリスト：橋本　泰一（グリー）
写真および略歴は「講演（1）ソーシャルメディアにおけるビッグデータの活用と課題」を参照。

パネリスト：角田　直行（ヤフー）
写真および略歴は「講演（2）課題解決エンジンを支えるデータ処理システムと利活用事例」を参照。

パネリスト：平手　勇宇（楽天）
写真および略歴は「講演（3）E-commerce企業におけるビッグデータ収集・解析基盤とその活用例」を参照。

パネリスト：米谷　修（リクルートテクノロジーズ）
写真および略歴は「講演（4）リクルートのビッグデータへの取り組み」を参照。

環境問題とサイバーワールド～身近な問題にどうやって取り組むか～
9月6日（金）9:30-12:00［第1イベント会場（共通教育棟A棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
PM2.5や黄砂の飛来といった国を越境する広いスケールの大気環境問題や、アオコや赤潮の大発生・シジミや赤貝の漁獲減少など、景観や食生活に直結する水環境問題に対する関心が高まっている。それらの発生メカニズムの解明や対策・対応の取組みでは、サイバーワールドにおける環境モニタリングやシミュレーション等の技術の相互連環への期待が大きい。そこで、本特別企画では、広域越境大気汚染に関する研究者、乾燥地における環境評価の研究者、および、水環境モニタリングの研究者をお呼びし、環境問題への技術的な取り組みについてサイバーワールドの観点から俯瞰することにより、学際的な展望を得る。

司会：川喜田　裕之（NHK）
2004年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了。同年、NHK入局。広島放送局にて放送波の受信技術業務に従事し、2007年放送技術研究所配属。放送コンテンツのアクセス制御方式の研究を経て、現在は放送通信連携における端末連携の研究に従事。気象予報士。電子情報通信学会、映像情報メディア学会、日本気象予報士会に所属。

●［9:30-10:00］講演（1）「日本の PM2.5 の現状と数値シミュレーションの課題」

［講演概要］
今年の 1 月以降、PM2.5（微小粒子状物質）の高濃度問題がニュース等で大きな話題になりました。PM2.5 の環境基準は 2009 年に定められたばかりで、検証に使える観測データも多くありませんが、今年の 1 月 2 月の高濃度事例がここ数年と比べてどうであったのか、観測から解る PM2.5 の経年変動や季節変動について紹介します。大気中物質の高濃度の原因を探るには、観測データ以外に化学輸送モデルを用いた数値シミュレーション等が有力な助けになります。化学輸送モデルを用いて何が解るのか解らないのか、モデルの概要と、どこに改良の余地が大きいと考えられるのか等についても紹介します。

菅田　誠治（国立環境研）
1993 年京都大学大学院理学研究科博士後期課程（気象学）単位取得退学、総理府環境庁国立環境研究所大気圏環境部研究員。同年 11 月に博士（理学）取得。1998 年 10 月から 1 年間、科学技術庁長期在外研究員として米国 EPA 国立暴露研究所。2007 年内閣府の総合科学技術会議事務局に研修出向。現在は（独）国立環境研究所地域環境研究センター都市大気環境研究室主任研究員、筑波大学生命環境科学研究科連携大学院准教授。専門は大気中物質輸送。所属学会は日本気象学会、大気環境学会、American Geophysical Union。

●［10:00-10:30］講演（2）「東アジア黄砂発生監視システムの開発」

［講演概要］
黄砂（ダスト）の発生源であるモンゴル･中国の乾燥地域において、ダスト発生モニタリングに関する観測ステーションを設置し、春季における黄砂の発生と地表面の状態の関係に関するデータを得ることに成功した。その結果、黄砂の発生に対する植生（特に枯れ草）や土壌水分の効果が観測によって明らかにされるとともに、ダストの発生と地表面状態の関係について衛星データを用いて定式化し、黄砂被害の軽減資料として役立つ「黄砂ハザードマップ」の試作品を公表した。

木村　玲二（鳥取大）
専門は気象学。1999 年 3 月東北大学大学院理学研究科博士課程修了後、1999 年 4 月、岡山大学資源生物科学研究所非常勤講師に採用。1999 年 8 月、琉球大学理学部物質地球科学科助手に着任し、2001 年 4 月、鳥取大学乾燥地研究センター講師に転任。2007 年 4 月、現職（准教授）。所属学会は日本気象学会、日本農業気象学会、水文水資源学会。1999 年 7 月、日本農業気象学会奨励賞受賞、2003 年 3 月、鳥取大学科学研究業績表彰。

●［10:30-11:00］講演（3）「マルチプラットフォームによる汽水域環境モニタリング技術の現状と課題」

［講演概要］
近年、宍道湖・中海や東京湾奥のような汽水域（海水と淡水が入り混じる水域）では、赤潮、青潮、アオコ、水草等の大発生と連動して、悪臭や景観悪化、またシジミに代表される水産物が収穫できなくなるような環境問題が各地で発生しています。本講演ではこのような環境問題をいくつか取り上げ、そのような環境問題を解決するにあたっての第一歩である環境モニタリング技術について解説します。特に、ここ数年、東日本大震災等の経験を経て、急速に発達したラジコンヘリ、気球、航空機、人工衛星等のマルチプラットフォーム（撮影機器を載せる様々な飛行体）を利用した面的観測・データ処理技術について詳しく紹介します。

作野　裕司（広島大）
1994 年 3 月鳥取大学教育学部小学校教員養成課程卒業、1996 年 3 月島根大学大学院理学研究科地質学専攻修士課程修了、2000 年 3 月東京大学大学院工学系研究科地球システム工学専攻博士課程修了、博士（工学）、2000 年 10 月広島大学工学部助手、2010 年 4 月広島大学大学院工学研究院助教、現在に至る。専門はリモートセンシング工学。現在は主に湖沼、サンゴ礁の水質、藻場モニタリング研究が主体。

●［11:10-12:00］パネル討論　「きれいな水と空気が当たり前と思ってはいけない！ ～環境問題を解決する技術のあり方を、技術、社会、人の立場から議論する～」

［討論概要］
我々の生活を取り巻く環境の中でも水と空気は最も重要な要素の一つである。本パネルセッションでは、環境問題を解決する ICT 技術に関し、これら二つの要素に着目し議論を行う。前半は、各種要素に共通の課題と、要素固有の課題に分けて、解決すべき問題の本質を探る。その中で、シミュレーションによるアプローチと、現場指向のアプローチの限界と可能性についても言及する。後半は、技術を創り出す側と、利用する側の両方の立場から、技術のあるべき姿を議論する。環境問題という現象の客観化、問題を解決する技術の実現、社会制度としての技術運用、および、ユーザの意識改革と享受する恩恵、の面から多角的な議論を行う。

司会：井原　雅行（NTT）
1994 年東工大・修士了。同年、NTT ヒューマンインタフェース研究所入所。人間の好みのモデル化、価値観共有、ヒューマンアフォーダンスの研究等に従事。近年は次世代ブラウザを用いた災害時向け情報共有技術の研究に取り組む。2002-2003 年加国 New Media Innovation Center およびブリティッシュコロンビア大学にて客員研究員。現在 NTT サービスエボリューション研究所主幹研究員。工学博士。ACM、電子情報通信学会、情報処理学会、画像電子学会各会員。

パネリスト：菅田　誠治（国立環境研）
写真および略歴は「講演（1）日本の PM2.5 の現状と数値シミュレーションの課題」を参照。

パネリスト：木村　玲二（鳥取大）
写真および略歴は「講演（2）東アジア黄砂発生監視システムの開発」を参照。

パネリスト：作野　裕司（広島大）
写真および略歴は「講演（3）マルチプラットフォームによる汽水域環境モニタリング技術の現状と課題」を参照。

映像符号化の最新動向 ～ HEVC 標準化～
9 月 6 日（金）13:00-15:00［第 1 イベント会場（共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室）］

［セッション概要］
最新の映像符号化標準規格である High Efficiency Video Coding（HEVC）は、そのポテンシャルの高さから、映像処理分野にパラダイムシフトを起こす可能性を秘めた技術として、産業界から熱い期待を集めている。本企画では、標準化の経緯、技術概要、今後の展望等、HEVC の最新の技術動向に関する講演を通して、FIT 参加者への情報提供の場としたい。

司会：坂東　幸浩（NTT-AT）
2000 年から 2002 年、日本学術振興会特別研究員。2002 年、九州大学大学院システム情報科学研究科 博士後期課程修了。同年、日本電信電話株式会社 入社。NTT サイバースペース研究所にて、次世代映像フォーマットのための高能率符号化アルゴリズム研究等に従事。2011 年より、現職。2008 年 FIT 船井ベストペーパー賞、2012 年情報処理学会 長尾真記念特別賞、2013 年船井情報科学振興財団 船井学術賞等受賞。博士（工学）。

●［13:00-13:30］講演（1）「HEVC 技術解説［予測処理］」

［講演概要］
HEVC において用いられるイントラ予測、インター予測に関して概説する。HEVC において導入されたイントラ・インター予測処理に関する新技術は、(1) 予測誤差の低減、(2) 予測処理に用いる符号化パラメータの表現の高能率化、に大別できる。(1) としては、インター予測におけるブロックサイズの多様化、小数画素精度の参照画像生成の高精度化、およびイントラ予測における予測処理の多方向化等がある。(2) としては、インター予測における動きベクトルの時空間予測、類似した動きベクトル群に対する統合的な表現、およびイントラ予測における色チャネル間の予測モードの参照機構等がある。本講演では、こうした予測処理に関するアルゴリズムを解説する共に、H.264/AVC との比較を通して、HEVC における新規採用技術の効果等について概説する。

坂東　幸浩（NTT-AT）
写真および略歴は「映像符号化の最新動向 ～ HEVC 標準化～」司会紹介を参照。

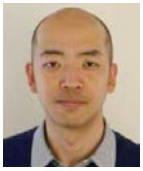
●［13:30-14:00］講演（2）「HEVC 技術解説［直交変換符号化と量子化処理］」

［講演概要］
HEVC において用いられる直交変換符号化の仕組みと量子化処理について解説する。HEVC ではイントラ符号化において直交変換として DCT に加えて DST が採用された。また、スクリーンコンテンツと呼ばれる人工的な CG 画面などの効率的な符号化を実現するための変換スキップなどの新たな符号化処理について解説する。変換係数および残差信号の量子化処理について併せて解説する。

市ヶ谷　敦郎（NHK）
1998 年 NHK に入局。2000 同放送技術研究所にて映像圧縮符号化などの研究に従事。HEVC 標準化活動に寄与。

●［14:00-14:30］講演（3）「HEVC 技術解説［ループ内フィルタ処理］」

［講演概要］
HEVC のループ内フィルタ処理は、ブロック歪を低減するデブロッキング・フィルタとリンギングを低減するサンプル・アダプティブ・オフセットによって構成されている。デブロッキング・フィルタは、AVC のデブロッキング・フィルタの改良発展であり、その並列処理に適した設計が大きな特徴となっている。一方、サンプル・アダプティブ・オフセットは、AVC には存在しない新たなループフィルタ方式であり、その画素単位適応処理が大きな特徴となっている。本講演では、それぞれのループ内フィルタ処理のアルゴリズムと効果を解説する。



蝶野　慶一（NEC）
2001 年、九州大学大学院システム情報科学研究科修士課程修了。同年、NEC 入社。2007 年から 2008 年まで、Stanford 大にて客員研究員。現在、情報・メディアプロセッシング研究所に勤務。主に、動画像符号化技術に関する研究開発に従事。

●［14:30-15:00］講演（4）「HEVC 技術解説［エントロピー符号化］」

［講演概要］
最新の映像符号化国際規格である High Efficiency Video Coding（HEVC）において用いられているエントロピー符号化の技術について解説する。HEVC では、エントロピー符号化手法として、AVC にも採用されている CABAC（Context-based Adaptive Binary Arithmetic Coding）が採用されている。HEVC ではコンテキスト情報の導出処理の簡易化や、バイパス（固定確率）モードの適用範囲拡大、加えて並列処理を考慮した処理の導入により、より高いスループットの処理が可能となっている。本講演では、HEVC のエントロピー符号化技術の概要および AVC からの改善点について解説する。

服部　亮史（三菱）
2009 年、九州大学大学院システム情報科学府知能システム学専攻修士課程修了。同年、三菱電機（株）入社。現在、三菱電機（株）情報技術総合研究所にて画像符号化技術の研究開発に従事。

人文科学における時空間情報の活用
9 月 4 日（水）9:30-12:00［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
GPS や地理情報システム（GIS）の普及により、空間情報を手軽に扱えるようになってきた。時間や空間は、様々な情報を整理し、結びつけるための接点としてますます重要になっている。これは現代の情報に限らず、歴史、考古、文化といった人文分野の情報にも当てはまる。近年様々な資料が「デジタルアーカイブ」の掛け声のもと蓄積されてきたことに伴い、人文分野においても時空間情報を活用した研究が盛んに行われるようになってきている。本企画では、時間や空間に関する可視化や解析の情報技術の動向を俯瞰しつつ、これらが人文分野の諸課題にどのように貢献できるのか、一方で、こうした応用が情報分野にどのような課題をもたらすのかについて議論を行う。

司会：原　正一郎（京大）
1987 年、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了（医学博士）。1989 年に大学共同利用機関学術情報センター助手に着任、1991 年より大学共同利用機関国文学研究資料館助教授をへて、2006 年より現職、2010 年より副センター長。特定の地域について異なるテーマ（視点）から得られた情報を総合的に研究する、あるいは同一テーマについて地域間で比較研究する、このような地域研究を支援する情報学的パラダイム（地域情報学）の構築を目指している。

●［9:30-9:35］オープニング

●［9:35-10:00］講演（1）「地図の多様性を維持するための社会文化環境」

［講演概要］
大手IT企業のIT地図サービスは極めてよくできていて、あらゆる場面で移動を快適に支援して、費用もかからず、水や空気と同じように、それにありがたみを感じなくなってしまうほど浸透している。一方、地図自体には価値を見出さないという社会文化環境の認識が進みつつある。このような強靭でグローバルなIT地図サービスは、ローカルな地図を絶滅させてしまうという懸念もある。現在の地図は、欧米の地図が発展し、科学的合理主義に基づき、位置や空間関係の正確さに偏重しているとも解釈できる。本発表では、現在主流のIT地図サービスが持つ問題点を人文科学および時空間情報処理の観点から具体的に明らかにし、今後あるべき地図の多様性を実現する社会文化環境の方向性に関して解説する。

有川　正俊（東大）
1988年九州大学大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1992年九州大学博士（工学）取得。九州大学助手、京都大学助手、広島市立大学助教授を経て、現在は東京大学空間情報科学研究センター教授。専門は、空間情報工学、地図学、ユビキタスマッピング。人間中心の地図表現・インタラクションに興味を持つ。日本地図学会常任委員長、国際地図学会ユビキタスマッピング委員会代表。

●［10:00-10:25］講演（2）「人文科学における時間情報の活用」

［講演概要］
地理情報システム（GIS）の普及により、空間情報を使った研究が人文科学の諸分野でも浸透してきている。その一方で時間情報は、歴史研究をはじめとする人文科学において不可欠な要素であるにもかかわらず、依然として可視化や解析のための十分な環境が整備されていない。本講演では、時間情報の可視化や解析のためのソフトウェア、空間情報で用いられるベースマップや地名辞書などに相当する時間基盤情報の構築といった、時間情報をGISと同じ水準で利活用するための取り組みについて紹介するとともに、データ構築での「～頃」や「江戸前期」といったあいまいな表現の扱いなど、時間情報にかかる人文分野固有の様々な課題についても言及する。

関野　樹（総合地球環境学研）
1998年京都大学大学院理学研究科博士課程修了。2002年に総合地球環境学研究所・研究推進センター助教授に着任後、現在は同研究高度化支援センター情報基盤部門長・准教授。時間情報を使った解析・可視化のためのソフトウェアの開発やデータ構築を主に手掛ける。

●［10:25-10:50］講演（3）「ウェブGISを用いた空間時間データ可視化分析共同研究環境」

［講演概要］
ある地域や社会を理解するために、人文科学は空間時間データを多用している。近年、このデータの可視化や分析に地理情報システム（GIS）が利用されているものの、GISで作成されたデータの共同使用はまだ難しい。専門家以外のユーザにとっては使いにくく、研究にとって重要な中間結果やデータソースも公開されにくい。全てをウェブ上で実行できる環境を整えると、専門的なソフトウェアがなくても使いやすいインターフェースで空間時間データの分析と可視化が可能になる。そのために各研究プロジェクトのデータの種類に合わせて、Web上のシステムで分析を行う共同研究環境が構築されるべきである。本講演では、「東南アジア上座仏教マッピング」という課題を例に、ウェブGISの地理参照システムと移動可視化を考慮した設計について報告する。

BOURDON Julien（京大）
京都大学地域研究総合情報センター研究員。地域研で、パターン分析および多言語資料群の可視化、地域研究に関するデータの空間時間解析に関する研究を進めている。フランス・カーン大学（Caen Basse-Normandie）を2005年卒業後、イギリス・シェフィールド大学（Sheffield）に留学。フランス・サンテティエンヌ大学（Saint-Etienne）にて2007年修士号を取得。京都大学情報学研究科社会情報学専攻の博士課程で「多言語サイトのパターン可視化」に関する研究を進めた。

●［10:50-11:15］講演（4）「VR-AR 技術を用いた多元的デジタルアーカイブズ・シリーズ」

［講演概要］
講演者らは、時代の経過とともに散逸していく歴史資料をネットワーク経由で収集し、デジタル・アースの VR 空間と、スマートフォンの AR 空間に集積して公開する「多元的デジタルアーカイブズ」を構築してきた。これまでに、南太平洋の島国ツバル、長崎・広島原爆、東日本大震災、そして沖縄戦をテーマとしたアーカイブズ・シリーズを公開している。これらのアーカイブズ・シリーズの目的は、公開されていなかった資料をオープンデータ化し、データ同士の時空間的な関連性を提示することによって、事象についての多面的な理解を促すことである。さらにアーカイブズ構築活動のバックボーンとして、オンライン・オフラインで人々を繋ぐ「記憶のコミュニティ」を形成することを企図している。本講演では、講演者らのこれまでの活動について紹介する。

渡邉　英徳（首都大）
情報アーキテクト。情報デザイン、ネットワークデザイン、Web アートを研究。首都大学東京システムデザイン学部准教授、京都大学 CIAS 客員准教授。代表作に「ヒロシマ・アーカイブ」「東日本大震災アーカイブ」など。1997 年東京理科大学理工学部建築学科卒業（卒業設計賞受賞）、1999 年同大学院修了。2013 年筑波大学大学院修了。博士（工学）。

●［11:15-12:00］パネル討論

司会：原　正一郎（京大）
写真および略歴は「人文科学における時空間情報の活用」司会紹介を参照。

パネリスト：有川　正俊（東大）
写真および略歴は「講演（1）地図の多様性を維持するための社会文化環境」を参照。

パネリスト：関野　樹（総合地球環境学研）
写真および略歴は「講演（2）人文科学における時間情報の活用」を参照。

パネリスト：BOURDON Julien（京大）
写真および略歴は「講演（3）ウェブ GIS を用いた空間時間データ可視化分析共同研究環境」を参照。

パネリスト：渡邉　英徳（首都大）
写真および略歴は「講演（4）VR-AR 技術を用いた多元的デジタルアーカイブズ・シリーズ」を参照。

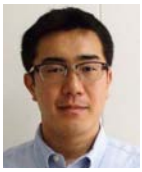
ビッグデータ時代のオンライン学習アルゴリズム
9 月 4 日（水）13:00-15:00［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
巨大なデータから機械学習を行う際、すべてのデータをため込んでバッチ処理することは不可能になりつつあり、到着するデータを保存せずにモデルの学習を行うオンラインアルゴリズムが注目を集めている。オンラインアルゴリズムでは、リグレットバウンドなどに基づく独自の理論があり、通常の機械学習アルゴリズムとは趣きが違う。ウェブサイトの広告を選択するために広く用いられる多腕バンディット問題もオンラインアルゴリズムの一種である。本企画では、国際会議などでご活躍中の気鋭の研究者をお招きして、オンライン学習の理論や、実践に関する議論を行いたい。現実にアルゴリズムをデータに適用する際に重要なポイントや、苦労話などを共有し、できるだけ多くの研究者・学生の皆さんの参考になるようなイベントにしたい。

司会：津田　宏治（産総研）
1994 年京都大学工学部情報工学科卒業。1996 年同大学院工学研究科情報工学専攻修士課程修了。1998 年同博士課程修了、電子技術総合研究所入所。2000 年独 GMD FIRST 客員研究員。2003-2004 独 Max Planck 研究所研究員。2006-2008 同チームリーダー。博士（工学）。現在、産業技術総合研究所生命情報工学研究センター機械学習研究班長、主任研究員。

●［13:00-13:40］講演（1）「オンライン予測理論とその応用」

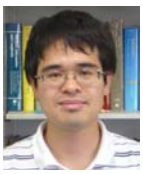
［講演概要］
逐次的に与えられるデータに対して、その都度意思決定・予測を行う問題は一般にオンライン予測問題と呼ばれる。オンライン予測問題は、株式投資におけるポートフォリオ選択や、最短経路選択、スケジューリングなど多くの実問題に現れる。近年、オンライン予測理論においては、オンライン凸最適化という統一的な定式化の下で様々な進展が得られた。本講演ではオンライン予測理論の概要やその応用について述べるとともに、近年のトピック（離散構造のオンライン予測など）を紹介する。



畑埜　晃平（九大）
1999 年東京工業大学理学部卒。2005 年同大学院情報理工学研究科博士課程修了、博士（理学）。九州大学情報基盤センター助教を経て、2010 年より九州大学大学院システム情報科学研究院助教、現在にいたる。計算学習理論・機械学習の研究に従事。電子情報通信学会、人工知能学会各会員。

●［13:40-14:20］講演（2）「知識の探索と活用のジレンマと多腕バンディット問題」

［講演概要］
多腕バンディット問題とは複数台のスロットマシンをプレイするギャンブラーのモデルであり、ギャンブラーは各マシンからの報酬についてオンラインで学習することにより総報酬を最大化することを目指す。この際、プレイしなかったマシンからの報酬の情報は得られないため、ギャンブラーは知識の探索（プレイ回数が少ないマシンを選ぶ）と活用（現時点でベストなマシンを選ぶ）をうまくバランスさせる必要がある。この問題は古くから知られていたが、近年では Web 上の広告配置問題やネットワークルーティング等の新たな応用先から盛んに研究されている。本講演では、この問題に対するいくつかの定式化を紹介し、理論限界やそれを達成する戦略について解説する。



本多　淳也（東大）
2008 年東京大学工学部計数工学科卒業。2010 年同大学院情報理工学系研究科修士課程修了。2013 年同大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、4 月より現職。専門は多腕バンディット問題および情報理論。

●［14:20-15:00］講演（3）「インターネットにおけるオンライン学習」

［講演概要］
オンライン学習では、学習アルゴリズムはそれまでに得られた情報から学習して次を予測するということを繰り返し、累積損失の最小化または累積利得最大化を目標とする。インターネット時代においては、ネット上の様々な活動をオンライン学習問題として捉えることができる。広告配信や株の売買などの活動を、どのようにオンライン学習問題として定式化するのか。また、どのようなアルゴリズムが、理論的または実験的に性能が良いとされるのか。これらについて解説し、関連する最近の研究を紹介する。

中村　篤祥（北大）
1988 年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了（情報科学専攻）。同年、日本電気株式会社入社。計算論的学習理論とそのインターネットへの応用に関する研究で 2000 年に東京工業大学にて博士(理学)号を取得。2002 年に北海道大学大学院工学研究科助教授。現在同大学大学院情報科学研究科准教授。

受賞者フォーラム：メディア認識・理解の最前線と若手へのメッセージ
9 月 4 日（水）15:30-17:30［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
本企画では、パターン認識・メディア理解およびその関連分野において、最近、学会、学術会議、団体等による賞を受けた受賞者 5 名を招待し、講演とパネル討論とを行う。講演では、各招待者が、受賞対象となった研究開発について、分野内外の両方の聴衆を対象としながら、具体的な技術内容とそのインパクトを説明しつつ苦労話やエピソードを語る。パネル討論では、モデレータのもとで、今後研究すべきテーマや研究における留意点等について会場の参加者を含めて討論を深めつつ、後に続くべき若手研究者や学生へのエールをおくる。したがって本企画は、当該分野の研究者だけでなく広く分野外の FIT 参加者にとっても、メディア認識・理解分野の優れた研究を知る機会となり、また若手研究者や学生がモチベーションを高める貴重な機会ともなるはずである。

司会：柏野　邦夫（NTT）
1995 年東大大学院工学系研究科博士課程修了。博士（工学）。同年 NTT に入社。現在、同社コミュニケーション科学基礎研究所 主幹研究員、特別研究員、メディア認識研究グループリーダー。音響・映像認識に関する研究に従事。電子情報通信学会業績賞、IEEE Transactions on Multimedia 論文賞、前島賞などを受賞。

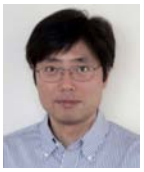
●［15:30-15:47］講演（1）「物体の見えのモデリングから人の視覚へ」

［講演概要］
講演者は、物体の見えに関するモデルをコンピュータで自動的に作りあげる「イメージベースドモデリング」と呼ばれる技術の研究に取り組み、異なる条件下で観測された画像列から実在物体の形状・反射特性をモデル化する技術、画像から実環境の光源分布を推定する技術、実画像と仮想世界の像を自然な陰影で融合させる技術などで成果を得ている。これら一連の業績に対し、2010 年度日本学術振興会賞を受賞した。さらに、最近では、物体の見えを正確に再現するためのモデリング技術に加え、人がどのようにものを見るのかにも興味を持ち、人の視覚特性を考慮した画像提示や、人の視覚的注意の引付けに関する視覚的顕著性とその応用に関する研究に取り組んでいる。本講演では、これらの研究をその背景とともに紹介する。

佐藤　洋一（東大）
1990 年東大・工・機械工学科卒。1997 年カーネギーメロン大計算機科学部博士課程了。東大・生産技術研究所講師、助教授、同大学大学院情報学環准教授を経て、2010 年より同大学生産技術研究所教授。コンピュータビジョンに関する研究に従事。2010 年日本学術振興会賞、2009 年、2008 年及び 2006 年電子情報通信学会論文賞、2010 年情報処理学会 50 周年記念論文賞、1999 年日本 VR 学会論文賞、ACCV2010 Sang Uk Lee Award、ICPR2008 Best Industry Related Award 等を受賞。

●［15:47-16:04］講演（2）「一般化学習ベクトル量子化の開発と実用化」

［講演概要］
パターンを認識する際に用いられるテンプレートを自動設計するために考えた、一般化学習ベクトル量子化と呼ぶ学習方法に関して、その概要と誕生の経緯について紹介する。本手法は、ベイズ決定理論における一般的な損失を最小化する枠組みとして定式化されており、識別器の学習ばかりでなく、特徴変換の学習など様々な拡張がなされて来た。文字認識や顔認識などで、本手法は実用的な性能を示し、製品への搭載によって、産業の効率化や社会の安心安全に貢献している。このような研究成果の実例を紹介しつつ、実用化にあたって苦労したことや、特に研究をマネジメントする際に気をつけていることなどを述べ、若手への期待を込めたメッセージとしたい。



佐藤　敦（NEC）
1989 年東北大学大学院理学研究科博士課程了。理学博士。同年 NEC に入社。1994 ～ 1995 年米国ワシントン大学客員研究員、2008 年米国マサチューセッツ工科大学客員研究員。現在、NEC 情報・メディアプロセッシング研究所主席研究員。パターン認識、機械学習の研究開発に従事。2012 年度電子情報通信学会業績賞、2012 年度関東地方発明賞神奈川県知事賞、2011 年度先端技術大賞「フジサンケイビジネスアイ賞」、2010 年度情報処理学会喜安記念業績賞、2009 年度人工知能学会現場イノベーション賞銀賞 受賞。電子情報通信学会、人工知能学会、IEEE 各会員。

●［16:04-16:21］講演（3）「大規模事例を用いる高速なパターン認識とその応用」

［講演概要］
高速で高精度な文書画像検索、カメラベース文字認識、特定物体認識などを実現したことに加えて、それらのデモ発表に対して幾つかの賞をいただいた。これらの技術はいわゆる学習を行わず、高速な検索技術を用いて大量の事例から所望の事例を探し出すことによって実現される。このようなアプローチは、これまで主流であった、事前の学習によって識別器を鍛えるサポートベクターマシンなどとは真逆の考え方に基づく。本講演ではこれらの技術とその内幕を紹介すると共に、海外の研究者との交流や国際的な学会活動を通して気付いた事、得られたものを紹介する。

岩村　雅一（大阪府大）
1998 年東北大学工学部通信工学科卒業。2003 年同大学院博士課程修了。現在、大阪府立大学大学院工学研究科准教授。博士（工学）。パターン認識、コンピュータビジョンに関する研究に従事。電子情報通信学会論文賞、IAPR/ICDAR Best Paper Award、IAPR Nakano Award、ICFHR Best Paper Award、IAPR/ICDAR Young Investigator Award 等受賞。

●［16:21-16:38］講演（4）「手書きインタフェースの実用化」

［講演概要］
今講演では、2012 年度の日刊工業新聞社モノづくり連携大賞特別賞を受賞した内容、それに先立ち、2010 年度の全国大学特許収入一位になった発明の内容を紹介し、それらに至った研究経緯を要約する。思考支援環境としての手書き、そして、いずれは普及すると予想した直接指示・直接操作インタフェースへの思いを持ち続け、手書きパタンデータの集積、手書き認識モデルの高度化・高速化・小型化、ユーザインタフェースの考案、そして、手書きにふさわしいアプリケーションの提案などを行ってきた。それらを踏まえて、最近の研究活動を紹介する。マルチリンガルの手書き文字列認識、図や表と文字の分離、数式認識、奈良文化財研究所との共同による出土木簡の解読支援、そして、教育分野への応用などである。

中川　正樹（農工大）
1977 年 東大・理・物理卒。1979 年 同大大学院修士課程了。同大在学中英国 Essex 大学留学（M.Sc. with distinction in Computer Studies）。1979 年 東京農工大・工・助手。現在、教授。オンライン手書き認識、手書きインタフェース、その教育利用などの研究に従事。理学博士。2008 年、International Association of Pattern Recognition Fellow。2009 年、電子情報通信学会フェロー。2011 年、iLabo 株式会社設立、技術顧問。

●［16:38-16:55］講演（5）「滑らか拘束とバイヨン寺院」

［講演概要］
2011 年の秋、バルセロナにおける ICCV にて、画像処理におけるなめらか拘束の提案という基礎的な研究に対して、IEEE-CS Significant Researcher Award を受賞した。2012 年の春には、文化遺産のモデル化という分野の構築に対して、紫綬褒章を受章した。両者は、全く異なる研究業績に対してであるように見える。今回のパネルでは、この 2 つがどのようにつながるのか、そこからの私なりの研究ポリシー、これを通しての若手へメッセージを語る。

池内　克史（東大）
1949 年大阪生まれ。1973 年京都大学工学部機械工学卒、1978 年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程了。工学博士。ＭＩＴ人工知能研究所（2 年間＋ 1 年間）、電総研（5 年間）、CMU ロボティクス研究所（10 年間）を経て、1996 年より東大生研。IEEE-CS Marr 賞、IEEE-RAS Most Active Distinguished Lecturer 賞、IEEE-CS Significant Researcher 賞、紫綬褒章など受章。IEEE fellow。電子情報通信学会、情報処理学会、ロボット学会、フェロー。

●［16:55-17:30］パネル討論「社会的評価の高い研究とは ～表彰受賞者が語る研究の社会的インパクトと醍醐味～」

［討論概要］
長年地道に研究して評価を受ける研究者もいれば、若くして社会から高い評価を受け賞を受賞するような研究者も存在する。このパネルでは、最近（過去 3 年以内）に表彰された受賞者 5 名をパネリストとして招き、受賞対象の技術的内容や受賞の意義とインパクトを説明していただき、若手の研究者が社会的に認知される研究へとプロモートできるヒントを探ってゆく。

司会：鷲見　和彦（青学大）
1982 年京大工学部電気電子工学科卒業。1984 年 同学院修士修了（電気電子工学専攻）。同年三菱電機株式会社生産技術研究所。1988 年同産業システム研究所。2002 年同先端技術総合研究所。2003-2006 年京都大学大学院情報学研究科研究員（COE）客員教授。2007-2010 年三菱電機先端技術総合研究所センサ情報システム技術部長。2011 年青山学院大学理工学部教授、現在に至る。電子情報通信学会・情報処理学会会員・計測自動制御学会・ロボット学会会員。工博。

パネリスト：佐藤　洋一（東大）
写真および略歴は「講演（1）物体の見えのモデリングから人の視覚へ」を参照。

パネリスト：佐藤　敦（NEC）
写真および略歴は「講演（2）一般化学習ベクトル量子化の開発と実用化」を参照。

パネリスト：岩村　雅一（大阪府大）
写真および略歴は「講演（3）大規模事例を用いる高速なパターン認識とその応用」を参照。

パネリスト：中川　正樹（農工大）
写真および略歴は「講演（4）手書きインタフェースの実用化」を参照。

パネリスト：池内　克史（東大）
写真および略歴は「講演（5）滑らか拘束とバイヨン寺院」を参照。

ICT における産業界が望むヒューマンリソース ～ ICT の将来を担うキャリアを究める～［パネルセッション］

9 月 5 日（木）10:00-12:00［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
変わりゆく ICT 業界の技術系・研究系キャリア、そしてその採用に関して、トップを走る各社の採用担当者に状況、さらには採用やキャリアに関する提言をまとめて聞ける機会とする。将来、企業にて研究開発を中心としたキャリアを積みたいと考える学生のみならず、採用担当の教官、さらに若手企業研究者にもキャリアに関する知識を得られる。ICT 分野の学生の採用が多い企業である日本電気、パナソニック、日立製作所、NTT（研究所）、NTT ドコモの採用担当者、組織長レベルを集め、各社からの提言だけでなく、パネルディスカッションにおいて多面的に議論を展開する。

● ［10:00-10:17］

司会・パネリスト：荒川　賢一（NTT ドコモ）
1984 京大･工･情報卒。1986 同大大学院工学研究科修士課程了。同年日本電信電話(株)に入社。同基礎研究所、ヒューマンインタフェース研究所、第三部門を経て、2002 ～ 2012 サイバーコミュニケーション総合研究所勤務、2012NTT ドコモに転籍し、現在に至る。その間、1990 ～ 1992 米国 CMU 計算機科学科客員研究員。主に画像処理、コンピュータビジョン、空間情報処理に関する研究開発に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE 各会員。

● ［10:17-10:29］

パネリスト：山田　勉（日立）
1992 年株式会社日立製作所入社、茂原工場、富士通日立プラズマディスプレイ株式会社出向、労政人事部、株式会社日本 AE パワーシステムズ出向、RAID システム事業部を経て、2012 年から人事教育部。一貫して人事勤労業務に従事。

● ［10:29-10:41］

パネリスト：橋本　雅伸（NEC）
1982 年 4 月 日本電気株式会社 入社。1988 年 6 月 同社 C&C システム研究所 主任。1989 年 9 月～ 1990 年 8 月 カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員。1993 年 7 月 同社 機能エレクトロニクス研究所 研究専門課長。2001 年 4 月同社 機能デバイス研究所 研究部長。2003 年 1 月 同社 SOG 研究所 エグゼクティブエキスパート。2006 年 4 月 同社 生産技術研究所 研究統括マネージャ。2007 年 4 月 同社 システム実装研究所長。2011 年 4 月同社 中央研究所 主席主幹。2013 年 4 月 同社 中央研究所 研究企画本部 主席主幹。現在に至る。専門分野は、情報機器、システム・装置全般。特に磁気記憶装置（HDD など）、入出力装置（プリンタなど）関連の研究。

● ［10:41-10:53］

パネリスト：梶本　一夫（パナソニック）
1986 年、京都大学大学院工学研究科情報工学専攻終了、同年松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）に入社。OS のマルチメディア拡張開発、規格化に従事。その後、放送・業務用映像制作設備開発、デジタル放送送出設備開発、家電統合 PF「UniPhier」のソフトウェア開発、組込みソフトウェア戦略などを担当し、現在、クラウドサービス、クラウド基盤及び対応する家電開発を指揮。

● ［10:53-11:05］

パネリスト：日高　東潮（NTT）
1994 年 NTT 入社、情報通信研究所（DB 研究部）へ配属。1997 年現 NTT コミュニケーションズへ転籍、金融系 SE を担当。2001 年 NTT へ転籍、サイバースペース研究所にて XML DBMS、オープンソース系 DB の研究開発を担当。2011 年研究所企画部にて、人材育成を担当。2012 年研究企画部門を兼務、NTT 研究所採用を担当。

● ［11:05-11:17］

パネリスト：諸永　知子（富士通研）
1993 年 3 月東工大情報理工学研究科修士課程修了。同年 4 月富士通（株）に入社と同時に（株）富士通研究所に出向。ヒューマンインタフェース研究所の研究員としてヒューマンインターフェースの研究に従事。1998 年 4 月同研究所企画調査室に異動、研究の企画戦略に従事。2007 年 4 月同研究所 R&D 戦略室担当課長。2012 年 12 月 R&D 戦略本部オープンイノベーション推進室長。

● ［11:17-12:00］総合討論

ソーシャルメディアの分析～経済物理学、数理モデルの観点から～
9 月 5 日（木）15:30-17:30［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
twitter やブログ等のソーシャルメディアが重要なマーケティングツールとして注目されている。そこで、鳥取大学の石井晃先生と日本大学の佐野幸恵先生をお招きし、経済物理学、数理モデルの観点からのソーシャルメディアのマーケティングツールとしての可能性について講演して頂く。【ソーシャルメディアのクチコミ効果を物理学から数式化する】ソーシャルメディア上のクチコミの伝搬と影響を、物理学の立場で一人一人のクチコミ行動の方程式を立てて数式化し、映画・TV などを例に実際のクチコミと比較分析する。【ソーシャルメディアの経済物理学 ウェブから読み解く人間行動】統計的な手法を使って、ブログなどの大規模データを解析し、個人や集団としての、人間の行動・心理を解き明かす。マーケティング予測等に活用する方法についても紹介する。

司会：菅原　一孔（鳥取大）
1956 年生。1981 年東京工業大学大学院理工学研究科電子物理工学専攻修士課程修了。同年神戸市立工業高等専門学校電気工学科講師。同校助教授を経て、1994 年鳥取大学工学部電気電子工学科助教授、現在、同大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻教授。計算機工学に関する研究に従事。工学博士。IEEE、電子情報通信学会各会員。

● ［15:30-15:35］全体司会

● ［15:35-15:40］講演概要紹介「物理学からのソーシャルメディア分析」

［講演概要］
ソーシャルメディアというビッグデータを物理学の手法でどう研究するか、以下 2 つの講演を概観してイントロダクションとする。

石井　晃（鳥取大）
1985 年 3 月 早稲田大学大学院理工学研究科博士後期課程修了・理学博士。1985 年 4 月 学振奨励研究員（早大）。1985 年 10 月 学振特別研究員（筑波大）。1987 年 2 月 学振海外特別研究員（ロンドン大学）。1988 年 9 月 鳥取大学教養部講師。1995 年 4 月 鳥取大学工学部応用数理工学科助教授。現在鳥取大学工学研究科機械宇宙工学専攻応用数理工学講座教授。専門は社会物理学、物性理論。

●［15:40-16:30］講演（1）「ブログから見る人間の集団的振る舞いの法則性」

［講演概要］
情報技術の発達により、大規模に電子データが収集、保存、解析可能となり、データから集団としての人間の行動見られる法則性について議論ができるようになった。本発表では、約 2000 万ユーザ、26 億記事の日本語のブログデータを用いて、ノイズ処理を含むデータの解析、法則性の発見、シンプルなモデル化という流れで、その法則性について議論する。さらに得られた結果を用いて、将来の書き込み数予測や異常値検知などに活用する例も紹介する。

佐野　幸恵（日大）
2003 年 3 月 奈良女子大学大学院人間文化研究科（物理科学専攻）博士前期課程 修了。2010 年 3 月 東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程 中退。同年 4 月より日本大学理工学部一般教育教室（物理系列）助手。専門は社会・経済物理学で主に大規模なブログデータ解析に関する研究に従事。

●［16:30-17:20］講演（2）「ソーシャルメディアの解析手法としてのヒット現象の数理モデル」

［講演概要］
いわゆるビッグデータが入手できるようになった時代だが、そのビッグデータの解析法はまだ確立されていない。ヒット現象の数理モデルは映画の観客動員数予測を応用例として研究開発された理論だが、広く社会現象一般を扱える理論なため、ビッグデータを解析する理論としても使うことができる。講演では映画以外に一般消費財や選挙等さまざまな応用例を紹介する。

石井　晃（鳥取大）
写真および略歴は「講演概要紹介　物理学からのソーシャルメディア分析」を参照。

●［17:20-17:30］エンディング

学びを科学する：MOOCs で Cloud な Big Data を Learning Analytics ！［パネルセッション］

9 月 6 日（金）9:30-12:00［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
CMS／LMS の導入によって始まった世界の高等教育変革のムーブメントは、その後、SNS や Cloud Computing を活用した socialization と結び付き、今や、ビッグ・データの活用を模索する Learning Analytics、MOOCs に代表されるような Open Education という、「第 3 の波」の真っ只中にあります。しかしながらこのムーブメントに乗っかりさえすれば、労せず手放しでバラ色の未来が手に入るわけではありません。ひたすら教育環境を IT 化したりログを集めたり、あるいはオープン化したりにすることは一部の研究者の間では流行しているようですが、そうしたことが実際にはどれだけ有効であるのか、そこに限界や制約条件はないのかといった問題については、批判と議論に耐えうる厳密な検証／論証は行なわれていないのが現状です。こうしたことを背景として本企画では、「学びをサイエンスする！」を提唱します。CloudComputing、学習環境の Socialization、OpenEducation などの実践的成果、そして Learning Analytics という data driven なアプローチをどう現実の高等教育に導入し、どう活用すればわが国の高等教育の改革に結びつくのか、各分野の第一人者によるパネルディスカッションとフロアー参加者との議論を通して、「学びの科学」を高等教育改革に活かす戦略的な道を探ります。

司会：竹村　治雄（阪大）
大阪大学大学院基礎工学研究科単位取得退学・工博（1987 年）、ATR（1987 年）、奈良先端大助教授（1994 年）を経て阪大サイバーメディアセンター教授（2001 年）、同センター長併任（2007-11 年）、現在に至る。情報処理学会、教育学習支援情報システム研究会主査（2010 年 -）、教育学習支援情報システム、 ヒューマン・コンピュータインタラクション、3 次元ユーザインタフェース等の教育研究に従事。情報処理学会、電子情報通信学会、VR 学会、HI 学会、IEEE、ACM、各会員。

パネリスト：土佐　尚子（京大）
MIT の Center for Advanced Visual Studies（高等視覚研究所）で、メディア芸術の教育を研究後、2005 年より京都大学学術情報メディアセンターにて、京都大学オープンコースウェア推進業務を始める。2006 年日本で初めてオープンコースウェア国際会議をオープンコースウェアコンソーシアムと共に京都大学で行い、約 300 人の参加者を集めた。現在、コンピュータによる学びの可能性を研究している。工学博士（東京大学）。

パネリスト：山内　祐平（東大）
大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程中退後、茨城大学人文学部助教授を経て現職。博士（人間科学）。情報化社会における学びのあり方とそれを支える学習環境のデザインについてプロジェクト型の研究を展開している。特定非営利活動法人 Educe Technologies 代表理事。2003 年度日本教育工学会論文賞受賞。2008 年度グッドデザイン賞受賞。

パネリスト：山田　恒夫（放送大）
1958 年京都市生まれ。1985 年京都大学大学院文学研究科博士課程修了。大阪大学人間科学部助手、（独）メディア教育開発センター教授・研究開発部長等を経て、現在放送大学教育支援センター教授、総合研究大学院大学文化科学研究科メディア社会文化専攻教授。専門は教育工学・学習心理学。現在の研究テーマは、地球規模での学習コンテンツ共有再利用流通システムの構築と、学習者の個々の学習過程の最適化、ICT を活用した国際ボランティア活動。

パネリスト：山川　修（福井県大）
1986 年 3 月 名古屋大学大学院理学研究科物理学専攻修了、1986 年 9 月 理学博士（名古屋大学）、1986 年 10 月　高エネルギー物理学研究所（現、高エネルギー加速器研究機構）客員研究員、1988 年 9 月 日本ビジネスオートメーション（現、東芝情報システム）研究開発室、1990 年 4 月 福井県立短期大学助教授、1992 年 4 月 福井県立大学助教授（情報センター）、2003 年 4 月 福井県立大学教授（情報センター）、2007 年 4 月 福井県立大学教授（学術教養センター）現在に至る。

パネリスト：武田　俊之（関西学院大）
1964 年生まれ。関西学院大学において、教育の方法、ファシリティ、ネットワークの設計、開発、研究に従事。現在は、オープン・エデュケーション、ラーニング・アナリティクス、アクティブ・ラーニングについて、デザイン思考やプロトタイピングの方法による研究開発をおこなっている。2013 年に、組織に依存しないインディ MOOC を有志とともに開始した。

パネリスト：梶田　将司（京大）
情報基盤工学・フィールド情報学・メディア情報学分野における研究者・実践者。「情報技術と人間社会のバランスのよい発展」を目指している。現在は、様々な学問分野の人々が多様な活動を行う大学を「研究フィールド」と位置づけ、大学における教育・学習活動や学術研究活動を情報技術により質的転換するための研究開発・実践活動を行うことを通じて、実際の社会生活を豊かにする新しい情報技術や利用技術の実現・普及を目指している。1990 年名古屋大学工学部情報工学科卒業。1995 年同大学院工学研究科情報工学専攻博士課程満了。2002 年名古屋大学情報連携基盤センター助教授、2007 年同准教授、2009 年情報連携統括本部情報戦略室准教授、2011 年 10 月京都大学情報環境機構 IT 企画室教授、現在に至る。1998 年日本音響学会第 15 回粟屋潔学術奨励賞、2001 年電子情報通信学会第 57 回論文賞。2009 年 IBM Shared University Research (SUR) Award 受賞。情報処理学会、電子情報通信学会、日本音響学会、日本教育工学会、教育システム情報学会、日本高等教育学会、IEEE、ACM 各会員。博士（工学）。

基礎理論が導く最先端技術：計算限界解明への取り組みと超高速アルゴリズム開発

［新学術領域「計算限界解明」・JST ERATO 湊 離散構造処理系プロジェクト・JST ERATO 河原林　巨大グラフプロジェクト共同企画］

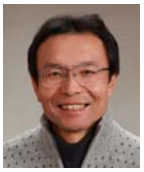
9 月 6 日（金）13:00-16:00［第 2 イベント会場（共通教育棟 C 棟 2F C21）］

［セッション概要］
2012 年度発足の文科省科研費新学術領域による研究プロジェクト「計算限界解明」、JST ERATO 河原林　巨大グラフプロジェクト、また、以前の FIT でも紹介させて頂いたことのある JST ERATO 湊 離散構造処理系プロジェクトの重要性、最先端の研究成果、それから出てくる夢を講演会形式（前半）とポスターセッション（後半）で紹介する。

司会：牧野　和久（京大）
1997 年 京大・工・数理工 修了。博士（工学）。1997 年 -2000 年 阪大・基礎工学 助手、2000-2002 年 同 講師、2002 年 -2005 年 同 助教授、2005 年 -2007 年 東大・情報理工 助教授、2007-2013 年 同 准教授、2013 年より京大・数理解析研 准教授。

●［13:00-13:25］講演（1）「計算限界解明：なぜ限界を？＆なぜ今？」

［講演概要］
科研費の新学術領域として昨年度より開始した「計算限界解明」では、計算の限界を様々な観点から解明する新たな研究領域の構築が進められている。なぜ、計算の限界の解明に挑むのか？こうした研究が情報科学技術の進展の中でどのような意義を持つのか？そして、なぜ今、新たな学問領域としての取り組みを開始したのか？などを説明する。



渡辺　治（東工大）
1982 年東工大・理・情報科学専攻博士後期課程中退。同年・理・助手。1997 年より東工大・情報理工・数理・計算科学専攻教授。2013 年度より北陸先端科学技術大学院大学客員教授、計算の理論、とくにアルゴリズムの設計と解析、計算複雑さの理論の研究に従事。工学博士。情報処理学会フェロー（2009 年）、電子情報通信学会フェロー（2013 年）。

●［13:25-13:50］講演（2）「離散構造処理系に関する計算量解析と実問題への適用」

［講演概要］
計算機が扱う問題の多くは、離散構造の処理を基盤としている。「論理」や「集合」を始めとする様々な離散構造を統合的に演算処理する技法を体系化し、分野横断的かつ大規模な実問題を高速に処理する技術基盤を構築することを目標として「JST ERATO 湊 離散構造処理系プロジェクト」が現在進行中である。このプロジェクトでは､理論（Science）と応用（Engineering）をつなぐ「Art」層を形成し、幅広い研究者が共通の言葉で議論する場を提供することを目指している。本講演では、離散構造処理に関する最近の理論的な研究成果について紹介し、それらの結果が現実の大規模データを扱う問題にどのように関係しているかを述べる。

湊　真一（北大）
1988 年京大・工・情報工卒。1990 年同大学院修士、1995 年同博士課程（社会人）修了。博士（工学）。1990 年度より 2003 年度まで NTT 研究所に勤務。1997 年 1 ～ 12 月 スタンフォード大学 計算機科学科 客員研究員。2004 年度より北大・情報科学研究科 助教授、2010 年 10 月より同教授、現在に至る。大規模離散構造データの表現と処理アルゴリズムの研究・教育に従事。2009 年 10 月より JST ERATO 湊 離散構造処理系プロジェクト研究総括。

●［13:50-14:15］講演（3）「巨大グラフの解析とアルゴリズム」

［講演概要］
Web 構造や Facebook、Twitter など、我々の身近にある複雑ネットワークは日々膨張を続け、現在では各々 10^9 に近いユーザーが利用する巨大構造をなしている。この様な巨大なネットワークは、ユーザーに相当する「頂点」と、各ユーザーを結ぶネットワークに該当する「辺」からなる「グラフ」を構成している。JST ERATO「河原林 巨大グラフプロジェクト」では、このような巨大グラフを、1. 数学的に解析し、2. その解析により「高速」に動作するアルゴリズム開発、を目指している。本講演では、上記プロジェクトの概要を最初に紹介する。その後、グラフの「数学的」な知識と既知のアルゴリズムを組み合わせることにより、既存よりはるかに性能が良いアルゴリズム開発が可能である例をいくつか紹介する。

河原林　健一（NII）
1998 年慶応大学理工学部卒、2001 年慶応大学理工学研究科後記博士課程終了（理学博士）。2003 年東北大学情報科学研究科助手、2006 年国立情報学研究所助教授、2009 年より同教授。現在ビッグデータ数理国際センター長、および JST ERATO 河原林 巨大グラフ研究総括。離散数学、理論計算機科学から AI, データマイニングの研究に従事。2008 年度 IBM 科学賞、2012 年度日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞。

●［14:30-16:00］ポスターセッション「基礎理論から見えてくる最先端アルゴリズムの世界」

［概要］
新学術領域「計算限界解明」・JST ERATO 湊 離散構造処理系プロジェクト・JST ERATO 河原林　巨大グラフプロジェクトそれぞれを代表する若手研究者 10 名程度によりポスターセッションを行う。

講演論文集の内容

発行日　平成 25 年 8 月 20 日

講演論文集　第 1 分冊

査読付き論文
- 分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

一般論文
- 分野 A：モデル・アルゴリズム・プログラミング
- 分野 B：ソフトウェア
- 分野 C：ハードウェア・アーキテクチャ

講演論文集　第 2 分冊

査読付き論文
- 分野 D：データベース
- 分野 E：自然言語・音声・音楽
- 分野 F：人工知能・ゲーム
- 分野 G：生体情報科学

一般論文
- 分野 D：データベース
- 分野 E：自然言語・音声・音楽
- 分野 F：人工知能・ゲーム
- 分野 G：生体情報科学

講演論文集　第 3 分冊

査読付き論文
- 分野 I：グラフィクス・画像
- 分野 J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
- 分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

一般論文
- 分野 H：画像認識・メディア理解
- 分野 I：グラフィクス・画像
- 分野 J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション
- 分野 K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

講演論文集　第 4 分冊

査読付き論文
- 分野 L：ネットワーク・セキュリティ
- 分野 N：教育・人文科学
- 分野 O：情報システム

一般論文
- 分野 L：ネットワーク・セキュリティ
- 分野 M：ユビキタス・モバイルコンピューティング
- 分野 N：教育・人文科学
- 分野 O：情報システム

講演論文集　DVD-ROM

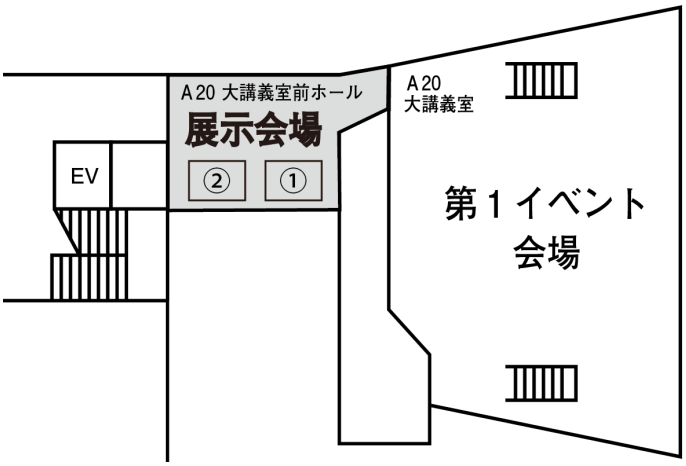
上記全論文およびプログラムを収録（著者、所属、キーワードによる索引付き）

展示会のご案内

FIT2013 では会期中、以下の企業による展示会を開催致します。
展示会場：共通教育棟 A 棟 2F A20 大講義室前ホール
展示日時：4 日（水）9:30-17:00　5 日（木）9:30-17:00　6 日（金）9:30-15:00

ブース番号	出展者名・出展者 Web サイト・展示名 展示概要
①	**鳥取大学 大学院工学研究科 計算機工学 AB 研究室**［http://www.keisana.ike.tottori-u.ac.jp/］ バスネット：鳥取大学発 路線バス・鉄道経路探索システム
	鳥取大学では、2006 年より地域のバスや鉄道を網羅した乗換案内サービス「バスネット」を開発、運用している。高速で高品質な経路探索アルゴリズムを独自開発し、バス事業者などとの協力のもと、町営バスやコミュニティバスなどを含めた鳥取県内のほとんどのバスや鉄道路線の最新の時刻表データを整備、更新しながら地域交通の利便性向上に貢献している。バスネットには、毎月 2 万件から 4 万件のアクセスがあり、地域を支える重要なインフラとなっている。現在、Web だけでなく公共施設に設置された専用端末、スマートフォン向けアプリケーションなどから利用可能である。 本展示では、バスネットの基本機能や発展的な機能を展示しながら、公共交通案内サービスの未来像を示してゆく。 詳細：http://www.ikisaki.jp
②	**株式会社日経 BP / 株式会社日経 BP マーケティング**［http://ec.nikkeibp.co.jp/nsp/］ 日経ＢＰ社の大学の教科書、クラウドサービス「日経パソコン edu」
	資格対策テキストをはじめ、情報利活用シリーズなど日経 BP 社の新刊を多数展示します。クラウドサービス「日経パソコン edu」、オンデマンド学習システム「StudyPC.net」なども紹介します。

展示会場図



査読付き論文について

情報処理学会および電子情報通信学会情報・システムソサイエティ，ヒューマンコミュニケーショングループが共同開催する情報科学技術フォーラム（FIT: Forum on Information Technology）は，2002 年に創設され今回が第 12 回となる日本の情報科学分野最大の学術大会である．査読採択論文は各分野の講演論文集に収録されている．

FIT2013 では，本フォーラムで最も特徴となる FIT 査読付き論文について，情報分野のより一層の活性化を目指すべく，前回と同様の「コンファレンスペーパー」としての査読に加えて，優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する「論文誌推薦制度」を継続した．査読はこれまでと同様，各分野に分野責任者を置き，各研究会から推薦された担当委員と協力して，それぞれの分野および研究会で独立に論文査読を行った．

以上の過程を踏まえて，6 月 10 日に査読会議を開催し，採択論文の決定，船井ベストペーパー賞・FIT 論文賞候補論文の決定，論文誌への推薦論文候補を決定し，それに引き続きプログラム編成会議で FIT2013 プログラムを策定した．論文査読を行った各分野の投稿数，採択件数，採択率は次の通りである．

	投稿数	採択件数	採択率
A：モデル・アルゴリズム・プログラミング	13	9	69.2%
B：ソフトウェア	-	-	-
C：ハードウェア・アーキテクチャ	15	10	66.7%
D：データベース	9	3	33.3%
E：自然言語・音声・音楽	2	1	50.0%
F：人工知能・ゲーム	12	5	41.7%
G：生体情報科学	3	1	33.3%
H：画像認識・メディア理解	-	-	-
I：グラフィクス・画像	13	3	23.1%
J：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション	13	8	61.5%
K：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用	20	7	35.0%
L：ネットワーク・セキュリティ	14	7	50.0%
M：ユビキタス・モバイルコンピューティング	-	-	-
N：教育・人文科学	6	3	50.0%
O：情報システム	32	19	59.4%
合計	152	76	50.0%

以下の 5 編は，FIT2013 学術賞選定委員会が候補論文の中から所定の選定手続きを経て選んだ船井ベストペーパー賞 3 編・FIT 論文賞 2 編である．

船井ベストペーパー賞

・RD-003 知名度の地理的広がりを考慮した実世界スポットの地域局所性推定
◎田中 陽子・数原 良彦・佐藤 吉秀・戸田 浩之・鷲崎 誠司（日本電信電話）

・RE-001 奏者の意図したテンポ変動の推定に基づく演奏録音の自動伸縮修正法
◎小泉 悠馬・伊藤 克亘（法政大学）

・RJ-004 回転運動する聴覚刺激が回転ベクション感覚に及ぼす影響
○崔 正烈･柳生 寛幸･坂本 修一（東北大学）･岩谷 幸雄（東北学院大学）･鈴木 陽一（東北大学）

FIT 論文賞

・RC-008 HPC クラウドにおける仮想計算機の割込み通知機構の改良
本庄 賢光（広島市立大学 / インターネットイニシアティブ）・○窪田 昌史・
北村 俊明（広島市立大学）

・RF-004 地域制約の元での戦略的操作不可能なマッチングメカニズム
◎橋本 直幸・上田 俊・岩崎 敦（九州大学）・安田 洋祐（政策研究大学院大学）・
横尾 真（九州大学）

最後になったが，多忙の中，査読プロセスの運営および各賞の選考にご尽力頂いた FIT2013 プログラム委員会および FIT2013 学術賞選定委員会の方々，限られた短期間で論文査読の責務を果たして頂いた査読者の方々に深く感謝する．

FIT2013 プログラム委員会
FIT2013 学術賞選定委員会
委員長　荒川　賢一

一般講演プログラム

A 分野：モデル・アルゴリズム・プログラミング（第 1 分冊）

[アルゴリズム・コンピュテーション（1）]
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　1A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　座長　喜田　拓也（北大）

RA-001　On (k, r)-gatherings on a Road……◎赤木俊裕・中野眞一（群馬大）
RA-002　有向グラフに対する多項式時間省メモリ最短経路アルゴリズム ……◎今井達也（東工大）
RA-003　A Compact Code for Rectangular Drawings with Degree Four Vertices ……○高橋俊彦（新潟大）
A-001　内部 3 連結グラフの外 6 角格子凸描画 ……○三浦一之（福島大）
A-002　A Fixed-Parameter Algorithm for Detecting a Singleton Attractor in an AND/OR Boolean Network with Bounded Treewidth……○阿久津達也・田村武幸（京大）
A-003　最大クリーク問題に対する頂点次数を考慮しない k-opt 局所探索法 ……◎渡邉好幸・片山謙吾・南原英夫・西原典孝（岡山理大）
A-004　完全グラフのオイラー回帰長についての予想の進展 ……○神保秀司（岡山大）

[アルゴリズム・コンピュテーション（2）]
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　2A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　座長　全　眞嬉（東北大）

RA-004　大規模軌跡データからの群パターン発見のための実用的アルゴリズム ……◎耿　暁亮（北大）・宇野毅明（NII）・有村博紀（北大）
RA-005　最適な学習回数超過時における FLVQ のパターン認識精度低下を抑制する新しいクリスプ関数 ……◎吉田　嵩・相川直幸（東理大）
A-005　符号化を必要としない撹乱順列の線形時間ランダム生成について …… ○三河賢治（新潟大）・田中　賢（神奈川大）
A-006　学習ベクトル量子化を用いた転移学習システム ……◎中村宗広（金沢大）・梶原祐輔（立命館大）・木村春彦（金沢大）
A-007　新指数型進化的プログラミングに関する有効性の研究 ……◎向原康平・井上浩孝（呉高専）
A-008　モンテカルロ法を用いた光散乱シミュレーションの GPU による高速化 ……◎伊藤夏織・村野弘樹・宮　兆喆・津村徳道・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）

[アルゴリズム・コンピュテーション（3）]
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　3A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　座長　阿久津　達也（京大）

RA-006　Normal Basis を用いた多項式基底間の基底変換 ……◎石井将大・猪俣敦夫・藤川和利（奈良先端大）
RA-007　双対解を用いた提携構造付きコアの非空判定アルゴリズムの高速化 ……岩崎　敦・◎上田　俊・横尾　真（九大）
RA-008　portfolio 型並列 SAT ソルバにおける多様な探索を行うための手法の提案 ……◎薗部知大・稲葉真理（東大）
A-009　上書きハッシュ表の有効性 ……◎山口陽平・岩田茂樹（電通大）
A-010　A result on complexity of quantum computation ……○浜田　充（玉川大）
A-011　浮動小数点フォーマットに基づく事前誤差解析を用いた多倍長演算における演算精度の自動調整アルゴリズムの提案と評価 ……◎野口剛史・古賀雅伸・川端悠一郎（九工大）・矢野健太郎（福岡工大）

[アルゴリズム・コンピュテーション（4）]
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　4A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　座長　河村　彰星（東大）

RA-009　単位セル構造と走行実績を用いた地図生成方式の提案と経路探索への適用 ……◎村田大輔・横田孝義（鳥取大）
A-012　スプーフィングを対象とした民生用衛星測位システムの脆弱性軽減方法の開発 ……○千野孝一・Dinesh Manandhar・柴崎亮介（東大）
A-013　（講演取消）
A-014　複層球面 GUI の設計 : 混合データのアイコン化と配置への応用 …◎堀江輝樹・前嶋雅也・横手良太・松山泰男（早大）
A-015　ペトリネット援用ツールを用いたモデル設計とポスト検証ツール向け状態空間生成アルゴリズム ……◎太田淳也・和崎克己（信州大）
A-016　活性安全自由選択ネットの被覆マークグラフへの分割アルゴリズムと実装 ……◎井出和人・和崎克己（信州大）
A-017　スマートフォンとカルマンフィルターによる 3D 姿勢情報のセンシングに関する研究 ……◎村上智哉・横田孝義（鳥取大）

[数理モデル化と問題解決]
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　5A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　座長　但馬　康宏（岡山県大）

A-018　2 部グラフによる電子掲示板のスレッド分類手法 ……◎田中航介（北大）・鈴木育男（北見工大）・山本雅人（北大）・古川正志（北海道情報大）
A-019　ゼータ分布を利用した SQL インジェクション攻撃の特徴抽出について……○松田　健（静岡理工科大）
A-020　乱数度測定器 RMT テストにおける高乱数度判定基準の再考 ……◎三賀森悠大・楊　　欣・田中美栄子（鳥取大）
A-021　東証 tick 株価の RMT 主成分分析による 3 箇月単位の主要セクタ抽出 ……◎山本敦史・田中美栄子（鳥取大）
A-022　時間変化を考慮したネットワーク可視化方法 …… ◎川口　光・山本雅人（北大）・古川正志（北海道情報大）
A-023　南側に単一の窓のあるオフィスにおける外光の照度分布推定手法 ……三木光範・◎中林弘光・池上久典・間　博人（同志社大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2012 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

［プログラミングと数理モデル化］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6A 会場（共通教育棟 C 棟 2F C22）　　座長　庄野　逸（電通大）
A-024　依存性情報を持つ中間コードを使ったロード時最適化手法 …… ◎秋山　健（東芝）・森本晃弘（東芝システムテクノロジー）
A-025　レジスタ割り当てにおけるデータ転送命令の削減手法 ……◎尾形冬馬・中野秀洋・宮内　新（東京都市大）
A-026　FreeMind プログラミングの支援機能 ……川原拓也・武田利浩・○平中幸雄（山形大）
A-027　OpenSim における RRA と CMC の検証 ……◎家城悠馬・伊藤利明（同志社大）
A-028　（講演取消）
A-029　ノード配置問題に対する交叉法とパス再結合法の性能比較 …◎赤木勇斗・片山謙吾・南原英生・西原典孝（岡山理大）
A-030　Geometric Algebra を用いた文のベクトル化手法における計算量の改善に関する検討 ……◎鈴木直人・吉川大弘・古橋　武（名大）

B 分野：ソフトウェア（第 1 分冊）

［モバイル OS］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　　座長　山内　利宏（岡山大）
B-001　モバイル端末の OS とブラウザの組合せに対するベンチマーク結果に関する考察 ……◎田島誠也（電機大）・Teemu Leppanen（University of Oulu/ 東大）・岩井将行（電機大）
B-002　Android におけるアプリケーション起動履歴を用いた終了プロセス選定 ……◎野村　駿・永田恭輔・中村優太・山口実靖（工学院大）
B-003　Android OS における複数アプリ同時表示手法の提案と評価 ……◎森田清隆・桐村昌行（三菱）
B-004　Android OS における状態変化通知による同期の回避に関する検討 …… ◎川崎仁嗣・神山　剛・小西哲平・大久保信三・稲村　浩（NTT ドコモ）
B-005　Dalvik VM GC の性能の評価 ……◎永田恭輔・中村優太・野村　駿・山口実靖（工学院大）

［基盤ソフトウェア］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　　座長　山田　浩史（農工大）
B-006　KVM における優先度制御法の有効性 …… ◎森山英明（有明高専）・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）
B-007　システム障害発生部位判定方法と障害の分類 ……○篠原昭夫・泉　　隆（日大）
B-008　Tenderにおける効率的なページアウト規則の実現 ……◎濵口知之・山内利宏・谷口秀夫（岡山大）
B-009　複数 NIC を連携制御する既存手法の問題点 ……◎吉田泰三・谷口秀夫（岡山大）
B-010　リアルオブジェクトを対象とするシミュレータの時刻同期 ……◎加藤靖之・平中幸雄・武田利浩（山形大）
B-011　C 言語自動並列化トランスレータの開発 : 構文木をベースとした並列構造解析と動的実行制御の実現 ……◎武市和真・遠山純也・小林裕昌・甲斐宗徳（成蹊大）

［並列処理］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　　座長　城田　祐介（東芝）
B-012　GPU を用いた直積量子化の近似最近傍探索における並列化実装 ……◎村上明男・若谷章良（甲南大）
B-013　GPU サイクル共有システムのための遊休時間予測手法の比較 ……◎南　翔太・伊野文彦・萩原兼一（阪大）
B-014　省電力化を意識したプログラムの実装の比較と評価 ……◎田中献大・黒田久泰（愛媛大）
B-015　MPS 法による 3 次元の水柱崩壊シミュレーションの高速化とその評価 ……◎北山雅邦・黒田久泰（愛媛大）
B-016　プル型ジョブスケジューラにおける動的通信量制御方式 …… ○齊藤隆之（アンクル）・善甫康成（法大）

［仕様・設計，形式的手法］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　　座長　井上　真二（鳥取大）
B-017　問いを中心としたステークホルダの課題獲得手法 …… ◎畑中翔太（北九州市役所）・久代紀之（九工大）
B-018　プロダクトライン開発におけるセミ形式化記述を用いた仕様整合支援ツール ……○小宮紀之（三菱）・久代紀之（九工大）・深澤良彰（早大）
B-019　要求、設計、評価工程をつなぐ仕様記述手法 ……○久代紀之（九工大）・小宮紀之（三菱）・深澤良彰（早大）
B-020　デザインパターン検出結果を基にクラスを配置したプログラム設計理解のためのクラス図生成 ……◎鵜飼公平・酒井三四郎・松澤芳昭（静岡大）
B-021　タイムアウト機構を有するメッセージ交換プロトコルの UML モデルと SPIN モデル検査 ……◎坂本　統・和崎克己（信州大）
B-022　文字列一致による数学的等価性判定可能なモデル分割アルゴリズム ……◎三鍋孝介・織田　健（電通大）

［アプリケーション開発，品質保証］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　　座長　阿萬　裕久（愛媛大）
B-023　複数仮想マシン上におけるアプリケーションの性能予測のための階層的性能モデルの検証 …… ◎沼田絵梨子・木村大地・河津正人（NEC）
B-024　Android アプリによる食品管理システムの構築と適用評価 ……◎飯山大樹・中所武司（明大）
B-025　フレームワークを利用した Web アプリケーション開発時におけるセッション汚染対策の検討 ……◎木村勇一・後藤厚宏（情報セキュリティ大）
B-026　FXML から JSF ページとプログラムの自動生成……◎原口久美子・塚本享治（東京工科大）
B-027　組込みソフトウェアに対するソフトウェア FMEA の試行実験とその考察 …… ○余宮尚志（東芝）・小島昌一（東芝ソフトウェア・コンサルティング）
B-028　記号実行を用いた等価ミュータントの検出手法の提案 ……◎上芝貴也・王　玮涛・芳賀博英（同志社大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[デジタルドキュメント・ソフトウェアサイエンス]
9月6日（金）09:30～12:00　6B 会場（共通教育棟 D 棟 2F D21）　座長　久代　紀之（九工大）
B-029　アノテーションを利用したスライド再利用支援システムの試作
……◎杉山亮弘・白松　俊・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
B-030　複数コンテンツの部分関連付けに基づく論文作成支援 ……◎棚瀬達央・大平茂輝・長尾　確（名大）
B-031　XSLT を用いた既存文書から新規複合文書の生成 ……◎西原裕則・塚本享治（東京工科大）
B-032　内部の HTML 構造を自由に設計できるウィジェットの実現方法 ……◎日野克哉・中島暢康（東芝）
B-033　モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
―強マイグレーションエージェントコードのためのソースコード変換器の改良―
……◎疋田直也・坂巻　渉・甲斐宗徳（成蹊大）
B-034　モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
―エージェントへの移動指示を行う API の設計と実装― ……◎大久保秀・佐藤　寿・甲斐宗徳（成蹊大）
B-035　モバイルエージェントシステム AgentSphere の開発
―分散ハッシュテーブルを用いたエージェント検索機能の実現―
……◎黒崎信清・鈴木幸祐・長塩征幸・甲斐宗徳（成蹊大）

C 分野：ハードウェア・アーキテクチャ（第 1 分冊）

[組込みシステムとアーキテクチャ]
9月4日（水）09:30～12:00　1C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　座長　中本　幸一（兵庫県大）
C-001　センサ多重化による閉空間ナビゲーションシステムの提案 ……◎石川敏揮・平山雅之・早川佳克・杉本竜之介（日大）
C-002　スマートフォンを利用した屋内型移動ロボット遠隔制御システムの構築
…… ◎楠瀬　適・河合航平・島田秀輝・佐藤健哉（同志社大）・松原　豊・本田晋也（名大）
C-003　組込みシステム向け DVFS アルゴリズムのリアルタイム OS への実装および比較評価
……○岩田　淳・高瀬英希・高木一義・高木直史（京大）
C-004　自律型 LED 水中集魚灯のための水濁測定機能の実装とその評価
……◎吉武伸泰・田中康一郎（九産大）・安樂和彦（鹿児島大）・藤井　敏（交和電気産業）
C-005　演算レベル並列処理用マルチ ALU プロセッサの設計と実現
……◎石川陽章・杵川大智・境　直樹・孟　　林・山崎勝弘（立命館大）
C-006　資源利用率に基づく連想度可変キャッシュメモリ ……◎渡邊恭成・中野秀洋・宮内　新（東京都市大）

[ディペンダブルシステム（1）]
9月4日（水）13:00～15:00　2C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　座長　金川　信康（日立）
RC-001　A Study of n-fault-tolerant system with voting switches ……○岩井仁司（所属なし）
C-007　反転条件緩和による低消費電力指向バス反転回路の設計 ……◎稲岡智哉・市原英行・岩垣　剛・井上智生（広島市大）
RC-002　DCSTP 適用回路に対する最適電力テスト手法 ……◎小河　亮・岩田大志・山口賢一（奈良高専）
RC-003　木に着目した L1L2* スキャン設計の適用手法 ……◎上岡真也・岩田大志・山口賢一（奈良高専）
RC-004　パス遅延故障の過剰テストを削減するためのテストパタン生成法 ……◎古本　圭・吉川祐樹（呉高専）
C-008　NAND FM におけるデータ保持能力の短期推定手法 ……◎鈴木彬史・小川純司（日立）

[ディペンダブルシステム（2）]
9月4日（水）15:30～16:50　3C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　座長　中村　友洋（日立）
C-009　分散システムの評価尺度についての一考察 ……◎神田一平（首都大）・新井雅之（日大）・福本　聡（首都大）
C-010　ハードウェアシミュレータを用いた機器故障検出手法の評価環境 ……◎大貫智洋・徳永雄一（三菱）
RC-005　ユーザ行動に基づく符号変換装置の故障検出方法 …… ○長野伸一・本藤聡一郎・氣賀澤芳弘（NTT 東日本）
C-011　システム開発の上流工程を支援する性能評価環境の提案 ……○伊川宏美・但馬慶行・野口孝史（日立）

[再構成型システムとシステム設計]
9月5日（木）09:30～12:00　4C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　座長　弘中　哲夫（広島市大）
C-012　FPGA を用いた液晶用ガラス欠損検出システムの高速化
……○孟　　林・松山圭輔・野尻直人・泉　知論・山崎勝弘（立命館大）
C-013　プログラマブル通信制御フレームパーサー回路の提案と評価 …… ◎八田彩希・田中伸幸・重松智志（NTT）
C-014　ハードウェア特殊化 AES 暗号回路のホワイトボックス実装に関する研究
…… ○松岡俊佑（旭川高専）・市川周一（豊橋技科大）
C-015　（講演取消）
RC-006　シミュレータによる非実機車載ソフトウェア検証環境の統合制御コントローラ …… ◎伊藤康宏・勝　康夫（日立）・
太田亙宏・和田健二（日立アドバンストデジタル）・下澤昌史（日立ソリューションズ）
C-016　Coarsely Integrated Operand Scanning アルゴリズムに基づくモンゴメリ乗算器の回路規模縮小手法の検討
…… ◎田村　慧・山田親稔（沖縄高専）・市川周一（豊橋技科大）

[コンピュータシステム技術（1）]
9月5日（木）15:30～17:30　5C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　座長　吉永　努（電通大）
RC-007　大規模グラフ解析を高速化する適応ネットワークシステム ……○高田雅士・林　真人・朝　康博・加藤　猛（日立）
C-017　マトリクスアーキテクチャ型超並列 SIMD 演算プロセッサを用いたモルフォロジカルパターンスペクトラムの
実装と評価 ……◎塚田靖史・竹田知弘・本多隼也・熊木武志・小倉　武・藤野　毅（立命館大）

RC-008　【FIT 論文賞受賞論文】
HPC クラウドにおける仮想計算機の割込み通知機構の改良
…… 本庄賢光（広島市大 / インターネットイニシアティブ）・○窪田昌史・北村俊明（広島市大）
RC-009　仮想化環境におけるキャッシュヒット率を考慮した VM メモリ割り当て ……◎坂本雅哉・山口実靖（工学院大）
C-018　光ディスクライブラリ向け UDF 互換の誤り訂正機構の開発 ……◎小林正幸（日立）
C-019　DVI 出力をもつ位相ホログラフィ専用計算機の開発 …… ○増田信之（長岡技科大）・
遠藤　優・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）・市橋保之（NICT）

［コンピュータシステム技術（2）］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6C 会場（共通教育棟 D 棟 2F D22）　　座長　窪田　昌史（広島市大）
C-020　フラッシュストレージ搭載 Android 端末における I/O スケジューリング
……◎中村優太・永田恭輔・野村　駿・山口実靖（工学院大）
RC-010　GRAPE-DR ボードによる計算機合成ホログラムの高速化…… ○杉山　充・熊木達巳（千葉大）・
増田信之（長岡技科大）・老川　稔・岡田直久・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）
C-021　関数リターンとの相関を利用する分岐予測方式 ……◎吉川　唯・布目　淳・平田博章・柴山　潔（京都工繊大）
C-022　ＤＤＲ４　ＳＯ－ＤＩＭＭの開発－１ ……◎塚田和良（バッファロー）
C-023　トランザクショナルメモリを実現するスヌープキャッシュの遅延更新プロトコル
……◎一井世界・布目　淳・平田博章・柴山　潔（京都工繊大）
C-024　非局所的な入れ子構造のループに対するスレッドレベル並列性の抽出可能性
……◎上杉晴信・布目　淳・平田博章・柴山　潔（京都工繊大）
C-025　データベースの動作情報を用いた仮想化環境における HDD のアクセス低減に関する一考察
……◎若色　匠・山口実靖（工学院大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

D 分野：データベース（第 2 分冊）

［実世界 DB］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　灘本　明代（甲南大）

D-001　世界構造の中の個人の態度と方法についてのノート ……○高原利生（所属なし）
D-002　株価データを用いた企業分布の可視化に関する研究 ……◎芝田　遥・荒川正幹（宇部高専）
D-003　料理レシピ群から代替・追加・省略可能な食材の抽出手法の検討 ……◎楠　花菜・安藤一秋（香川大）
D-004　セマンティック技術を用いたアルコール飲料データベースの試作 ……◎齋藤郁海・森本祥一（専大）
D-005　時系列変化点の異種時系列への影響度分析 ……◎杉澤優馬・伏見卓恭・斉藤和巳（静岡県大）
D-006　新聞記事からの行動履歴情報の抽出実験と評価 ……◎南雲旭人・山田剛一・絹川博之（電機大）
D-007　大規模設備管理システム向け仮想計測点管理方式 ……◎立床雅司・菅野幹人（三菱）

［Web・検索］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　鈴木　優（名大）

RD-001　（講演取消）
D-008　若者言葉の自動抽出に用いたテンプレート改良に関する検討 ……◎松尾朋子・安藤一秋（香川大）
D-009　動画リストを用いた動画共有サイトにおける動画検索精度の向上 ……◎西　友規・山口実靖・小林亜樹（工学院大）
D-010　レビューサイトにおける異常検出を用いた重要ユーザ選定法 ……◎山岸祐己・斉藤和巳・武藤伸明（静岡県大）
D-011　Amazon レビューの有用性判定 ……◎倉橋宏幸・青野雅樹（豊橋技科大）
D-012　メタ知識に基づくウェブ探索を容易にする FootprintTrailer とウェブブラウザとの連携機構
……◎足立吉隆・佐藤慶三・中島　誠（大分大）

［文書グラフ・自然言語処理］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　斉藤　和巳（静岡県大）

RD-002　多重仮説文書構造ネットワークを用いたデータ抽出方式の開発
……○関　峰伸・小林義行・芳賀憲行・石田響子・藤尾正和・平山淳一・永崎　健（日立）
D-013　語の共起による文書グラフの構築と PageRank を導入した重要語抽出法 ……◎今井智宏・望月久稔（大阪教育大）
D-014　対訳コーパスに基づく最適なローマ字化システムの構築
…… ◎田口恵子（同志社大）・Andrew Finch（NICT）・山本誠一（同志社大）・隅田英一郎（NICT）
D-015　単語頻度を用いた文書分類と代表文書の抽出 …… 木村　淳（ジャストシステム）・○吉冨康成・田伏正佳（京都府大）
D-016　（講演取消）
D-017　（講演取消）

［位置情報・地理 DB・時空間 DB］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　熊本　忠彦（千葉工大）

RD-003　**【船井ベストペーパー賞受賞論文】**
知名度の地理的広がりを考慮した実世界スポットの地域局所性推定
…… ◎田中陽子・数原良彦・佐藤吉秀・戸田浩之・鷲崎誠司（NTT）
D-018　曖昧な移動軌跡に対する範囲問合せ ……◎早矢仕新・杉浦健人・董ていてい・石川佳治（名大）
D-019　POI 情報を利用した Web 文書からの地名の抽出 …… ◎今井良太・廣嶋伸章・佐藤　隆・鷲崎誠司（NTT）
D-020　道路網距離に基づく連続旅行計画 …… ◎イーウィン エース・大沢　裕（埼玉大）
D-021　軽量マテリアライズドパスビューによる道路網距離の最短路探索 ……◎山田皓大・大沢　裕（埼玉大）
D-022　漂着ごみの実態調査を目的としたスマートフォン用アプリケーションの開発
……◎望月宏樹・登川幸生・山本守和（日大）
D-023　パノラマ仮想空間構築のための RANSAC を用いた方位推定方法 ……◎松場亮太郎（岡山県大）

［検索・推薦］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　小林　亜樹（工学院大）

D-024　アプリケーション開発における要素技術としての利用に着目した数式検索手法の提案
……◎渡部孝幸・宮崎佳典（静岡大）
D-025　Web 検索における情報見落としを防ぐ Web ページの提示手法の提案 …◎井倉真一・原田史子・島川博光（立命館大）
D-026　HBase マッピングによる日本語 WordNet を利用した番組等検索システムに関する研究
…… ◎陳　　豊・Sriprasertsuk Pao・亀山　渉（早大）
D-027　ソートを利用したＬ１ノルム総和計算によるピボット選択の高速化
……◎小林えり・斉藤和巳・池田哲夫・伏見恭卓（静岡県大）
D-028　高頻度語を可変長索引語に用いる類似文字列検索手法の検討 ……◎木村光樹（東大）・高須淳宏・安達　淳（NII）
D-029　信頼度を考慮した協調フィルタリングに基づく書籍の推薦方式の提案 ……◎蒋　淵舒（電機大）
D-030　オントロジーに基づく LBSN 上でのイベント検出 ……○稲葉鉄平・簗井美咲・石川佳治（名大）

［ソーシャルメディア］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7D 会場（共通教育棟 C 棟 3F C32）　　座長　牛尼　剛聡（九大）

D-031　Twitter に適したオンライン学習可能なトピックモデルの検討 ……◎佐々木謙太朗・吉川大弘・古橋　武（名大）
D-032　Twitter における同一話題のツイートの連結と話題抽出 ……◎星　皓介・山田剛一・絹川博之（電機大）
D-033　Twitter からの鉄道運行情報の検索 ……◎河邉拓也・絹川博之（電機大）
D-034　Twitter の reply と retweet 関係からなる成長ネットワークの比較分析
……◎加藤翔子・大久保誠也・斉藤和巳（静岡県大）

D-035　マイクロブログではどの程度流言が訂正されるのか？ − Twitter 上での 1 年間の流言訂正情報の分析 −
……◎宮部真衣（京大）・灘本明代（甲南大）・荒牧英治（京大）
D-036　ソーシャルメディアの情動に着目した実世界事象予測手法の提案
…… ◎池田和史・服部　元・滝嶋康弘（KDDI 研）・麻生英樹（産総研）
D-037　場所に関する特徴語を利用したリアルタイム地名曖昧性解消手法 …… ◎落合桂一・鳥居大祐（NTT ドコモ）
D-038　ソーシャルグラフを可視化する都市型レイアウト形成システム ……◎川村真人・高井昌彰（北大）

E 分野：自然言語・音声・音楽（第 2 分冊）

［自然言語処理・応用］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　村田　真樹（鳥取大）
E-001　ソーシャルブックマークを用いたウェブサイトの意味内容の抽出 …… ◎長谷川直広・Runhe Huang（法大）
E-002　大規模な障害事例を用いた質問応答システム … ○瀬川　修（中部電力）・村上一彦・古里宗寛（中電シーティーアイ）
E-003　Twitter のツイートの接続表現を手がかりにした連想関係の抽出 ……◎斉藤博文・山田剛一・絹川博之（電機大）
E-004　情報工学教材検索システムにおける教材選択のための情報提示 ……◎太田健吾・杉本　徹（芝浦工大）
E-005　連想メカニズムを用いたスケジュールに関する質問応答システムの作成
……◎高淵智史・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-006　ユーザの読解力に応じた難易度の日本語文書推薦のための指標の提案 ……◎尾関雄亮・大澤範高・梅澤　猛（千葉大）
E-007　ツイート解析による性別推定に有用な因子の検討 …◎長浜祐貴・遠藤聡志・當間愛晃・赤嶺有平・山田考治（琉球大）

［物語生成］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　橋本　泰一（グリー）
E-008　統合物語生成システムのための物語言説技法全体を包括するシステムの枠組みの提案
……◎秋元泰介・小方　孝（岩手県大）
E-009　（講演取消）
E-010　プロップの「つなぎの技法」を利用して事象間を円滑に繋げるための手法の提案 …◎今渕祥平・小方　孝（岩手県大）
E-011　統合物語生成システムのための間テクスト的知識獲得・加工機構の枠組み ……◎小野淳平・小方　孝（岩手県大）
E-012　（講演取消）
E-013　物語言説における時間順序変換技法 ―統合物語生成システムにおける開発の現状と課題―
……◎秋元泰介・小方　孝（岩手県大）

［自然言語処理・基礎］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　松本　一則（KDDI 研）
E-014　クラメールの連関係数を援用した類似文書検索の評価 ……○樽松理樹（岩手県大）
E-015　機械学習を用いた段落の順序推定実験 …… ◎伊藤聡史・村田真樹・徳久雅人（鳥取大）・馬　　青（龍谷大）
E-016　Earth Mover's Distance を用いた同音異義語判別 ……◎河原直人・梅澤　猛・大澤範高（千葉大）
E-017　大規模格フレームを用いた概念ベースへの動詞属性の追加
……◎小泉政弥・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-018　概念ベースの二次属性を用いた直喩解析法 ……◎丸山礼文・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-019　概念の多義性を考慮した属性構造化による概念ベースの構築
……◎小川真路・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-020　顧客の声からの低頻度重要情報の抽出 ……○森本康嗣・内部こなぎ（日立）

［音楽情報処理（1）］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　酒向　慎司（名工大）
E-021　楽曲の特徴を考慮したコンピュータによるオーケストラ指揮の実現 ……◎笹川悠馬・萩原威志（新潟大）
E-022　譜めくり作業の負荷を軽減するための楽団向け電子譜面システムの提案 ……◎飯島安恵・今野　将（千葉工大）
E-023　ユーザの意図を反映した進化的自動作曲に関する研究 ……◎山本尚希・長尾智晴（横浜国大）
E-024　抽象絵画における鑑賞者の視線行動を利用した自動作曲に関する研究：
視線行動パターンから和声的な音楽の生成方法に関する基礎的検討
…… ◎小楠竜也・大谷　淳（早大）・棚沢　順（千葉商科大）
E-025　ユーザ評価と楽曲ゆらぎ特徴を用いた楽曲嗜好のハイブリッド推定 ……◎伊東孝浩・加藤昇平（名工大）
E-026　IT 技術を利用した箱庭療法に関する一考察……○堀川澄弘（所属なし）

［音楽情報処理（2）］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　森勢　将雅（山梨大）
RE-001　**【船井ベストペーパー賞受賞論文】**
奏者の意図したテンポ変動の推定に基づく演奏録音の自動伸縮修正法 ……◎小泉悠馬・伊藤克亘（法大）
E-027　低周波数分解能スペクトル群からの高周波数分解能スペクトルの合成による複数分解能 Gabor 変換の計算量削減
……◎高山亮輔・荒井秀一（東京都市大）
E-028　任意の言葉による楽曲検索のための楽曲特徴量の自動選択 ……◎頭川　愛・酒向慎司・北村　正（名工大）
E-029　習熟度に応じたバイオリン運指推定のための確率モデルとパラメータ学習
……◎長田若奈・酒向慎司・北村　正（名工大）
E-030　時間区間アノテーションの集約に基づく楽曲推薦システム …… ◎真野洋平（名大）・高田敏弘（名大 /NTT）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

［音声情報処理］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7E 会場（共通教育棟 D 棟 3F D31）　　座長　伊藤　彰則（東北大）
E-031　初等中等教育授業における教師発話の言語的特徴のモデル化のための学習データ選択方法の検討
……○南條浩輝・谷奥大喜（龍谷大）
E-032　Web 日本語 N グラムを用いた高頻度連鎖語表現の選定 ……○高橋伸弥・森元　逞（福岡大）
E-033　カテゴリ分類による音声認識誤り単語の補正手法の改良 …◎山崎史生・吉村枝里子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
E-034　漸次的な発話理解のための単語部分木を出力する音声認識システム
……○高橋伸弥・森元　逞・吉村賢治・乙武北斗（福岡大）
E-035　GPGPU による音声分析合成システム TANDEM-STRAIGHT の高速化……◎森勢将雅・小澤賢司（山梨大）
E-036　ヤンバルクイナの鳴き声検出精度向上のためのアルゴリズムの検討 …… ◎宇根健一郎・藏屋英介・神里志穂子・野口健太郎（沖縄高専）・金城道男・長嶺　隆（どうぶつたちの病院）・嘉手苅修（沖縄コカ・コーラボトリング）
E-037　音声から疲労程度を推定するスマートフォン用アプリケーションの開発
…… 青木由希・○宮島崇浩・菊池英明（早大）・塩見格一（電子航法研）

F 分野：人工知能・ゲーム（第 2 分冊）

［データマイニング］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　松原　繁夫（京大）
F-001　グラフマイニングに基づくアイテム推薦における負の評価値の利用法
…… ○松井　淳・山田一郎・藤井真人・苗村昌秀（NHK 放送技研）
F-002　潜在的ディリクレ配分法を用いたマイクロブログ分析 ……◎渡邊恵太・加藤昇平（名工大）
F-003　SVM 手法を用いた Twitter トレンドのトピック追跡……◎増田真也・石川　孝（日本工大）
F-004　データマイニングを用いた太陽光発電の発電電力予測 ……◎林　　敏・杉村　博・森　武昭（神奈川工科大）
F-005　Support Vector Machine によるジャイロセンサー搭載鉄道車両の路線分類
……◎川上礼次・J. Mackin Kenneth・永井保夫（東京情報大）・藤吉　誠（日立造船）
F-006　オントロジーを用いた行動目的の抽出に関する検討 …… ◎横山法子・船越　要・佐藤　隆・鷲崎誠司（NTT）
F-007　株価変動のランダムネスに基づく高収益株の選定 ……◎楊　　欣・三賀森悠太・田中美栄子（鳥取大）

［知識処理］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　八槇　博史（電機大）
F-008　グラフに基づく囲碁の静的評価写像系の提案とその検証実験
……◎佐藤真史（早大）・穴田浩一（早大高等学院）・堤　正義（早大）
F-009　従来の評価指標との比較によるセイバーメトリクスの有効性に関する考察 ……◎児玉陽平・森本祥一（専大）
F-010　物語文章における時系列推定の拡張 …… ○奥村紀之（香川高専）・瀧本洋喜（東工大）
F-011　行動パターンに基づく行動プランの生成 ……◎川上泰明・服部文夫・奥　健太（立命館大）
F-012　言語障害者のための会話エージェント ; - トピックリストを用いた会話 -
……◎石井智士・服部文夫・奥　健太（立命館大）
F-013　自律移動ロボットによる特定人物追跡処理 ……◎戸上千裕・長尾智晴（横浜国大）

［情報推薦］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　栗原　聡（電通大）
F-014　因子分析を用いた口コミ情報における有用性指標抽出 ……◎安井顕誠・高橋　渉・原田史子・島川博光（立命館大）
F-015　推薦システムにおける意外性向上のための潜在的嗜好の抽出 ……◎前田　優・白川真一・大原剛三（青学大）
F-016　アソシエーションルールを用いた推薦システムにおける評価履歴選択による精度向上に関する検討
……◎伊藤寛明・吉川大弘・古橋　武（名大）
F-017　価値観に基づく情報推薦のためのアイテムモデリング手法に関する検討 ……◎服部俊一・高間康史（首都大）
F-018　価値観に基づく情報推薦のためのレビュー閲覧履歴を用いたモデリング手法の検討
……◎清水涼人・服部俊一・高間康史（首都大）
F-019　価値観に基づくユーザモデルの協調フィルタリングへの導入に関する検討
……◎三澤遼理・服部俊一・高間康史（首都大）

［マルチエージェント］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　山本　泰生（山梨大）
F-020　分散資源配分問題における計算量削減を目的とした交渉型確率的解法 ……◎長谷川和平・能登正人（神奈川大）
F-021　（講演取消）
RF-001　ドライバー間の経路変更交渉を組み込んだ経路割当戦略の評価 ……◎高橋　淳・金森　亮・伊藤孝行（名工大）
F-022　（講演取消）
RF-002　連続変数の分散制約最適化問題のための解法 ……◎羽佐田智之・松井俊浩・松尾啓志（名工大）
RF-003　分散制約最適化問題の異なる非厳密解法の統合手法 ……◎谷藤拓麻・松井俊浩・松尾啓志（名工大）
RF-004　【FIT 論文賞受賞論文】
地域制約の元での戦略的操作不可能なマッチングメカニズム
……◎橋本直幸・上田　俊・岩崎　敦（九大）・安田洋祐（政策研究大学院大）・横尾　真（九大）

[シミュレーション]
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　菅原　俊治（早大）
F-023　ビジュアルブロックによる役割指向シナリオテンプレートエディタの設計と開発 ……◎栗原あずさ・佐々木晃（法大）
F-024　役割指向テンプレートジェネレータを用いたエージェントシミュレーション実験環境の構築手法
……◎女部田雅俊・佐々木晃（法大）
F-025　（講演取消）
F-026　マルチエージェントシミュレーションにおける異種モデル統合手法の提案 … ◎磯貝邦昭（名大）・八槇博史（電機大）
F-027　知的照明システムにおける照明光度の照度センサに対する影響度学習の高速化
……三木光則・◎町田啓悟・東　陽平・松谷和樹・間　博人（同志社大）
F-028　知的照明システムにおける照度収束までの最適化繰り返し回数の削減
……三木光範・◎松下昌平・吉田健太・間　博人（同志社大）

[ネットワーク情報処理]
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　服部　宏充（京大）
F-029　衝突を伴う確定的粒子群最適化法 ……◎丸山一紀・斎藤利通（法大）
F-030　動径基底 ART マップとサポートベクターマシンの協調 ……◎徳永章哲・斎藤利通（法大）
F-031　人間の振る舞いを表現可能な情報伝播モデルの構築
……◎上鍋秀幸・能登正人（神奈川大）・森住哲也（ネッツエスアイ東洋）・木下宏揚（神奈川大）
F-032　ノード選択確率を考慮した中心性指標の拡張 ……◎伏見卓恭・斉藤和巳・池田哲夫・武藤伸明（静岡県大）
F-033　スモールワールドモデルのソーシャルメディアにおける協調の進化
……◎平原悠喜（早大）・鳥海不二夫（東大）・菅原俊治（早大）
F-034　統計データの RDF 化のためのテンプレート ……◎浅野　優・岩山　真（日立）・武田英明（NII）・
小出誠二・加藤文彦（情報・システム研究機構）・小林巌生（Open Community Data Initiative）
F-035　LOD を用いた番組ネットワーク提示アプリケーションの試作…… ○有安香子・中川俊夫（NHK 放送技研）

[学習]
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7F 会場（共通教育棟 D 棟 3F D32）　　座長　藤田　桂英（農工大）
F-036　階層構造を持つ連想記憶モデルの構造発見へのデータ駆動型アプローチ
……◎若杉健介（東大）・桑谷　立（東北大）・永田賢二（東大）・麻生英樹（産総研）・岡田真人（東大）
F-037　動的環境におけるマクロオペレータと副報酬 ……◎武藤真司・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
F-038　自己組織化ニューラル木立における AdaBoost の有用性に関する研究 ……◎杉山享志朗・井上浩孝（呉高専）
RF-005　COLORSIFT とアンサンブル学習を用いた単品食事画像の識別
…… ◎梶原祐輔（立命館大）・中村宗広・木村春彦（金沢大）
F-039　属性ごとの予測能力に基づく属性ベース転移学習 ……◎鈴木雅大・佐藤晴彦・小山　聡・栗原正仁（北大）
F-040　文脈に応じて行動価値を分割する Q-learning ……◎武石真登・濱上知樹（横浜国大）
F-041　インクドロップスプレッド法における対象システムの逐次分割手法 ……◎尾崎新斗・内海　彰（電通大）

[ゲーム情報学]
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1G 会場（共通教育棟 D 棟 3F D33）　　座長　村松　正和（電通大）
F-042　ニューラルネットワークと artificial bee colony algorithm を用いたテトリスコントローラの開発
……◎竹内広樹・天野祐樹・荒川正幹（宇部高専）
F-043　熟練プレイヤーレベルを目指す弾幕シューティング AI の開発 ……◎楽谷拓哉・橋本　剛（松江高専）
F-044　コンピュータ将棋機械学習における高頻度な駒組み合わせ抽出法の研究 ……◎後藤嵩幸・橋本　剛（松江高専）
F-045　カタンの開拓者たちにおけるモンテカルロ木探索を用いた AI の改良 ……◎吉村拓哉・橋本　剛（松江高専）
F-046　RoboCup サッカー小型サイズロボットリーグにおける協調指向 AI フレームワークの構築
……◎土江智明・橋本　剛（松江高専）
F-047　コンピュータ将棋における直近の決定履歴を用いた合議アルゴリズム
……◎日高　信・布目　淳・平田博章・柴山　潔（京都工繊大）
F-048　「多数決」の数学的モデルによる解析と評価……○三浦　章（熊本県大）・坂井　公（筑波大）・金井　貴（熊本県大）

G 分野：生体情報科学（第 2 分冊）

[生体情報科学（1）]
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2G 会場（共通教育棟 D 棟 3F D33）　　座長　高橋　正信（芝浦工大）
G-001　明視野・暗視野・位相差の合成撮像法 …… ◎今井瑞穂・宮本啓太・高橋正信（芝浦工大）・中野雅行（大船中央病院）
G-002　覚醒下手術映像記録からの術中検査イベント自動検出法
…… ◎西村俊彦・長尾智晴（横浜国大）・村垣善浩・田村　学（東京女子医大）・南　伸二（SOLIZE）
G-003　肌状態の定量指標構築に向けた基礎的な検討 ……◎北島健蔵・彌冨　仁（法大）
G-004　細胞診断のための細胞核画像の輪郭複雑度による定量的評価法の検討 …… ◎大貫泰佳・小林直樹・
駒形英樹（埼玉医科大）・市村隆也・後藤義也・清水道生（埼玉医科大国際医療センター）
G-005　時間領域法を用いたヒト脳光学パラメータ推定法の検討 ……○谷藤忠敏・鈴木将弘（北見工大）
G-006　低時間分解能顔動画における瞬き特徴を用いたリアルタイム居眠り検出法の性能評価 …… ◎杉本大樹・内藤千裕・
高野博史（富山県大）・小島祐幸・河村弘之（現代自動車）・中村清実（富山県大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

[生体情報科学（2）]

9月4日（水）15:30～17:30　　3G会場（共通教育棟D棟3F D33）　　座長　阪田　治（山梨大）

G-007　動揺病の影響による生体生理信号の変化 ……◎加藤幸洋・榊原　瞳・石﨑千穂・河合敦夫・井須尚紀（三重大）

G-008　マルチチャンネルセンサを用いた透析シャント音による血管狭窄スクリーニング装置の要素開発
……○鈴木　裕・阪田　治・深澤瑞也・加藤初弘（山梨大）

G-009　（講演取消）

G-010　ベイジアンネットワークモデルを用いた胃癌関連遺伝子調節ネットワークの構築
……◎栁　祐貴（九工大）・知念佑奈（日立ソリューションズ）・石井寛之・山﨑敏正（九工大）

RG-001　配列情報に基づくタンパク質間相互作用予測の構造情報付加による高精度化
……◎中嶋悠介（石川高専 / 東工大）・大上雅史（東工大）・越野　亮（石川高専）

G-011　DPCデータを用いた情報提示システムの検討　- 在院日数の可視化 -
…… ◎仲濱正大・納富一宏（神奈川工科大）・斎藤恵一・外山比南子（国際医療福祉大）

[生体情報科学（3）]

9月5日（木）09:30～12:00　　4G会場（共通教育棟D棟3F D33）　　座長　古川　徹生（九工大）

G-012　自己組織化ニューラル木立を用いた追加学習に関する研究 ……◎梅本雄大・井上浩孝（呉高専）

G-013　離散PSOを用いた動的バイナリニューラルネットワークの学習法……◎長野呂夢・中野秀洋・宮内　新（東京都市大）

G-014　DVB強化学習を行うリカレントニューラルネットワークの構造獲得……◎齋藤成人・服部元信（山梨大）

G-015　スパースロジスティック回帰を用いた近赤外分光法による新生児脳活動記録データの解析 …… ◎北園　淳・
直井　望（JST）・柴田　実（京大）・渕野　裕（首都大）・萬田　暁（東大）・岡ノ谷一夫（JST/ 東大 / 理研）・
明和政子（JST/ 京大）・岡田真人（JST/ 東大 / 理研）

G-016　両耳聴ヘッドトルソにおける音の回折が両耳間時間差に及ぼす影響について ……○霜山竜一（日大）

G-017　ＶＤＴ症候群における予防アプリケーションの開発
……◎平間大貴（釧路公大）・岩崎武史（釧路孝仁会記念病院）・鴨澤健志・皆月昭則（釧路公大）

H 分野：画像認識・メディア理解（第 3 分冊）

［映像解析・光源・照明］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5G 会場（共通教育棟 D 棟 3F D33）　　座長　長原　一（九大）

H-001　水面の光反射特性を利用した昼光の分光分布推定 …… ○金子瑛士・青木啓文・塚田正人（NEC）
H-002　最頻共通特徴に着目した画像検索結果の洗練化手法 ……◎尾崎佑樹・長尾智晴（横浜国大）
H-003　視覚特徴分離に基づくカラー画像の霧除去 …… ◎戸田真人・先崎健太・塚田正人（NEC）
H-004　画像片リストに基づいたショットの統合によるシーン系列生成 … ○望月貴裕・佐野雅規・藤井真人（NHK 放送技研）
H-005　A Research on Automatic Picture Classification and Image Retrieval ……◎ Wafaa Eid・齊藤　剛（電機大）

［顔・ジェスチャ］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6G 会場（共通教育棟 D 棟 3F D33）　　座長　岩井　儀雄（鳥取大）

H-006　顔認証を目的としたステレオマッチングの高精度高速化 ……◎花泉　崇・鈴木輝彦・太原育夫（東理大）
H-007　Visual-based Human Gesture Recognition Using Multi-modal Features……◎羅　　丹・大谷　淳（早大）
H-008　Improving a Bayesian Network Based Recognition of Spontaneous Facial Expressions of a Person who Watches Web News - Utilizing Image Features for Blinks - ……◎許　　超・大谷　淳（早大）
H-009　顔の魅力の定量化への試み ……◎平田　智・彌冨　仁（法大）
H-010　複雑背景下における単眼カメラによるハンドジェスチャの認識 ……◎根本祐也・中島克人（電機大）
H-011　身体動作を用いた個人認証のための基本動作に含まれる個人性の解析 ……◎齋藤拓史・荒井秀一（東京都市大）
H-012　舌診における舌体検出と特徴抽出法の検討 ……◎田　　明・羅　　丹・大谷　淳（早大）

［人物検出・移動検知］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7G 会場（共通教育棟 D 棟 3F D33）　　座長　山口　修（東芝）

H-013　移動 Kinect 画像中からの移動物体の抽出と三次元形状のセグメンテーションに関する検討 － Probabilistic Boundary Edge Map と Supervoxel を組み合わせた手法の提案 －
…… 立松直倫・○大谷　淳（早大）・Davis Larry（University of Maryland）
H-014　深度情報の重ね合わせに基づく距離画像センサの移動軌跡推定 ……◎菅原勝也・阿部　亨・菅沼拓夫（東北大）
H-015　HOG を用いた識別器の構成方法と歩行者検出への応用
……◎後藤弘樹・井尻将太・大浦淳貴・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）
H-016　統計的形状モデリングによる頭上から撮影された距離画像中の歩行者検出 ……◎竹村和将・宮城茂幸（滋賀県大）
H-017　群衆パッチ学習に基づく人数推定 …… ○池田浩雄・大網亮磨（NEC）
H-018　視覚障がい者支援のための Kinect を用いた障害物検出の基礎的検討
……◎織田和典・滝沢穂高・青柳まゆみ（筑波大）・水野慎士（鳥羽商船高専）・江崎修央（愛知工大）
H-019　Fundamental Study of Particle Filter based Motorbike Tracking for a Violator Detection System
…… ◎ N. Khanh Do・大谷　淳（早大）

［AR・VR・応用］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　神原　誠之（奈良先端大）

H-020　フレーミングサポートシステムのための構図特徴を用いた写真の評価
……◎濱田隆平・堀磨伊也・吉村宏紀・岩井儀雄（鳥取大）
H-021　車載カメラ映像処理アルゴリズム評価の為の自由視点画像生成
……◎小甲啓隆・粂　秀行・佐藤智和（奈良先端大）・町田貴史（豊田中研）・横矢直和（奈良先端大）
H-022　プロジェクタとカメラを用いた“どこでもスイッチ”……◎野崎　陽・中島克人（電機大）
H-023　プロジェクタとカメラを用いた仮想タッチスクリーンの機能および精度向上 ……◎本間　昂・中島克人（電機大）
H-024　空中手書き文字認識における字形の崩れの補正に関する検討 ……◎大坪由香利・松木一穂・中井　満（富山県大）
H-025　タッチパネルを利用した AR における干渉入力インタフェースの一検討 : 表示距離に応じたオブジェクト操作領域の分割法の提案 :……◎阿久澤慧・西村広光（神奈川工科大）
H-026　snapper：ファッションスナップサイトを用いたコーディネート画像検索システムの提案と実装
……◎三浦慎也・相澤清晴（東大）

［文字認識・物体認識］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　岩村　雅一（大阪府大）

H-027　Geometric Phrase Pooling と大域特徴を利用した物体検出手法 …… ○河合吉彦・藤井真人（NHK）
H-028　フーリエスペクトルを用いた写真からの三次元形状類似検索 ……◎田代翔輝・青野雅樹（豊橋技科大）
H-029　Eigen Number を用いた低解像度ナンバープレート数字の識別
……○四宮康治（兵庫県警）・藤田和弘（龍谷大）・中森伸行（京都工繊大）
H-030　Foreground Detection Method for Depth Map Stabilization
…… ○メヒルダド バナヒブル テヘラニ・石川彰夫・河北真宏・井ノ上直己（NICT）・藤井俊彰（名大）
H-031　葉の表裏を利用した樹木の画像認識 ……◎岩田聡大・齊藤剛史（九工大）
H-032　古文書画像に対するワードスポッティングにおける適合判定基準の検討 ……◎高橋　渉・寺沢憲吾（はこだて未来大）

［動作解析・バイオメトリクス］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　槇原　靖（阪大）

H-033　ボタン押し動作時のシルエット外接矩形を用いた本人認証（その 2）……◎河野駿介・矢内浩文・岡本　翔（茨城大）
H-034　画像処理とベイジアンネットワークを用いた店舗内における顧客の全身像からの購買行動認識の基礎的検討
…… ◎ Jing Yan・堀　隆之・大谷　淳（早大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

H-035　位置・発話・会計データを用いた配膳待ち時間推定の試み ……◎野尻弘也・竹原正矩（岐阜大）・前山賢人（長岡技科大）・田村哲嗣（岐阜大）・蔵田武志（産総研）・速水　悟（岐阜大）
H-036　人工物と指輪郭を用いたキャンセラブルバイオメトリクスの研究 ……◎大熊一貴・西内信之（首都大）
H-037　動画像パターン認識に基づく歩行動作分析における撮影位置の変化の低減手法に関する研究
……◎柳澤孝文（筑波大）・野里博和（産総研）・坂無英徳（筑波大 / 産総研）
H-038　Fundamental Study of Recognizing the Surgeon's Action during Suture Surgery from the Video Sequence
…… ◎ Ye Li・Jun Ohya（Waseda University）・Toshio Chiba（National Center for Child Health and Development）・Rong Xu（Waseda University）・Hiromasa Yamashita（National Center for Child Health and Development）

［映像解析・セグメンテーション］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　大谷　淳（早大）
H-039　類似画像を用いたマンガの彩色 ……◎佐藤和博（東大）
H-040　空間相関有限混合モデルによる画像分割 ……◎長山　輔・末松伸朗・岩田一貴・林　　朗（広島市大）
H-041　シーンの曖昧性を考慮した画像認識のためのファジィクラスタリング ……○島崎　謙・長尾智晴（横浜国大）
H-042　ガウス過程事前分布を用いた空間相関混合モデルによる画像分割
……◎栗栖昂勢・林　　朗・末松伸朗・岩田一貴（広島市大）
H-043　（講演取消）
H-044　撮像素子の個体特徴に基づくハイブリッド撮影カメラ個体識別法と動画像改ざん検出への応用
……○黒沢健至・土屋兼一・秋葉教充（科学警察研）
H-045　（講演取消）

［画像計測］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　堀　磨伊也（鳥取大）
H-046　カメラ視野を限定した複数カメラにおける最適色選択方式の検討
……◎板垣泰弘・菅谷隆浩・田中　博・西村広光（神奈川工科大）
H-047　Study of Structure from Motion Based 3D Reconstruction and Surface Mosaic of Internal Organs from an Endoscopic Video Sequence.…… ◎ Mengyao Duan・Rong Xu・Jun Ohya（Waseda University）
H-048　イベント相関イメージングを用いた微粒子粒径測定
……◎荒井政彦（東洋大）・矢内正美（フジコミュニケーション）・青柳宜生・椿光太郎（東洋大）
H-049　方形を用いたカメラ内部パラメータ推定 ……◎堀野大治郎・光本浩士（大阪電通大）
H-050　粗間隔なカメラアレイで取得した Light Field を利用した合焦法による奥行き推定の一検討
……◎西部修明・荒井秀一（東京都市大）

［特徴抽出］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　　座長　望月　貴裕（NHK 放送技研）
H-051　特徴点マッチングを用いた距離検出における距離頻度分布に関する一考察
……○嶋　好博・大越庸司・木村裕二・三ツ木太朗・渡邊健斗・山本一貴（明星大）
H-052　講義映像における移動物体動線の自動検出 ……◎西野博貴・齊藤剛史（九工大）
H-053　SiC フィルタ中の PM 観測のための 3D-NCT 法の開発 …… ◎川上拓朗（熊本大）・松島宏典（久留米高専）・上瀧　剛・内村圭一（熊本大）・Harvel Glenn（University of Ontario Institute of Technology）・Chang Jen-Shih（McMaster University）
H-054　局所特徴量による同定処理結果を複数組み合わせた局所特徴点マッチング手法の提案
…… ◎潮平寛弥・赤嶺有平・遠藤聡志（琉球大）・根路銘もえ子（沖縄国際大）
H-055　（講演取消）
H-056　SIFT 特徴量の類似性を用いた繰返しパターン検出 ……◎藤原佳大・岡本拓也・近藤克哉（鳥取大）

I 分野：グラフィクス・画像（第 3 分冊）

［画像知覚］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　合志　清一（工学院大）
I-001　視線計測装置を用いた無意識な歩行中の視線挙動に関する研究
……◎多田真之（電機大）・井ノ上寛人（日本学術振興会）・川澄正史・鉄谷信二（電機大）
I-002　画面サイズに応じた字幕表示位置の最適化に関する研究
……◎中嶋崇大・中林紗也（電機大）・井ノ上寛人（日本学術振興会）・川澄正史・鉄谷信二（電機大）
I-003　注意の度合いとベクションの強さの感じ方に関する検討
……◎指野光紀（電機大）・井ノ上寛人（日本学術振興会）・鉄谷信二（電機大）
I-004　運動錯視の知覚に関する視覚特性に基づく基礎的検討
……◎新井　駿（電機大）・井ノ上寛人（日本学術振興会）・鉄谷信二（電機大）
I-005　音の抑揚と光量の変化を利用したスマートフォンにおける周辺映像コンテンツ推定
……◎斎藤松汰（電機大）・奥野淳也・瀬崎　薫（東大）・岩井将行（電機大）
I-006　エンタテイメントにおける正負感情を用いた２ボタンリアルタイム評価システムの提案
……◎出嶌創士・松下宗一郎（東京工科大）
I-007　計算統計を用いたオンラインゲームユーザのゲーム内行動解析 …… ○佐藤　哲（NHN）

［画像特徴・検出（1）］
9月4日（水）15:30～17:30　　3J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　三功　浩嗣（KDDI 研）

I-008　Road Crack Detection for Making Complex Road Surface Drivable Functions
…… ○ Chinthaka Premachandra（Tokyo University of Science）・H. Waruna H. Premachandra（Wayamba University of Sri Lanka）・Chandana Dinesh Parape（Kyoto University）
I-009　車載ステレオカメラによる動的背景差分の精度向上 ……◎笠原正樹・花泉　弘（法大）
I-010　文字を構成する線画の組合せの機械学習 ……◎草野周太・酒井智弥（長崎大）
RI-001　自己相関特徴とコヒーレンスに基づく推定手法を用いた転倒防止のための起床動作検出
……○井上　円・田口　亮・梅崎太造（名工大）
I-011　MPEG ビデオストリームからの移動物体に対する高速なエッジ検出 …◎丸山彰介・中野秀洋・宮内　新（東京都市大）
I-012　位置ずれを考慮した低解像度ナンバープレートの数字識別
……◎正木淳一郎・木田勇次（京都工繊大）・藤田和弘（龍谷大）・中森伸行（京都工繊大）

［画像特徴・検出（2）］
9月5日（木）09:30～12:00　　4J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　高村　誠之（NTT）

I-013　素材映像マネージメントシステム「素材バンク」の提案：素材映像を最大限に活用するために …… ○大久保英彦・サイモン クリピングデル・三ッ峰秀樹・佐野雅規・住吉英樹・武藤一利・望月貴裕・河合吉彦（NHK）・加藤大一郎（NHK エンジニアリングサービス）・藤井真人（NHK）
I-014　OPF 分類器を用いた内容に基づく画像検索における分類機の再利用 ……◎清水和美・服部元信（山梨大）
I-015　サッカー放送映像のダイジェスト化に向けたショット境界の検出法
……○田村　徹・大崎義貴・飛永由夏・森山　剛（東京工芸大）
I-016　疎なカメラ配置を前提としたオブジェクト抽出 ……◎三功浩嗣・内藤　整（KDDI 研）
I-017　3 次元カラーバーコードとその読み取り性能評価 …◎宮本直樹（島根大）・奥田真也（高園産業）・六井　淳（島根大）
I-018　赤外線パターン光投影三次元画像計測技術に基づく顔向き推定 ……◎辻野和広・許　　陳・盧　存偉（福岡工大）
I-019　位相シフトデジタルホログラフィを利用したワンショット三次元計測システムの開発に関する検討 …… ○キエツ ウ・田口　亮（名工大）・保黒政大（中部大）・堀米秀嘉（ホーリーマイン）・梅崎太造（名工大）

［HEVC］
9月5日（木）15:30～17:30　　5J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　藤井　俊彰（名大）

I-020　画面内内挿予測符号化における符号化効率改善に向けた一検討 …… ◎渡邊真由子・北原正樹・清水　淳（NTT）
RI-002　重み関数を用いた HEVC イントラ予測改良に関する検討…… ◎松尾翔平・高村誠之・清水　淳（NTT）
I-021　HEVC 多視点符号化を利用した RGB4:4:4 符号化 ……◎峯澤　彰・服部亮史・関口俊一・村上篤道（三菱）
I-022　HEVC 符号化方式における輝度 - 色差予測モードのメモリ削減手法 ……◎河村　圭・吉野知伸・内藤　整（KDDI 研）
I-023　低ビットレート HEVC 符号化のためのエントロピー制約付き並列量子化… ◎徳満健太・小林栄太・蝶野慶一（NEC）
I-024　HEVC における分散値を用いた CU サイズの高速決定手法 ……◎錦織大輝・中村友信・吉留　健・三柴　数（鳥取大）

［画像符号化］
9月6日（金）09:30～12:00　　6J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　坂東　幸浩（NTT-AT）

I-025　フレーム間引きとフレーム補間を用いた映像圧縮の性能改善 …◎河部洋輔・新免　凌・吉留　健・三柴　数（鳥取大）
I-026　画像サイズの縮小と拡大を組み合わせた映像圧縮 ……◎植山康平・土野裕馬・吉留　健・三柴　数（鳥取大）
I-027　画像サイズ変換と動きベクトルの再利用を用いた MPEG-2/H.264 トランスコード手法の検討
……◎土野裕馬・植山康平・吉留　健・三柴　数（鳥取大）
I-028　2 段型量子化マトリクスを用いた MPEG-2/H.264 イントラトランスコードにおけるレート制御
……◎新免　凌・河部洋輔・三柴　数・吉留　健（鳥取大）
I-029　3D 映像における動きベクトルを活用した動き探索回数の削減…◎中村友信・錦織大輝・吉留　健・三柴　数（鳥取大）
I-030　画像特徴に基づく複数基底セットを用いた画像符号化方式
…… ◎王　　冀・八島由幸（千葉工大）・高木基宏・藤井　寛・清水　淳（NTT）
I-031　スケーラブルテンプレートマッチングを用いた画面内予測効率の改善 ……◎姜　　夏・八島由幸（千葉工大）

［画像復元・超解像］
9月6日（金）13:00～16:00　　7J 会場（共通教育棟 D 棟 4F D41）　　座長　内藤　整（KDDI 研）

I-032　重みの対称性と空間分解による適応的バイラテラルフィルタの高速化の検討
…… ◎真喜志泰希・山田親稔（沖縄高専）・市川周一（豊橋技科大）
I-033　事例参照型超解像における幾何学模様の学習
……◎土川健斗・菅原佑貴・泉　直孝・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）
I-034　超解像と誤差帰還を用いた電子ズームの構成方法 …◎菅原佑貴・土川健斗・黒木修隆・廣瀬哲也・沼　昌宏（神戸大）
I-035　劣化 JPEG 画像の劣化パラメータ推定
……○門野浩二（滋賀県警 / 京都工繊大）・藤田和弘（龍谷大）・中森伸行（京都工繊大）
I-036　縮小画像を用いたポアソン画像合成の高速化 ……◎長友陽介・八島由幸（千葉工大）
I-037　近赤外情報を利用した低照度環境におけるカラー映像の画質改善 ……◎三上拓也・浜本隆之（東理大）
RI-003　プロジェクタの幾何補正システムの開発
……◎今井倫太郎・加藤　嗣・田口　亮（名工大）・保黒政大（中部大）・梅崎太造（名工大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

［イラストと CG］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　　座長　塚本　昌彦（神戸大）
I-038　アニメキャラクタの模写を支援するシステムの提案 ……◎山田太雅・棟方　渚・小野哲雄（北大）
I-039　iGA を用いた手描きイラスト補正システムの改良
……◎金澤明典（鳴門教育大）・皆月昭則（釧路公大）・林　秀彦（鳴門教育大）
I-040　エネルギーモデルに基づくイラスト向け樹木描画システム ……◎眞間　梓（電機大）
I-041　レゴブロックを用いた影のトリックアート構築システムに関する研究 ……◎生田寛和・高井昌彰（北大）
I-042　奥行知覚特性を考慮した風景の構造モデルの一検討 ……◎薄　幸治・藤村　誠（長崎大）
I-043　陶磁器の 3 次元高精細テクスチャマッピングの一検討 ……○藤村　誠・吉野　祥（長崎大）
I-044　最近傍フォトン数の削減によるフォトンマッピング法高速化の一検討 ……◎東　誠人・藤村　誠（長崎大）

［AVM・画像表現］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　　座長　亀山　渉（早大）
I-045　PCA による無相関化と回転を用いたディジタル画像の色合い変換…… 藤田和弘（龍谷大）・
○桶谷新也（京都府中小企業技術センター）・篁　直樹（龍谷大）・中森伸行（京都工繊大）
I-046　ニューラルネットを利用する似顔絵自動生成に関する基礎的検討 :ASM により検出される顔特徴と生成された
似顔絵の品質との関係の検討 ……◎方　国勇・榎本　誠・大谷　淳（早大）
I-047　重心ボロノイ領域のスケーリングによるモザイク風画像の生成 ……○井上光平・原　健二・浦浜喜一（九大）
I-048　頂点彩色アルゴリズムを用いた 2 色覚者のための色変換 ……◎田中　豪（名古屋市大）
I-049　OKI MediaServer におけるマルチデバイス向け映像配信 ……○任　哲弘（OKI）
I-050　次世代放送システムにおける MMT の運用方法の検討 …… ○青木秀一・大槻一博・浜田浩行（NHK）
I-051　漸増刺激法による EV/HEV 車サイン音の音像定位評価の安定性 ……◎竹内大貴・金子　格（東京工芸大）

J 分野：ヒューマンコミュニケーション＆インタラクション（第 3 分冊）

［人の実在性・存在感］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　　座長　福住　伸一（NEC）
RJ-001　インターネットライブ配信における聴衆の存在感伝達のための実験的検討
…… ◎鈴木　慶・伊瀬一貴・清水忠昭・吉村宏紀（鳥取大）・松村寿枝（奈良高専）
J-001　音声駆動型身体的引き込み観客キャラクタに対話相手顔画像を合成した実映像対話システムの開発
……◎中山志穂・渡辺富夫・石井　裕（岡山県大）
RJ-002　意図的な表情表出に及ぼす心理的ストレス要因の分析
…… ○佐藤和人・大津宏亮・間所洋和（秋田県大）・門脇さくら（スマートデザイン）
RJ-003　ユーザの移動と周囲の音に着目した通話是非推定モデルの設計 ……◎氏原祥吾・小俣昌樹（山梨大）
J-002　CMC 上の対話における人の実在性判断に関する一考察 ……◎佐藤　翼・中平勝子・岡本満喜子（長岡技科大）
J-003　アクティブ・アピアランス・モデルを用いた口唇運動駆動型身体的引き込みキャラクタシステムの開発
…… ○中村一暁・渡辺富夫（岡山県大）・神代　充（富山大）

［人の状態観察・推定（1）］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　　座長　石井　裕（岡山県大）
J-004　映像への興味の主観的評価と視聴中の生体信号との関係 ……◎田邉将悟・小俣昌樹（山梨大）
RJ-004　**【船井ベストペーパー賞受賞論文】**
回転運動する聴覚刺激が回転ベクション感覚に及ぼす影響
……○崔　正烈・柳生寛幸・坂本修一（東北大）・岩谷幸雄（東北学院大）・鈴木陽一（東北大）
RJ-005　フレーム分割法を用いた瞬目計測の有効性に関する一検討
……◎松野省吾・大山　実（電機大）・阿部清彦・佐藤寛修（関東学院大）・大井尚一（電機大）
J-005　前頭前野の脳活動を用いた Brain-computer interface の開発のための判別手法の検討
……◎三野哲志・参沢匡将・広林茂樹（富山大）
J-006　Comparison of In-Vehicle Navigation Guidance by Fixed-Spot, Voice and Gazing-Point
…… ◎ Mohammad Abdullah A Almogbel・Pao Sriprasertsuk・菅沼　睦・亀山　渉（早大）
J-007　監視サービスの管制員に対する情報提示の影響評価
……○魚住光成・山田耕一・村井秀聡（三菱）・淺間　一（東大）・高草木薫（旭川医大）

［人の状態観察・推定（2）］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　　座長　渡辺　昌洋（NTT）
RJ-006　人間乱数による個人識別の可能性 ……◎田中侑希・田中美栄子（鳥取大）
J-008　情報取得の過程を考慮した Web サイト上におけるオブジェクト選択の観察
……◎細井亮司・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-009　発表者のための発表鋳型空間の視覚化による選定支援 ……◎伊勢蕉子・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-010　実店舗購買行動パターン化のための簡易行動記録デバイスの開発 ……◎若井拓哉・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-011　学生生活満足感向上支援のための DRM による行動調査 ……◎坂井和貴・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-012　（講演取消）
RJ-007　A Computer-Mediated Discourse Analysis of User Commenting Behavior on an Online Music Distribution Site
…… ◎石先広海（KDDI 研）・Susan C. Herring（Indiana University）・
服部　元・小野智弘・滝嶋康弘（KDDI 研）

[新しいコミュニケーション]
9月5日（木）15:30～17:30　5K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　座長　田中　貴紘（農工大）
J-013　モチベーティブ・コミュニケーションモデルにおける動機からのユーザタイプ推定
……◎白岩　史・片平建史（関西学院大）・饗庭絵里子（関西学院大 / 産総研 / 日本学術振興会）・飛谷謙介・長田典子（関西学院大）・藤巻志保・吉田　功・小村規夫（本田技研）
J-014　交渉学（アドバンストコミュニケーション）のカリキュラム開発および教育モデルの提案
……○田上正範・山本敏幸（関西大）
J-015　（講演取消）
J-016　制約とコミュニケーションによるアイデア精緻化メソッド：アクション・プランニング
……◎早矢仕晃章・大澤幸生（東大）
J-017　コミュニケーション記述を目指したトリオン出現パタンの計測 ……◎五十嵐涼・北島宗雄・中平勝子（長岡技科大）

[ヒューマン情報処理の基礎]
9月6日（金）09:30～12:00　6K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　座長　望月　理香（NTT）
J-018　聴覚課題を用いた認知過程と閉眼時眼瞼運動の関係の分析 ……○田邊喜一（松江高専）
J-019　NIRS を用いた前頭前野における価格予測モデルの精度検証
……◎光田友里恵・参沢匡将（富山大）・下川哲矢（東理大）・広林茂樹（富山大）
J-020　映像表示と香り放出の場所の違いが臨場感に及ぼす影響 ……◎田中真奈・渡辺早貴・飯森可奈子・伴野　明（東海大）
J-021　ライトフィールドカメラを導入した焦点調節模擬システムの設計 …… ○梅田修一・比留間伸行（NHK）
J-022　ウェーブレット係数の重心値の差分推移に基づく黙声両唇音の特徴分析
……◎金井田早紀・永井秀利・中村貞吾（九工大）
J-023　コミック読書時におけるページ滞留時間と瞬目を利用した興味度推定に関する基礎的検討
…… ◎松井　健・菅沼　睦・パオ スィープラスートスック・亀山　渉（早大）
J-024　脳波による味の好き嫌い判別に関する基礎的検討
…… ◎台　　彬・パオ スィープラサスック・菅沼　睦・亀山　渉（早大）

[人の状態推定とその応用]
9月6日（金）13:00～16:00　7K 会場（共通教育棟 D 棟 4F D42）　座長　水科　晴樹（NICT）
J-025　メガネ装着型瞬き検出装置を用いた重度障碍者向けの目入力型意思伝達システムの開発
……◎加藤秀太・高野博史・中村清実（富山県大）
J-026　視覚刺激時の瞳孔径変動を用いた注意推定 ……◎河合修平・高野博史・中村清実（富山県大）
J-027　主成分分析を用いた脳波感情判断システムの構築 ……◎森　智洋・芋野美紗子・土屋誠司・渡部広一（同志社大）
J-028　表情強度と単純ベイズ推定を融合した顔表情認識 … ○奥田　誠（NHK/ 東大）・藤井真人（NHK）・佐藤洋一（東大）
J-029　3 軸加速度センサを用いた歩行状態識別に有効な特徴量に関する一検討 ……◎伊吹真俊・宮城茂幸（滋賀県大）
J-030　モバイル端末への組み込みを想定した障害物接近情報呈示システム - 振動情報の付加 -
……◎小島菜津美・大西祐哉・大矢哲也・小山裕徳・鉄谷信二・川澄正史（電機大）
J-031　モーションセンサを用いた単調作業における特徴部位の推定
……◎岡村　瞬・梶原祐輔・原田史子・島川博光（立命館大）
J-032　Grouping Smartphone Users based on Wi-Fi Signal Strengths
…… ◎ Jose P. Alvarez・Teemu Leppanen（東大）・岩井将行（電機大）・小林博樹・瀬崎　薫（東大）

[情報伝達・コミュニケーション]
9月4日（水）09:30～12:00　1L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　倉本　到（京都工繊大）
J-033　感覚情報の技能伝承への有効性に関する基礎的研究 ……◎中村健太・山中仁寛（首都大）
J-034　エルフォイドのためのアニメーション効果の付加による感情伝達
……◎鶴田　悠・堀磨伊也・吉村宏紀・岩井儀雄（鳥取大）
J-035　カーナビゲーションでの情報支援方法の検討に関する基礎的研究 ……◎中村悠太郎・山中仁寛（首都大）
J-036　（講演取消）
J-037　多対多の状況における遠隔相談システムの提案 ……◎渡部健太・渡辺貴文・矢島敬士・黒沢　学（電機大）
RJ-008　多言語ゲーミングの会話タグ付けによる文脈プロトコル分析 ……◎野瀬泰史・菱山玲子（早大）
J-038　日本語学習初学者を対象としたやさしい日本語文と機械翻訳文の理解のしやすさ
…… ○吉野　孝（和歌山大）・宮部真衣（京大）

[UI・HI の基礎（1）]
9月4日（水）13:00～15:00　2L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　伊藤　昌毅（鳥取大）
J-039　手書きインタフェースにおけるテキスト抽出の一手法 …… ○岩根典之（広島市大）・吉田　誠（岡山理大）
J-040　空中手書き文字入力インタフェースのための非筆記動作の除去 ……◎吉田大樹・中井　満（富山県大）
J-041　カプセル型実物体アイコンを用いたコンピュータ操作手法 ……◎塚田裕太・田中二郎（筑波大）
J-042　ベゼルを考慮したタイルドディスプレイの情報表示に関する一検討
……○市原俊介・山口徳郎・福島寛之・立澤　茂（OKI）
J-043　デバイス選択における選好状態遷移の視覚化 ……◎入川壮太・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
J-044　情報探索における電子書籍と紙書籍の比較評価 ……◎塙　拓朗・西内信之・橋爪絢子（首都大）

[UI・HI の基礎（2）]
9月4日（水）15:30～17:30　3L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　棟方　渚（北大）
J-045　色とサイズの誘目度が視覚探索時の知覚負荷に与える影響について
…… ○岡城純孝（NEC）・岡田英彦（京産大）・谷川由紀子・福住伸一（NEC）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

J-046　携帯端末における Web ニュース閲覧ジェスチャによる検索対象語の推薦
……◎伊藤翔平・吉田拓也・原田史子・島川博光（立命館大）
J-047　ペーパープロトタイピングにおける操作性に関する研究 ……◎鴨志田大地・西内信之（首都大）
J-048　ソフトウェア品質におけるユーザビリティ …… ○福住伸一・谷川由紀子（NEC）
J-049　頭痛時間データと感度情報を用いた服薬タイミング予見導出アプリケーションの一考察
……○皆月昭則（釧路公大）・小椋宇謙（アイエックス・ナレッジ）・岩崎武史（釧路孝仁会記念病院）
J-050　NUI を用いた効果的なプレゼンテーションに関する研究 ……◎橋本大輔・安藤敏彦（仙台高専）

［デバイス・ロボットへの応用］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　4L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　加藤　昇平（名工大）
J-051　メガネ型端末を用いたハンズフリービデオフォンの開発 …… ◎木村真治・堀越　力（NTT ドコモ）
J-052　タブレットの背面カメラを用いた紙芝居システムの開発 ……◎石田隼基・高井昌彰（北大）
J-053　教師なしニューラルネットワークによるドライバの頭部姿勢分類
……◎伊藤桃代（徳島大）・佐藤和人（秋田県大）・福見　稔（徳島大）
J-054　ロボット発話の話速・無音区間長の制御によるパーソナリティ認知と対話継続欲求の向上
……竹矢有輝・◎小川義人・菊池英明（早大）
J-055　移動ロボットの経路探索の高速化のためのマップリンク法 …… ◎藤本敬介・守屋俊夫（日立）・中山泰一（電通大）
J-056　環境情報構造化を用いた人間共生ロボット“EMIEW2”の物体探索
……○平松義崇・永吉洋登・影広達彦・渡邉裕樹・松原大輔・廣池　敦（日立）

K 分野：教育工学・福祉工学・マルチメディア応用（第 3 分冊）

［マルチメディア・仮想環境基礎］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　7H 会場（共通教育棟 E 棟 3F E32）　座長　今井　順一（千葉工大）
K-001　複数の IR センサを用いた人物位置追跡システムに関する研究
……◎末澤佑規・吉村宏紀（鳥取大）・松村寿枝（奈良高専）・清水忠昭（鳥取大）
K-002　Kinect と HMD による VR ユーザ・インタフェイスの試み
……◎栃尾篤志・山下竜太・吉村宏紀（鳥取大）・松村寿枝（奈良高専）・清水忠昭（鳥取大）
K-003　（講演取消）
K-004　自由視点映像閲覧に適した全身身体動作の検討 ……山桐靖史・北原　格・○亀田能成・大田友一（筑波大）
K-005　インタラクティブ・パノラマ映像配信の視聴支援の検討
…… ○武田利明・越智大介・草地良規・木全英明・小島　明（NTT）
K-006　対面同席感のある遠隔コミュニケーションシステム ……◎鹿山晃弘・田中二郎（筑波大）
K-007　衣服コーディネート追体験システムの提案と実装 …… ◎脇島一樹（東大）・
久保友香（東京工科大）・松岡　武（ZEROZEROESUESU INC.）・相澤清晴（東大）
K-008　Application of Advance Constrained Simplex Method to a e-SYSTEM Network Design ……○佐藤朋信（日立）

［教育工学（2）］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　5L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　島川　博光（立命館大）
RK-001　グローバルフックを用いたプログラミング過程可視化システム ……○森田直樹（東海大）
RK-002　KGPortal: 大学教務システム利用に向けたスマートフォンアプリケーション
……◎芝辻裕太（関西学院大 /SibaService）・渡辺翔太（慶大）・片寄晴弘（関西学院大）
K-009　聴覚情報を併用した読譜視線分析によるピアノ演奏技能獲得過程 ……◎藤間　渉・中平勝子（長岡技科大）
K-010　現場労働者の動機づけ向上を目的とした顕在 / 潜在的知能観測定手法の検討
……◎室伏輝昌・中平勝子・岡本満喜子（長岡技科大）
K-011　多言語に対応した外国語 e ラーニング教材のためのシステム群 …… ○小島一秀（阪大）・岩成英一（スキューズ）・
村山健二（阪大）・並川青慈（NOPWORKS）・並川嘉文・高橋　明（阪大）
K-012　縦断的ビッグデータによる行動予測の本質的問題の解決；時間次元の要因を統制するスケジューリング原理の
教育活用 ……○寺澤孝文（岡山大）・吉田哲也（常葉大）・太田信夫（東京福祉大）

［教育工学（4）］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　7L 会場（共通教育棟 D 棟 4F D43）　座長　小西　達裕（静岡大）
K-013　（講演取消）
K-014　情報系大学生の情報セキュリティ理解度に関する一考察 ……◎古野和貴・長屋隆洋・川村　保・河村　圭（山口大）
K-015　非線形発振回路の数値解析と SPICE による simulation
……○望月孔二・若林周汰・川上　誠・大庭勝久・青木悠祐・宮内太積・舟田敏雄（沼津高専）
K-016　補助デバイスを併用した GUI 環境向けキーボードショートカット学習システムの検討
……○牛田啓太・柴崎貴正（群馬高専）
K-017　モデルベースなシステムズエンジニアリングを学習・実践するためのツール開発と超小型衛星の上流設計への適用
…… ◎三浦政司（鳥取大）・南部陽介（大阪府大）・吉澤良典（東大）・
萩原利士成（サイボウズ）・木村俊介（JibeMobile）
K-018　意味的構造を用いたプレゼンテーション作成指導支援環境の構築 ……◎森中翔太郎・多田好克（電通大）
K-019　高校レベルの数式のみによる音楽合成を行う体験学習に対する高校生と大学生の反応の比較
……○金子　格（東京工芸大）
K-020　リクエスト型映像コンテンツによるゲームマッチングの実践研究 ……○鳥居鉱太郎（中大）

[高機能マルチメディア（1）]
9月4日（水）09:30～12:00　　1M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　栗林　稔（神戸大）

K-021　乗法的パッチワーク法に基づく音楽電子透かしにおける埋め込み領域の拡張
……◎村田晴美（中京大）・荻原昭夫（近畿大）
K-022　ソーラス符号を用いた電子透かしの提案 ……◎平田展裕・川村正樹（山口大）
K-023　互換領域を有する多色多領域方式の高密度二次元コード
……○寺浦信之（テララコード研/九大）・櫻井幸一（九大）

[サイバーワールド]
9月4日（水）13:00～15:00　　2M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　井原　雅行（NTT）

K-024　質点シミュレーションを利用した打ち上げ花火作成支援システム ……○林　亮子・山崎貴之・長谷川俊（金沢工大）
K-025　骨格トラッキングを用いた作業療法士のための関節可動域計測システムの開発
……◎坂井　希（豊田高専）・川北あすみ（東名古屋病院）・神谷直希（豊田高専）
K-026　多機能コンセントを用いた中規模センサネットワークの構築に関する研究
……◎岡本拓也・岩崎　俊・笹間俊彦・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
RK-003　多機能コンセントを用いた部屋様態の分類のためのセンサデータ分析
……◎岩崎　俊・笹間俊彦・岡本拓也・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
K-027　（講演取消）
K-028　生産手段のデジタル化と生産消費者に関する定量分析 ……○加藤綾子（東大）

[高機能マルチメディア（2）]
9月4日（水）15:30～17:30　　3M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　新見　道治（九工大）

K-029　ペンライトによるライブコンサートアノテーションシステム ……◎日高一馬・小川克彦（慶大）
K-030　ユーザの嗜好を考慮した商品画像の生成に関する一考察 ……◎金子真之・梶山朋子・大内紀知（青学大）
K-031　読者の印象を反映させた書籍表紙画像生成のための一考察 ……◎蒔野充裕・梶山朋子・大内知紀（青学大）
K-032　記憶の探索を向上させる英単語学習アプリケーションの検討 ……◎山室綾乃・梶山朋子・大内知紀（青学大）
RK-004　カメラの写りこみによるプライバシー侵害への対策：- 光反射・吸収特性を用いたプライバシーバイザーの提案
-……○山田隆行（NII）・合志清一（工学院大）・越前　功（NII）

[教育工学（1）]
9月5日（木）09:30～12:00　　4M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　中平　勝子（長岡技科大）

K-033　日本語テンプレートの展開・再構成が可能な初心者向けプログラミング環境 ……◎大川哲史・永松礼夫（神奈川大）
K-034　ゲーミフィケーション技術を用いた就職活動事前学習システムの開発
……○中桐斉之・中井穂高・内平隆之・米山寛二（兵庫県大）
RK-005　複数同時操作対応のIR手描きボードシステムの開発……○土江田織枝（釧路高専）・
斎藤真弥（I・TECソリューションズ）・林　裕樹（釧路高専）・宮尾秀俊（信州大）
K-035　問題文並び替えとそれを反映したコード作成による学習者能力の判定 …◎板戸陽子・原田史子・島川博光（立命館大）
K-036　ソースコードを段階的に発展させる課題における学習状況の顕在化 ……◎西本　航（立命館大）・
小山昂紘（三菱電機コントロールソフトウェア）・原田史子・島川博光（立命館大）
K-037　動機づけの観点より学生をクラスタリングするための重要因子抽出 ……◎高橋　渉・島川博光・原田史子（立命館大）
K-038　デザインパターンの設計意図理解のためのプログラム拡張問題学習環境の構築
……◎大江洋希・小尻智子（関西大）・瀬田和久（大阪府大）

[教育工学（3）]
9月5日（木）15:30～17:30　　5M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　小尻　智子（関西大）

RK-006　組込みシステム遠隔検証のための動作特性データ収集システムの開発
……◎赤井建太（仙台高専）・千葉俊光（東京エレクトロン宮城）・千葉慎二（仙台高専）
RK-007　教育用途向けポータブルデジタルホログラフィック顕微鏡の開発
……◎渡邉脩介・白木　厚（木更津高専）・角江　崇・下馬場朋禄・伊藤智義（千葉大）
K-039　ITベンダーにおけるプロジェクトマネージャ育成の試み……○河村智行（慶大/電通国際情報サービス）・
高野研一（慶大）・石若　仁・石沢健人（電通国際情報サービス）
K-040　「水族館学習支援システム“Glass Viewer”」の開発と実証実験 ……○星野浩司（九産大）・金　大雄（九大）
K-041　栽培支援システムを題材とした組込み技術教材の開発 ……○荻窪光慈（埼玉大）
K-042　外国人の初級日本語学習時における単語の読み仮名誤りのDPマッチングによる訂正
……◎細田裕樹・谷之口優人・杉野勝也・絹川博之（電機大）

[福祉情報工学（2）]
9月6日（金）09:30～12:00　　6M会場（共通教育棟E棟4F E41）　　座長　縄手　雅彦（島根大）

K-043　視覚に障害をもつ医療系学生のためのeラーニング
……○岡本　健・坂尻正次・三宅輝久・石塚和重・野口栄太郎・大越教夫（筑波技術大）
K-044　仮想的な触力覚を利用した視覚障がい支援の提案 ……○巽　久行（筑波技術大）・村井保之（日本薬科大）・
関田　巌（筑波技術大）・徳増眞司（神奈川工科大）・宮川正弘（筑波技術大）
K-045　触地図とオンライン地図との情報共有化手法 ……○巽　久行（筑波技術大）・村井保之（日本薬科大）・
徳増眞司（神奈川工科大）・宮川正弘（筑波技術大）
K-046　弱視支援を組み入れたヘッドマウントディスプレイの設計 ……○村井保之（日本薬科大）・巽　久行（筑波技術大）・
Robinson Thamburaj（Madras Christian College）・徳増眞司（神奈川工科大）・宮川正弘（筑波技術大）
K-047　スマートフォンを用いた視覚障がい者向け衣服の色情報提示システム
……◎新村　翼・大西祐哉・大矢哲也・小山裕徳・川澄正史（電機大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013年12月31日時点で32歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT査読付き論文の採択論文です。

K-048　触覚フィードバックタッチパネルにおける人間の触知覚に関する基礎研究
……○大西淳児・坂尻正次（筑波技術大）・三浦貴大（東大 / 産総研）・小野　束（筑波技術大）
K-049　インターネット上に湧出する文章の特徴とそのチューリングテストのバリアフリー化への利用
……○山口通智（筑波技術大 / 産総研）・中田　亨（産総研）・岡本　健（筑波技術大）

［福祉情報工学（3）］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7M 会場（共通教育棟 E 棟 4F E41）　　座長　酒向　慎司（名工大）
K-050　センサを用いた歩行器使用時の歩行動作の評価 ……◎黒藪寛至・岡本　覚（島根大）
K-051　Web カメラを用いた上肢障がい者向け図形描画インターフェースの提案 …… ◎長谷川雄太・重田和弘（香川高専）・大野香織・篠原智代（かがわリハビリテーション福祉センター）
K-052　多機能筋電義手の利用者による対応動作選定を支援するための一手法 …… ◎阿比留卓也・佐藤弘明・永井秀利・江島俊朗（九工大）・木村伸行（アクティブステイツ）・木原由光（ロボフューチャー）
K-053　非利き手のための書字訓練法の検討 ……◎大保景子・大西祐哉・大矢哲也・川澄正史・小山裕徳（電機大）
K-054　口文字盤の読み取り支援手法の提案 ……○伊藤史人（一橋大）
K-055　オプティカルフローの方向特徴履歴とサポートベクトルマシンを用いた読唇の基礎的検討
……◎高橋昌平・大谷　淳（早大）
K-056　要約筆記品質向上支援システム ……○高尾哲康（富山国際大）
K-057　聴覚障害者・児の対面コミュニケーションと社会関係：「状況定義」を活かした支援技術とノウハウ
……○柴田邦臣（大妻女子大）

［福祉情報工学（1）］
9 月 4 日（水）09:30: ～ 12:00　　1N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　和田　親宗（九工大）
K-058　独居高齢者見守りシステムに用いる行動モデルの提案 ……◎岩澤雄太・川澄正史・小山裕徳（電機大）
K-059　NIRS によるフットケアがもたらす効果の分析 …… ○江藤　香（日本工大）・吉田廣子（ロイヤル訪問看護ステーション）・伊藤きよみ（東本町訪問看護ステーション）・荻原美知恵（自由が丘訪問看護ステーション）・山崎敦子（芝浦工大）・椋田　實・樺澤康夫（日本工大）
K-060　生活意欲の低下を検知するための行動実施の丁寧さの測定 …◎川端宝司・西本　航・梶原祐輔・島川博光（立命館大）
K-061　高齢者見守りシステムによる認知症早期発見を目指した実証実験の開始報告 (1)
～実証実験の全体概要及び情報システムを利用した高齢者見守り～
……◎櫻井　優・坂本泰伸・松澤　茂・武田敦志・松本章代・柏葉俊輔（東北学院大）
K-062　高齢者見守りシステムによる認知症早期発見を目指した実証実験の開始報告 (2)
～高齢者見守りシステムの設計と開発～
……◎柏葉俊輔・坂本泰伸・松澤　茂・武田敦志・松本章代・櫻井　優（東北学院大）
K-063　Android を用いた失語症者向け料理名思い出し支援ツール
…… ◎有馬志保・黒岩眞吾・堀内靖雄（千葉大）・古川大輔（君津中央病院）
K-064　発話支援のための予測変換を用いた文字入力方法の検討
…… ◎濱井裕也・水町光徳・中藤良久（九工大）・松井謙二（大阪工大）

L 分野：ネットワーク・セキュリティ（第 4 分冊）

［マルウェア・不正アクセス対策］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　高橋　健一（鳥取大）

L-001　ライブラリの置き換えによる VM 外部への安全なログ転送方式における応用プログラムを用いた性能評価
……◎佐藤将也・山内利宏（岡山大）
L-002　主成分分析を用いた分類器による SQL インジェクション攻撃の自動検出法
…… ○園田道夫（中大）・松田　健（静岡理工科大）・小泉大城（サイバー大）・趙　晋輝（中大）
RL-001　カーネルスタックの比較によるカーネルレベルルートキット検知システム ……◎池上祐太・山内利宏（岡山大）
L-003　マルウェアの類似度に基づく機能推定 …　◎大久保諒・森井昌克（神戸大）・伊沢亮一・井上大介・中尾康二（NICT）
L-004　ハニーポットを設置したダークネットのアクセス特性
…… ○曽根直人（鳴門教育大）・横田凌一・大久保諒・森井昌克（神戸大）
L-005　マルウェアの発生時系列分布特性 ……　◎柏井祐樹・森井昌克（神戸大）・井上大介・中尾康二（NICT）

［分散システム基礎］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　山口　実靖（工学院大）

L-006　組込みシステムを用いた分散型ネットワークセキュリティシステムの研究 ……◎工藤駿介・松田勝敬（東北工大）
L-007　Network Traffic Measurement: a closer look
…… ○角田　裕（東北工大）・Glenn M. Keeni（サイバー・ソリューションズ）
L-008　カオス通信系における標本化・量子化の影響 ……○清水能理（八戸工大）
L-009　エージェント間の部分的な協調関係に着目したモバイルエージェントシステムのデバッグ手法の提案
……◎太田垣真也・尾崎　槙・東野正幸・高橋健一・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
L-010　モバイルエージェントシステムのためのリモートデバッガの検討
……◎尾崎　槙・太田垣真也・東野正幸・高橋健一・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
L-011　アンチデバッグ機能に着目したマルウェア検出手法 ……◎吉崎広太・山内利宏（岡山大）

［情報漏洩対策・個人情報保護］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　朴　美娘（神奈川工科大）

L-012　ネットワークへの情報拡散追跡のためのデータ取得 ……◎前田明彦・高橋健一・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
L-013　Privacy Policy Manager (PPM) の開発 ……◎中村　徹・清本晋作・渡辺　龍・三宅　優（KDDI 研）
L-014　誤差を含む属性値のための柔軟な匿名データ収集 ……◎清　雄一・大須賀昭彦（電通大）
L-015　Android における脅威分析に基づく動的なユーザ承認による資産保護システムの提案
……◎加藤　真・松浦佐江子（芝浦工大）
L-016　個人情報保護を目指したプログラム変換方法の検討 ……◎工藤邦晃・高橋健一・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
L-017　BYOD(Bring Your Own Device) に対応した、個人情報保護方式に関する検討
……○城ヶ崎寛（タタコンサルタンシーサービシズジャパン / はこだて未来大）

［認証］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　福田　洋治（愛知教育大）

L-018　モバイルエージェント技術を用いた人物追跡システム : 複数システムを跨がった人物追跡手法の提案
…… ◎野村　温（鳥取大）・谷川浩三（メルコ・パワー・システムズ）・
高橋健一・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
L-019　スマートフォンにおけるフリック操作を用いたバイオメトリクス認証の基礎的検討
…… ◎山田健一朗・納富一宏（神奈川工科大）・斎藤恵一（国際医療福祉大）
L-020　スマートフォンにおけるログイン後の個人認証の一考察：免疫型診断モデルの適用に向けて
……○渡邊裕司・彭　　龍・藤田　奨（名古屋市大）
RL-002　STDS 認証方式における録画解析による攻撃への耐性に関する一検討 …… ◎喜多義弘（神奈川工科大）・
菅井文郎（宮崎大）・朴　美娘（神奈川工科大）・岡崎直宣（宮崎大）・
西村広光・鳥井秀幸・岡本　剛（神奈川工科大）
L-021　スマートフォンでのキーストロークダイナミクスにおける特徴量抽出の検討
…… ◎泉　将之・佐村敏治（明石高専）・西村治彦（兵庫県大）
L-022　日本語非定型文キーストローク認証におけるプロファイル生成手法
…… ◎松原慶朋・佐村敏治（明石高専）・西村治彦（兵庫県大）

［クラウドコンピューティング］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　山井　成良（岡山大）

L-023　通信時の条件に応じたソフトウェアダウンロード方式の検討 ……◎中原大貴・北山健志・西村　健・古澤康一（三菱）
L-024　IT/NW 統合アクセス制御方式の OpenStack 環境への適用 …… ○森田陽一郎（NEC）
L-025　メール送信サーバ情報送信量特性 ……◎山口翔生・中平勝子・北島宗雄（長岡技科大）
L-026　中大規模会議用携帯クラウドコンピューティング環境の概念
……○山之上卓・小田謙太郎・下園幸一・小荒田裕理（鹿児島大）
L-027　多者多重署名とその応用 …… ◎矢内直人（筑波大）・千田栄幸（一関高専）・
満保雅浩（金沢大）・花岡悟一郎（産総研）・岡本栄司（筑波大）
RL-003　準同型暗号を用いた複数企業間の顧客情報分析
……○安田雅哉・下山武司（富士通研）・横山和弘（立教大）・小暮　淳（富士通研）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

［ネットワーク運用］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7N 会場（共通教育棟 E 棟 4F E42）　　座長　山之上　卓（鹿児島大）
RL-004　地理的に分散したサーバ間のフェイルオーバ・フェイルバックを可能にする複製サーバ冗長化構成
……○大隅淑弘・山井成良・岡山聖彦・河野圭太・藤原崇起（岡山大）
L-028　周波数混在環境における無線 LAN による移動体通信制御の検証 ……◎大和田幸秀・松田勝敬（東北工大）
L-029　無線センサネットワークにおける免疫型統計的経路フィルタリングの高性能シミュレーターによる一検証
……○渡邊裕司・徐　英（名古屋市大）
L-030　ネットワーク接続管理技術を利用した機器の稼働時間推定手法 ……◎庄子祐亮・角田　裕・松田勝敬（東北工大）
L-031　オニオンルーティングの経路制御方式の提案 ……○佐藤　直・李　岩（情報セキュリティ大）
L-032　パケットフィルタリング最適化法の有効性について …… ◎野村圭太・田中　賢（神奈川大）・三河賢治（新潟大）
RL-005　Anycast RP の転送効率向上を目的とした配送経路の構築手法 …… ◎鍵田啓介（インターネットイニシアティブ）・東　達軌（ネクスト）・松澤智史・武田正之（東理大）

［ネットワークプロトコル］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　鈴木　聡（高エネルギー加速器研）
L-033　CUBIC TCP の輻輳ウィンドウ回復時間の制御による TCP 公平性の改善……◎神津智樹・山口実靖（工学院大）
RL-006　パケット優先破棄による TCP 公平性の改善 ……◎秋山友理愛・神津智樹・山口実靖（工学院大）
L-034　誤り訂正符号を用いたトランスポート層プロトコルの実装と評価 …… ◎島津圭佑（インターネットイニシアティブ）・東　達軌（ネクスト）・松澤智史・武田正之（東理大）
L-035　ネットワークの分割を用いたコントロールプレーン分離型 OpenFlow モデルの提案 …◎宮本翔平・今泉貴史（千葉大）
RL-007　SA46T-AS: アドレス変換を用いずに IPv4 アドレス共有を実現するカプセル化技術 ……○松平直樹（富士通）
L-036　量子鍵配送技術を想定したセキュア鍵共有のためのルーティングプロトコルの提案
……◎高橋莉里香・谷澤佳道・佐藤英昭・川村信一（東芝）

M 分野：ユビキタス・モバイルコンピューティング（第 4 分冊）

［ユビキタスセンシング・家電制御］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　岩井　将行（電機大）
M-001　速度と舵角に基づく自転車走行状態の高精度推定法 ……◎田端佑介・河内雄太・金田重郎（同志社大）
M-002　気圧・姿勢情報を用いた測位システムの鈴鹿サーキットにおける有用性検証
……◎岩波慶一朗・新井イスマイル・田中誠一（明石高専）
M-003　自動走行ロボットを用いた照度分布実測手法
……◎清水祐希・三木光範・西山大貴（同志社大）・下村浩史（DeNA）・間　博人（同志社大）
M-004　フロアセンサを利用した屋内行動推定の一検討 ……◎中澤昌美・池田和史・服部　元・滝嶋康弘（KDDI 研）
M-005　REST に基づく家電制御システムの設計と実装 ……◎盛山竜人・大場俊裕・武田利浩・平中幸雄（山形大）
M-006　ZigBee を使った双方向リモコンの標準データ形式……◎今井裕太郎・平中幸雄・武田利浩（山形大）

［測位技術］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　寺島　美昭（三菱）
M-007　カメラ画像と姿勢情報を利用したスマートフォン向け位置推定システムの研究
……◎打越大成・岩本健嗣・松本三千人（富山県大）
M-008　平均移動速度比に基づく位置情報からの滞留期間推定方式 …… ◎梅津圭介・多賀戸裕樹（NEC）
M-009　（講演取消）
M-010　Probe Request を用いた人流解析システム ……◎三神山駿・上善恒雄・森本哲郎・白濱勝太（大阪電通大）
M-011　位置時刻情報に基づく複数ビデオ映像の検索表示手法の提案
……◎市田智也・中村和己・島田秀輝・佐藤健哉（同志社大）

［スマートフォンアプリケーション］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　新井　イスマイル（明石高専）
M-012　スマートフォンを利用した高齢者見守りシステムの異常検出精度向上に関する研究
……◎猪股史也（東京都市大）・長井　渉（日立）・諏訪敬祐（東京都市大）
M-013　日常行動における歩行と昇降運動による心拍数への影響センシング ……◎中田貴大・岩井将行（電機大）
M-014　スマートフォンとクラウドサーバーを用いたポイントカードシステムの開発 ……◎岡本康太・深瀬政秋（弘前大）
M-015　AndroidADK を用いたユーザ参加型センシングの可能性……◎中下　岬・岩井将行（電機大）
M-016　スマートフォンの背面カメラを用いたモバイルアプリケーション操作の提案
……◎青塚祐一・棟方　渚・小野哲夫（北大）
M-017　オンラインソーシャルネットワークからのオフラインコミュニティ形成支援システム
……◎三村洸揮・松川大仁・島田秀輝・佐藤健哉（同志社大）

［モバイルアプリケーション］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　高田　敏弘（NTT）
M-018　ユーザ参加型センシングアプリにおいて計測者の人為的ミスを軽減する改良手法
……◎重田航平（電機大）・青木俊介・劉　広文・瀬崎　薫（東大）・岩井将行（電機大）
M-019　CMS と連携したユーザ参加型モバイル観光支援システムの開発
……◎長尾聡輝・加藤福己・浦田真由・安田孝美（名大）

M-020　広告興味度と配信距離に基づくユーザ適応型地域広告情報配信システムの提案
……◎鈴木吉輝・澤本　潤・杉野栄二・瀬川典久（岩手県大）
M-021　タブレット端末を利用したスマートな投票システムの実現
……◎藤江翔太郎・片山真也・渡邊正人・白松　俊・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
M-022　ファッション業界における RFID 導入により得られるデータの活用法に関する考察 ……◎小嶋彩香・森本祥一（専大）
M-023　内容の印象度に基づくインタラクティブな要約を用いたスライド推敲支援システム
……◎竹島　亮・大平茂輝・長尾　確（名大）

［センサネットワーク］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　岩井　将行（電機大）
M-024　Network Coding を用いたセンサアドホックネットワーク通信の性能解析　…○寺島美昭・河東晴子・若山俊夫（三菱）
M-025　間歇動作による低消費電力イメージセンサノードの開発と検証
……◎本多隼也・中川和歩・熊木武志・木股雅章・藤野　毅（立命館大）
M-026　ヘルスケア用センサをユースケースとした 400MHz 帯無線の伝搬特性評価と考察
……○梅本武司・村岡和裕・柳生健志（富士通九州ネットワークテクノロジーズ）
M-027　Continuous top-k query processing on horizontally-distributed data
…… ◎ Kamalas Udomlamlert・原　隆浩・西尾章治郎（阪大）
M-028　モバイルアドホックネットワークにおける Top-k 検索のための位置情報を用いた複製配置手法
……◎佐々木勇和・原　隆浩・西尾章治郎（阪大）

［マルチメディア通信と分散処理］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7P 会場（共通教育棟 E 棟 4F E43）　　座長　原　隆浩（阪大）
M-029　監視制御システム向けアプリケーションウィンドウクロップ伝送方式 ……○阿倍博信・川浦健夫・中島宏一（三菱）
M-030　Web アプリケーションへのマルチデバイス連携フレームワークの適用と評価
…… ○徳永徹郎・宮崎泰彦・井元麻衣子・中茂睦裕・市井亮美・加藤晃市（NTT）
M-031　消費電力計測器なしのグリーン指向ネットワーク管理フレームワークの提案
…… ○和泉　諭・中村直毅・菅沼拓夫（東北大）・白鳥則郎（早大 / 東北大）
M-032　ネットワークシステムの省電力化のためのプランニング手法 …◎栗原孝太・和泉　諭・阿部　亨・菅沼拓夫（東北大）
M-033　4K/8K 映像配信に適した MMT 誤り訂正符号の提案
…… ○外村喜秀・白井大介・仲地孝之・山口高弘・藤井竜也（NTT）

［街路における情報収集と提供］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　梅津　高朗（滋賀大）
M-034　モバイルアプリケーションによる移動履歴に基づいた公共交通機関の利用提案
……◎田中康平・伊藤昌毅・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
M-035　公共交通機関の利用者に向けた詳細なバス停の乗り場と，乗り場付近の地理的情報の提供
……◎辰田竜二・伊藤昌毅・菅原一孔・川村尚生（鳥取大）
M-036　バスの遅れ予測を目的とする，バスロケーションシステムから得た走行データの分析
……◎玉田　匡・伊藤昌毅・川村尚生・菅原一孔（鳥取大）
M-037　大規模なプローブデータを活用した渋滞推定技術におけるマップマッチング手法
……◎竹内智晴・平田飛仙・菅野幹人・飯塚　剛（三菱）
M-038　人の動きをやさしく支援するためのプローブデータ収集実証実験 …… ○松尾真悟（マイクロコート）・
野原　博（e- セレス）・波多江譲治（システムワークス）・常岡直樹（ヒューマンテクノシステム）・
芦原秀一（ネットワーク応用技術研）・古川　浩・福田　晃（九大）
M-039　市民の身近な気づきを音声でスマートに集める「アクティブ・プローブ」の開発
…… ○薄井智貴・森川高行・剱持千歩（名大）・本丸勝也（リベラ）

［車車間通信とシミュレーション］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　屋代　智之（千葉工大）
M-040　アプリケーション位置情報を利用した Geocast パケット伝送の効率化の検討
……◎多田正範・松本江里加・島田秀輝・佐藤健哉（同志社大）
M-041　緊急車両優先信号制御のための自動車アドホックネットワーク分散通信制御法
……◎太田　集・能登正人・米田征司（神奈川大）
M-042　車両センサとモバイルセンサを統合した運転行動センシングにおけるデータ解析
……◎中村裕貴（電機大）・劉　広文・瀬崎　薫（東大）・岩井将行（電機大）
M-043　Netlogo を用いた心理的状況を反映した交通シミュレーション ……◎水谷　亮・大森健児（法大）
M-044　ミクロ交通シミュレーションにおける信号付き交差点の簡略化モデルの提案
…… ◎與那嶺貴雄・赤嶺有平・上原和樹・遠藤聡志（琉球大）・根路銘もえ子（沖縄国際大）
M-045　大規模顧客に対する配送経路問題の解法 ……◎加来佑一朗・内村圭一・上瀧　剛・大村悦彰（熊本大）

N 分野：教育・人文科学（第 4 分冊）

［人文科学とコンピュータ］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　関野　樹（総合地球環境学研）
N-001　オブジェクト指向に基づく抽象造形表現のモデル化 …… ○藤井章博（法大）・合原勝之（アイハラデザインオフィス）
N-002　iPad を使った江戸期宮島町家通りの町歩き ……○三好孝治（広島工大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

RN-001　タブレット端末を用いたダンス創作支援のための動作合成システム
……○曽我麻佐子（龍谷大）・海野　敏（東洋大）・平山素子（筑波大）
N-003　Analysis of Household Accounts : Regional Characteristics of Household Expenditure
……◎鈴木　優・村舘靖之・須藤　修（東大）
N-004　出身分野に着目した研究者のネットワーク分析 , 教育学分野を対象に
……◎田中恭平・鈴木　裕・吉元涼介・荒川　唯・芳鐘冬樹（筑波大）
N-005　線形回帰分析による「漢字の将来」の予測（1963）と 50 年後の漢字使用率の実際
～分析方法と結果の再検討、および統計教育への教訓～ ……○綾皓二郎（石巻専修大）

［教育学習支援情報システム］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　安武　公一（広島大）
N-006　拡張現実を用いた授業支援教材における教育効果の検証 ……◎初谷拓郎・伊與田光宏・岡村拓哉（千葉工大）
N-007　センサーカメラによる心肺蘇生法の姿勢学習支援アプリケーション ……◎小原拓也・平間大貴・皆月昭則（釧路公大）
N-008　プログラミング演習におけるコミュニケーション支援のための HTML コードスニペット設計システムについて
……◎渡邊正人・藤江翔太郎・白松　俊・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
N-009　初心者向けマルチエージェントシステム学習支援ソフトウェアの設計と試作 ……◎岩田　篤・今野　将（千葉工大）
N-010　オンライン配布資料へのノート機能自動付与システムの提案
……◎星野裕樹・谷村　祐・西村広光・示野浩士・納富一宏（神奈川工科大）
N-011　研究活動のモチベーションを向上するゲーミフィケーションシステムの構築
…… 三木光範・◎西山大貴（同志社大）・下村浩史（DeNA）・奥西亮賀・間　博人（同志社大）
N-012　タッチ入力に対応した端末における制御系 CAD の開発 ……◎津村祐司・古賀雅伸・川端悠一郎（九工大）

［電子化知的財産・社会基盤］
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　橋本　誠志（徳島文理大）
N-013　観光行動論に基づく観光情報システムの類型化と効果の分析 ……◎白澤春奈・森本祥一（専大）
N-014　地方自治体の Facebook ページにおける投稿内容に関する考察：
神奈川県相模原市・石川県金沢市の Facebook ページをケーススタディとして ……◎上野　亮・飯島泰裕（青学大）
N-015　情報技術の応用研究としての就職・採用タスクの情報科学研究の提案 ……○金子　格（東京工芸大）
N-016　サイバーセキュリティ問題の分散型多元制約最適化によるモデル化と解法 …… ○沖本天太・
生貝直人（新領域融合研究センター /NII）・トニー リベイロ（総研大）・
井上克巳・岡田仁志（NII/ 総研大）・丸山　宏（総研大 / 統計数理研）
RN-002　情報セキュリティインシデントに対するヒューマンエラー対策の提案
……新原功一・○原田要之助（情報セキュリティ大）
N-017　（講演取消）
RN-003　電子マネー利用意向の規定要因および規定要因間の関係の実証研究
……○渡部和雄（東京都市大）・岩崎邦彦（静岡県大）・梅原英一（東京都市大）

［コンピュータと教育］
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7Q 会場（共通教育棟 E 棟 5F E51）　　座長　鈴木　貢（島根大）
N-018　Android 端末とツリー型ネットワークを用いたペーパーレス韓国語学習支援システムの開発
……◎森　湧紀・金　義鎭・金　恵鎭（東北学院大）
N-019　情報技術学習支援システムの開発と学習評価 :-MT 法による解答要因の推定 -
……◎瀬沼航太郎・宮川裕介・泉　　隆（日大）
N-020　e-Learning システムにおけるコンテンツ自動分類手法の検討 ……◎宮川裕介・瀬沼航太郎・泉　　隆（日大）
N-021　情報環境学部の「情報科教育法」への取り組み（その 4）……○土肥紳一・今野紀子（電機大）
N-022　初学者のためのプログラミング助言支援システムの開発 ……◎大島康裕・六沢一昭（千葉工大）
N-023　プログラム問題のコードレビューを取り入れた情報系分野の解説書の輪講支援システムの試作
……○豊田竜也・川鯉光起・富永浩之（香川大）

O 分野：情報システム（第 4 分冊）

［QR コードと画像処理］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　　座長　吉留　健（鳥取大）
O-001　HiddenQR コード：一般画像に埋め込まれた QR コードについて ……◎草薙祥広・古本啓祐・森井昌克（神戸大）
O-002　カラー二次元コードの読み取り特性 ……Damri Samretwit・槇　俊孝・○若原俊彦（福岡工大）
O-003　埋め草コードを利用した QR コードの高誤り訂正 ……◎青山直樹・渡辺優平・森井昌克（神戸大）
RO-001　レゴブロックのための 3 次元近似形状組み立て支援システム
…… ◎北川佑樹・高井昌彰（北大）・高井那美（北海道情報大）
O-004　個人番号カード用顔画像を利用した災害時安否情報登録システム
……○鈴木裕之・郷治　光・平良奈緒子・小尾高史・大山永昭（東工大）

［エネルギー・ネットワーク］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　　座長　刀川　眞（室蘭工大）
O-005　グリーン指向ネットワーク管理フレームワークに基づく IP 電話システムの自律化制御
…… ○稲葉　勉（NTT 東日本）・和泉　諭・中村直毅・菅沼拓夫・白鳥則郎（東北大）
O-006　近似式による家庭用燃料電池の効果推定 ……◎柴野直人・金田重郎・井上　怜（同志社大）

O-007　共通負荷線方式に基づくエネファーム制御手法の提案 ……◎井上　怜・金田重郎・柴野直人（同志社大）
O-008　変動緩和用途の鉛蓄電池寿命予測手法の開発
……○横田登志美・井上秀樹・郡司圭子（日立）・福原啓介（日立化成）・伊東良晃（新神戸電機）
RO-002　移動中継ノードを利用した DTN 環境の構築 ……◎多氣真之輔・小板隆浩（同志社大）
O-009　フィールド調査負荷を考慮した動物の生態行動を逆利用したデータ運搬手法の提案
……◎中川慶次郎・小林博樹・奥野淳也（東大）・岩井将行（電機大）・瀬崎　薫（東大）

[照明システム・センシング]
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　座長　神沼　靖子（情報処理学会フェロー）
O-010　BACnet を介した知的照明システムの実現可能性の検証
……三木光範・◎谷口　武・吉田健太・池上久典・吉田拓馬・間　博人（同志社大）
O-011　BACnet を用いた知的照明システムにおける大規模構成の検討
……三木光範・◎吉田拓馬・間　博人・吉田健太・池上久典・谷口　武（同志社大）
O-012　PC 作業時に選好する輝度分布の検証と個別の輝度分布を提供する照明制御システム
……三木光範・◎池上久典・東　陽平・榊原佑樹（同志社大）
O-013　知的照明システムにおける照明光度とセンサ照度に関する影響度係数の数理計画法を用いた推定
……三木光範・◎榊原佑樹・間　博人・善　裕樹・吉田健太・池上久典（同志社大）
O-014　スマートフォンの照度センサを用いた知的照明システムの基本的検証
……三木光範・◎桑島　奨・東　陽平・間　博人（同志社大）
O-015　モーションセンサによる異常検知とベイジアンネットワークによる誤センシングデータの除去
……◎大塚孝信・伊藤孝行（名工大）

[電力情報分析]
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　座長　若原　俊彦（福岡工大）
RO-003　ライフパターンセンサ開発のための長期フィールドデータ収集システム
……○久代紀之・井手太一（九工大）・勝倉　真・樋熊利康（三菱）
RO-004　スマートハウスにおける電力変動からの不正アクセス検知の検討 ……◎奥村晃弘・白石善明・岩田　彰（名工大）
O-016　色彩照度計を用いずに，照度センサのみで各執務者の要求した照度と色温度を実現する知的照明システム
……三木光範・◎川島梨沙・東　陽平・池上久典・間　博人（同志社大）
O-017　人感センサを用いた照明制御システムと知的照明システムの消費電力削減効果の比較
……三木光範・◎小野林功昇・間　博人・池上久典・奥西亮賀（同志社大）
O-018　知的照明において照明光度がセンサ照度に与える影響度係数の推定における有効ログデータ抽出手法
……三木光範・◎橋本瑠璃亜・間　博人・吉田健太・池上久典・榊原佑樹（同志社大）
O-019　知的照明システムにおける稼働ログデータの自動解析および運用 / 稼働報告書作成支援システムの構築
……三木光範・◎市川　燿・榊原祐樹・間　博人（同志社大）

[画像情報システム]
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　座長　高橋　尚子（國學院大）
O-020　（講演取消）
O-021　衛星画像データ解析システムの地理情報共有機能
……◎岩崎信也・遠藤省吾・塚本勢児・山口崇志・花田真樹・朴　鍾杰・布広永示（東京情報大）
O-022　時系列地図情報の単一平面上表現の実装
……◎遠藤省吾・岩崎信也・塚本勢児・山口崇志・花田真樹・朴　鍾杰・布広永示（東京情報大）
O-023　写真から抽出した色彩分布を用いた景観解析
……○北田能士（デジタルハリウッド大 / フレイム）・遊佐怜子（フレイム）
O-024　圃場センサネットワークを用いた農作業内容の推定 ……○中西　惇・安井顕誠・原田史子・島川博光（立命館大）
O-025　階層型フィルタリング手法を用いた監視カメラデモシステム開発とその評価
……◎柳原裕樹・本多隼也・熊木武志・藤野　毅（立命館大）

[データマイニング]
9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　座長　内田　理（東海大）
RO-005　データマイニングによるプライバシー侵害を防ぐデータベース構築
……○金森祥子（情報通信研究機構）・川口嘉奈子（千葉大）・田中秀磨（防衛大）
O-026　ヒット現象の数理モデルによる AKB 総選挙予測 ……◎太田　奨・石井　晃（鳥取大）
O-027　ヒット現象の数理モデルにおける　広告費と売り上げの関係性 ……◎谷村　徹（鳥取大）
O-028　構造化されたコンセプトに基づく M-GTA を用いた Web サイト設計手法の提案
……◎大塚卓馬・野田祐希・金田重郎（同志社大）
O-029　国会答弁の言語特徴量と印象の相関調査 ……◎御崎　淳・成見　哲（電通大）
RO-006　Twitter におけるコミュニティ分析に関する検討 ……◎佐藤真弥子・吉開範章・栗野俊一（日大）
O-030　日中足株価を用いた株式掲示板と株式市場の関係：SoftBank の事例 … ○梅原英一（東京都市大）・諏訪博彦（電通大）

[スマートフォンアプリ]
9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7R 会場（共通教育棟 E 棟 5F E52）　座長　石野　正彦（福井工大）
O-031　音声認識とジェスチャ機能を用いた PC 操作 ……◎杉本拓也・伊奥田光宏・岡村拓哉（千葉工大）
O-032　意味解析によるカテゴリ階層型検索インタフェースの構築法 ……◎槇　俊孝・若原俊彦（福岡工大）
O-033　（講演取消）
O-034　心臓リハビリテーションにおける運動療法支援システムの開発
……◎伊深大祐（釧路公大）・岩崎武史（釧路孝仁会記念病院）・皆月昭則（釧路公大）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

O-035　脳梗塞に対する気付きアプリケーションの開発
……◎本田遥香（釧路公大）・岩崎武史（釧路孝仁会記念病院）・皆月昭則（釧路公大）
RO-007　プロセッサ抽象化 API 利用アプリケーションの並列処理タスクへのプロセッシングエレメントの動的な配分機構の Android 実装 ……◎榊原宏章・白石善明・岩田　彰（名工大）

［地域・ビジネスモデル（1）］
9 月 4 日（水）09:30 ～ 12:00　　1S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　江崎　和博（法大）
O-036　教育コンテンツのネット公表に関するプラットフォーム ……○児玉晴男（放送大 / 総研大）
O-037　情報システム、製品開発プロセス、組織文化、マーケティング戦略と企業の競争優位性 ……○濱岡　豊（慶大）
O-038　地域コミュニティ活性化のための情報連携基盤システム " ブロックページ "…… ◎西本昂平（名工大）・桑原英人（ARCHES）・三矢勝司（名工大）・伊藤俊一（ARCHES）・岩田　彰（名工大）
O-039　回覧板モデルを利用した地域コミュニケーション支援システムの試作
……◎中野克哉・白松　俊・大囿忠親・新谷虎松（名工大）
O-040　実証実験による在宅勤務の課題の評価 ……◎齋藤充宏・梅澤克之（日立）
O-041　ワークスタイル改革に向けた従業員満足度の評価方法
……○梅澤克之・齋藤充宏・楢木將人・礒川弘実・萱島　信（日立）

［地域・ビジネスモデル（2）］
9 月 4 日（水）13:00 ～ 15:00　　2S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　新川　芳行（龍谷大）
RO-008　ユニバーサル大災害時避難路報知システムの研究 …… ○福本一朗（長岡技科大）・佐橋　昭・佐橋　拓（Project I）
O-042　科目難易度を考慮したＧＰＡに関する方式の比較評価 ……◎稲垣麻央・能上慎也（東理大）
RO-009　要求分析のための日本語版ビリヤードボールモデルの提案 ……○井田明男・金田重郎（同志社大）
O-043　ビジネスシステムにおける要件定義方法についての考察
…… ○石野正彦（福井工大）・工藤　司（静岡理工科大）・五月女健治（法大）・片岡信弘（東海大）
RO-010　行動センシングデータを用いたクリエイティブオフィス最適化方法の提案 ……◎辻　聡美・佐藤信夫（日立）
RO-011　ビジネス顕微鏡を用いた業績向上に貢献する指標探索アプリケーションの開発
……○佐藤信夫・福間晋一・矢野和男（日立）

［ビジネス・流通］
9 月 4 日（水）15:30 ～ 17:30　　3S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　金田　重郎（同志社大）
O-044　ヒューマンエラー防止のための作業律の判定手法
……◎問谷洋平（立命館大）・西出恭平・早川孝之（三菱）・原田史子・島川博光（立命館大）
O-045　脳波によるヒューマンエラーの予兆となる注意力の低下の検知
……◎稲田脩二（立命館大）・早川孝之（三菱）・黄　宏軒・原田史子・島川博光（立命館大）
O-046　オンライン家計簿ココマネにおける鳥取県の消費動向の分析 ……○村舘靖之・須藤　修（東大）
O-047　（講演取消）
O-048　拒絶理由通知書の引用関係ネットワークに基づく知財ポートフォリオ自動構築手法の精度評価
……◎成田麻美・東本崇仁・赤倉貴子（東理大）

［レコメンデーションと WebAPI］
9 月 5 日（木）09:30 ～ 12:00　　4S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　西　宏之（崇城大）
O-049　美味しさモデルと栄養状態を考慮した料理レシピ推薦システム ……◎狩野達哉・山口崇志（東京情報大）
O-050　スマート冷蔵庫を用いた家族向け献立推薦システム ……◎川瀬聖也・黄　潤和（法大）
RO-012　購買意欲促進のための複数指標からの種類間比較に基づく衣服の推薦
…… ◎吉田拓也・島川博光・原田史子（立命館大）・近藤　司（ヤフー）
RO-013　個人に合わせて " たとえ " るコンシェルジュサービスの評価検討
…… ◎望月理香・渡部智樹・並河大地・田中　清・山田智広（NTT）
RO-014　マッシュアップを対象とした WebAPI 検索システム ……◎井上紘希・小板隆浩（同志社大）
O-051　インターネットサービスでの放送番組の参照のための識別子についての検討 …… ○中川俊夫（NHK 放送技研）
O-052　SNS の追加機能の評価 ……○山守一徳（三重大）

［防災・減災］
9 月 5 日（木）15:30 ～ 17:30　　5S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　丸山　文宏（富士通研）
O-053　Twitter のつぶやき発信地推定法に関する提案 ～大規模災害発生時における Twitter の活用に向けて～
……○坂巻英一（宮城大）
O-054　東日本大震災時のツイート分析によるデマ判別に有効な特徴抽出
…… ◎榎本　光・内田　理（東海大）・鳥海不二夫（東大）
O-055　Twitter を用いた大規模災害時における情報提供システム
…… ◎六瀬聡宏・長島　俊・内田　理（東海大）・鳥海不二夫（東大）
O-056　（講演取消）
O-057　日常利用可能な災害時支援システムにおける外出先での利用を促す通知機能の評価
……◎濵村朱里（和歌山大）・福島　拓（静岡大）・吉野　孝・江種伸之（和歌山大）
RO-015　通信途絶地域との通信を行うための DTN アーキテクチャに基づくプロトコル提案と試作
……◎秋山洋平・小林亜樹（工学院大）

[行動マイニング]

9 月 6 日（金）09:30 ～ 12:00　　6S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　岡本　学（NTT）

O-058　手首装着型カメラによる摂食記録手法の提案 ……◎永田　健・山岸勇貴・河合　純・金田重郎（同志社大）
O-059　ライフログによる居住者安否確認システムの開発 …… ◎勝倉　真・小川雄喜・樋熊利康（三菱）・久代紀之（九工大）
RO-016　行動を表す単語に着目した Twitter からの行動抽出
……◎矢野裕司（電通大）・横井　健（都産業技術高専）・橋山智訓（電通大）
O-060　投射型スクリーンを持つシールドルームの雑音特性評価 ……◎板井亮佑・松井大輔・鷲　浩二（大分高専）
O-061　歩行状態の自動識別に関する検討 ……◎吉田慶介・大山　実（電機大）
O-062　生活パターンセンサの変動要因の分析に基づいた評価環境
…… ○樋熊利康・小川雄喜・勝倉　真（三菱）・久代紀之（九工大）

[位置情報マイニング]

9 月 6 日（金）13:00 ～ 16:00　　7S 会場（共通教育棟 E 棟 5F E53）　　座長　福田　洋治（愛知教育大）

RO-017　移動様態に応じたパーティクルフィルタによる歩行者自律測位方式の提案と評価 …… ◎秋山高行（日立）・
中原　豪・山崎勝也（日立アドバンストシステムス）・大橋洋輝・佐藤暁子（日立）
RO-018　ライブ情報共有のためのすれちがい通信アプリの Xcode 実装 ……◎藤田大樹・高井昌彰（北大）
O-063　多数アクセスポイント環境下における建物内位置推定 ……◎菊池剛多・大山　実（電機大）
O-064　加速度センサによる経路状態の把握とバリアフリーへの応用 ……◎岡村拓哉・伊與田光宏（千葉工大）
RO-019　迷子探しを目的とした屋内位置情報サービスの構築 ……◎木村峻介・松本卓人・浜中雅俊・李　昇姫（筑波大）
O-065　混合ポアソンモデルによる道路状態推定 ……◎木下　僚（東大）・高須淳宏・安達　淳（NII）

※このプログラムは、インターネットで申し込まれた登録データを元に作成されています。（所属は略称表記）
※ 著者の○、◎はそれぞれ講演者を示し、◎は「FIT ヤングリサーチャー賞」受賞候補の資格対象であることを示します。（2013 年 12 月 31 日時点で 32 歳以下）
※ 講演番号の分野の前に「R」が付いているものは、FIT 査読付き論文の採択論文です。

FIT2013　第 12 回情報科学技術フォーラム　論文査読者一覧

青木　直史（北大）
青木　直史（北大）
青木　啓文（NEC）
青木　義満（慶大）
秋岡　明香（明大）
安里　　彰（富士通）
阿部　昭博（岩手県大）
阿部　匡伸（岡山大）
天野　英晴（慶大）
荒井　秀一（東京都市大）
荒牧　英治（京大）
櫟　　粛之（NTT）
安藤　慎吾（NTT）
伊沢　亮一（NICT）
石井　大祐（早大）
石川　孝明（早大）
石川　冬樹（NII）
板倉陽一郎
（ひかり総合法律事務所）
一井　信吾（東大）
市瀬龍太郎（NII）
一戸　信哉（敬和学園大）
井出　一郎（名大）
伊藤　一成（青学大）
伊藤　京子（阪大）
糸山　克寿（京大）
井上　　明（甲南大）
井上　智雄（筑波大）
井ノ口宗成（新潟大）
入江　　豪（NTT）
入江　英嗣（電通大）
岩井　将行（電機大）
上杉　志朗（松山大）
植田　　武（三菱）
宇田川佳久（東京工芸大）
梅谷　俊治（阪大）
江崎　和博（法大）
遠藤　俊徳（北大）
遠藤　　守（中京大）
大川　　猛（宇都宮大）
大川　剛直（神戸大）
大須賀昭彦（電通大）
大瀧　保広（茨城大）
大津　金光（宇都宮大）
大平　雅雄（和歌山大）
岡崎　直宣（宮崎大）
岡本　秀輔（成蹊大）
岡本　昌之（東芝）
岡本　　学（NTT）
岡本　吉央（電通大）
小川　浩平（阪大）
小川　祐樹（立正大）
奥山　祐市（会津大）
鏡　　慎吾（東北大）
梶原　誠司（九工大）
柏崎　礼生（阪大）
片岡　信弘（元東海大）
片上　大輔（東京工芸大）
金川　信康（日立）
金子　晴彦（東工大）
兼宗　　進（大阪電通大）
上條　浩一（日本 IBM）
亀岡　弘和（NTT/ 東大）
亀田　能成（筑波大）
亀山　　渉（早大）
河合　吉彦（NHK 放送技研）
川島　裕崇（豊田自動織機）
河村　彰星（東大）
川本　一彦（千葉大）
岸田　和明（慶大）
来嶋　秀治（九大）
北村　泰彦（関西学院大）
木下　賢吾（東北大）
木下　哲男（東北大）
清見　　礼（横浜市大）
國宗　永佳（信州大）
久保田真一郎（熊本大）
蔵川　　圭（NII）
栗原　　聡（電通大）
桑原　和宏（立命館大）
鯉渕　道紘（NII）
児玉　公信（情報システム総研）
小西　達裕（静岡大）
小西　宏志（NTT）
小林　達也（KDDI 研）
小向　太郎（情報通信総研）
小森　政嗣（大阪電通大）
齋藤　大輔（東大）
斎藤　寿樹（神戸大）
酒澤　茂之（KDDI 研）
酒田　信親（阪大）
坂本比呂士（九工大）
櫻井　祐子（九大）
酒向　慎司（名工大）
定兼　邦彦（NII）
柴田　知秀（京大）
白井啓一郎（信州大）
白石　善明（名工大）
新川　芳行（龍谷大）
新谷　虎松（名工大）
須川　賢洋（新潟大）
菅原　俊治（早大）
須栗　裕樹（宮城大）
鈴木　　聡（高エネルギー加速器研）
鈴村豊太郎（東工大）
須永　　宏（大阪工大）
住吉　正人（東芝）
関　　洋平（筑波大）
関　　良明（NTT）
関嶋　政和（東工大）
関野　　樹（総合地球環境学研）
瀬々　　潤（東工大）
高木　幸一（KDDI）
高木　基宏（NTT）
高橋　尚子（國學院大）
刀川　　眞（室蘭工大）
伊達　宗和（NTT）
田中　貴紘（農工大）
田仲　正弘（NICT）
田邊　勝義（名桜大）
田辺　浩介
（次世代図書館システム）
田原　康之（電通大）
田村　圭子（新潟大）
中鉢　欣秀（産業技術大）
全　　眞嬉（東北大）
塚田　晃司（和歌山大）
辻　　秀一（東海大）
土屋　達弘（阪大）
鄭　　顕志（NII）
土井　裕介（東芝）
東本　崇仁（東理大）
戸田　浩之（NTT）
富岡　亮太（東大）
冨澤　眞樹（前橋工科大）
鳥海不二夫（東大）
中尾　敏康（NEC）
中島　康彦（奈良先端大）
中島　　悠（東邦大）
中野　眞一（群馬大）
中村　一博（日本工大）
中村　友洋（日立）
中村　　登（九工大）
中村　素典（NII）
永森　光晴（筑波大）
新見　道治（九工大）
西　　宏行（崇城大）
西出　隆志（筑波大）
西尾　典洋（目白大）
沼尾　正行（阪大）
根本　俊男（文教大）
野上　保之（岡山大）
野本　忠司（国文学研究資料館）
橋本　誠志（徳島文理大）
橋本　直己（電通大）
橋本　直己（電通大）

橋本　正樹（情報セキュリティ大）
畑山　満則（京大）
服部　文夫（立命館大）
塙　　大（名古屋市大）
林　　勇吾（筑波大）
檜垣　泰彦（千葉大）
平手　勇宇（楽天）
平山　勝敏（神戸大）
深田　秀実（小樽商科大）
福島　　拓（静岡大）
福田　直樹（静岡大）
福原　知宏（産総研）
福本　　聡（首都大）
藤井　　敦（東工大）
藤澤　克樹（中大）
藤田　　悟（法大）
藤田　　茂（千葉工大）
藤波　香織（農工大）
藤村　　考（大妻女子大）
堀米　　明（フィジオ）
牧野　貴樹（東大）
巻渕　有哉（KDDI 研）
松尾　翔平（NTT）
松田　昌史（NTT）
松本　直人（さくらインターネット）
三浦　　武（秋田大）
三木　良雄（日立）
光原　弘幸（徳島大）
密山　幸男（高知工科大）
峯　　恒憲（九大）
宮下　敬宏（ATR）
宮部　真衣（京大）
三好　健文
　　（イーツリーズ・ジャパン）
三輪　富生（名大）
村上　陽平（京大）
守岡　知彦（京大）
森本　容介（放送大）
森山　甲一（阪大）
安本　慶一（奈良先端大）
柳沢　　豊（NTT）
矢野　博明（筑波大）
山井　成良（岡山大）
山内　利宏（岡山大）
山内由紀子（九大）
八槇　博史（電機大）
山下　直美（NTT）
山下　博之（IPA）
山田　一郎（NHK）
山田　太造（東大）
山田　隆亮（日立）
山田　武士（NTT）
山中　克久（岩手大）
山本　　奏（NTT）
山本　岳洋（京大）
山本　知仁（金沢工大）
山元　規靖（福岡工大）
山本　泰生（山梨大）
横澤　　誠（京大）
吉浦　紀晃（埼玉大）
吉岡　真治（北大）
美添　一樹（JST）
吉田　明正（明大）
吉田　一星（日本 IBM）
吉田　和幸（大分大）
吉田　　稔（徳島大）
吉見　真聡（電通大）
米山　暁夫（KDDI）
若原　俊彦（福岡工大）
脇田　　健（東工大）
渡辺　健次（広島大）
渡邊　伸行（金沢工大）
渡辺　昌洋（NTT）
渡邊真由子（NTT）

他　3 名

以上　計 230 名　（50 音順・敬称略）

IPSJ：情報処理学会
ISS ：電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ
HCG：電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ

FIT 委員名簿

FIT 運営委員会

IPSJ 委員長	西尾章治郎（阪大）
ISS 副委員長	安浦寛人（九大）
IPSJ 委員	中田登志之（NEC），砂原秀樹（慶大），菊池浩明（明大），安本慶一（奈良先端大）， 池内克史（東大）
ISS 委員	村瀬洋（名大），荒川賢一（NTT ドコモ），佐藤真一（NII），境田慎一（NHK 技研）， 石渡要介（三菱），数井君彦（富士通研）
HCG 委員	黒岩眞吾（千葉大），今井順一（千葉工大）
実行委員長	砂原秀樹（慶大 /FIT2013），坂井修一（東大 /FIT2014）
プログラム委員長	荒川賢一（NTT ドコモ /FIT2013），安本慶一（奈良先端大 /FIT2014）

FIT2013 実行委員会

委員長	砂原秀樹（慶大）
幹事	菊池浩明（明大 /IPSJ），石渡要介（三菱 /ISS）
会計幹事	砂原秀樹（慶大 /IPSJ），小島明（NTT/ISS）
IPSJ 委員	阿萬裕久 (愛媛大), 伊藤彰則（東北大), 小川剛史（東大), 片寄晴弘 (関西学院大), 小松文子（IPA）， 曾剛（名大），高田敏弘（NTT），西崎真也（東工大），安武公一（広島大）
ISS 委員	荒川賢一（NTT ドコモ), 柏野邦夫（NTT), 栗原聡（阪大), 小池康晴（東工大), 佐藤真一（NII）， 津田宏治（産総研），灘本明代（甲南大）
HCG 委員	伊藤昌毅（鳥取大），縄手雅彦（島根大）
委員（現地）	菅原一孔（鳥取大），高橋健一（鳥取大）

FIT2013 プログラム委員会

委員長	荒川賢一（NTT ドコモ）
幹事	片寄晴弘（関西学院大 /IPSJ），佐藤真一（NII/ISS）
IPSJ 委員	岩井儀雄（鳥取大），上椙英之（神戸学院大），菊池浩明（明大），北原鉄朗（日大）， 城田祐介（東芝），関嶋政和（東工大），高木幸一（KDDI），平手勇宇（楽天），山際基（山梨大）
ISS 委員	石川冬樹（NII），石渡要介（三菱），井原雅行（NTT），全眞嬉（東北大），中尾敏康（NEC）， 松原繁夫（京大），森秀樹（東洋大），森井昌克（神戸大）

FIT2013 現地実行委員会

委員長	菅原一孔（鳥取大）
副委員長	山田茂（鳥取大）
幹事	高橋健一（鳥取大）
委員	伊藤昌毅（鳥取大），井上真二（鳥取大），岩井儀雄（鳥取大），大森幹之（鳥取大）， 川村尚生（鳥取大），木本雅也（鳥取大），近藤克哉（鳥取大），笹間俊彦（鳥取大）， 清水忠昭（鳥取大），田中美栄子（鳥取大），得能貢一（鳥取大），松村幸輝（鳥取大）， 徳久雅人（鳥取大），村田真樹（鳥取大），本村真一（鳥取大），藪田義人（鳥取大）， 横田孝義（鳥取大），吉村宏紀（鳥取大）

FIT2013 研究会担当委員

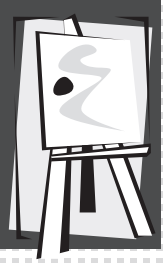
IPSJ 委員	天笠俊之（筑波大），阿萬裕久（愛媛大），伊藤彰則（東北大），今泉貴史（千葉大）， 岩井儀雄（鳥取大），上椙英之（神戸学院大），梅津高朗（滋賀大），大内一成（東芝）， 小川剛史（東大），加藤雅彦（IIJ），北原鉄朗（日大），栗原聡（阪大），栗原恒弥（日立）， 小松文子（IPA），小松孝徳（明大），佐藤寿倫（福岡大），庄野逸（電通大），城田祐介（東芝）， 関嶋政和（東工大），曾剛（名大），高木幸一（KDDI），高田敏弘（NTT），高橋尚子（國學院大）， 田部井靖生（JST），中山泰一（電通大），西崎真也（東工大），平手勇宇（楽天）， 深澤佑介（NTT ドコモ），福田浩章（芝浦工大），村松正和（電通大），森信介（京大）， 安武公一（広島大), 山際基（山梨大), 山口実靖（工学院大), 山田太造（東大), 山田浩史（農工大）， 渡邊淳司（NTT）
ISS 委員	石川冬樹（NII），井原雅行（NTT），柏野邦夫（NTT），川村正樹（山口大），木村聡貴（NTT）， 栗原聡（阪大），小池康晴（東工大），小西達裕（静岡大），鈴木基之（阪工大）， 滝沢穂高（筑波大), 竹内広宜（日本 IBM), 全眞嬉（東北大), 津田宏治（産総研), 中尾敏康（NEC）， 中村友洋（日立），灘本明代（甲南大），野地保，藤村考（大妻女子大），松尾翔平（NTT）， 松原繁夫（京大），森秀樹（東洋大），森井昌克（神戸大），柳原正（トヨタ IT 開発センター）， 山田裕（東芝），吉永努（電通大），吉野孝（和歌山大），鷲崎弘宜（早大）
HCG 委員	伊藤昌毅（鳥取大），今井順一（千葉工大），渋井進（鹿児島大），田中貴紘（農工大）， 縄手雅彦（島根大）

この度の FIT 開催にあたりましては、鳥取大学様よりキャンパスを会場としてご提供頂き誠にありがとうございました。
ここに厚くお礼申し上げます。

FIT 運営委員会

MEMO

「情報処理」表紙デザイン募集!!



情報処理学会 会誌「情報処理」編集委員会は読者の方々にとってより親しみやすく，また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し，日々努力しております．

つきましては，来年の表紙デザインを広く募集いたします．奮ってご応募ください．採用された方には賞金を贈呈いたします．

会誌編集委員会

応募条件
- 表紙のデザイン（裏表紙，背表紙は含まず）．
- A4 判（天地 297mm ×左右 210mm）4 色フルカラー．
- 描画手法は問いません．
- 「情報処理」の題字，巻号，法定文字，記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください．
- 簡単なデザインコンセプトを添えてください．
- 応募資格は問いません．

注意事項
- 応募作品は返却いたしません．
- 採用作品の掲載にあたって，学会側で多少の変更をさせていただく場合があります．
- 採用作品の著作権（著作権法第 27 条，第 28 条の権利を含む）は情報処理学会に帰属します．
- 応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について，第三者との間に紛争が生じた場合は，作者がその責を負う）．
- 応募される場合は，上記注意事項に同意されたものとみなします．

応募締切　2013 年 11 月 5 日（火）（必着）
結果通知　2013 年 11 月下旬
賞　　金　採用者 1 名に 5 万円
送付先／照会先　一般社団法人　情報処理学会　会誌編集部門　〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5　化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp　Tel.03-3518-8371　Fax.03-3518-8375

二〇三年八月二十日発行

編集兼発行人　下間芳樹
東京都千代田区神田駿河台一―五（化学会館4F）

印刷所　トーヨー企画株式会社
東京都千代田区飯田橋一―五―八

発行所　一般社団法人　情報処理学会
東京都千代田区神田駿河台一―五（化学会館4F）

電子戦の技術 基礎編

●デビッド・アダミー著／
河東晴子・小林正明・阪上廣治・徳丸義博訳　A5判・380頁　定価4410円

◆電子戦（Electronic Warfare）とは、電波・電磁波を活用した軍事活動の総称。本書は、現代型の戦争において重要かつ基本的な技術として必要なレーダー技術と無線通信技術に関する技術解説書。電子戦技術を現場で使えるものとするための実践的なテキストとして各方面で利用されている。

詳解 EMC工学
実践ノイズ低減技法

●ヘンリー・オットー著／出口博一・田上雅照・高橋丈博監訳　B5判・648頁　定価9975円

◆原著は 20 年ぶりの大改訂！電子機器の設計者には欠かせない知識と技術について、理論的な説明から実践的な説明までを現在の最新技術に即した形で解説。

群知能とデータマイニング

●Ajith Abrahamlほか編／栗原聡・福井健一訳
A5判・320頁　定価3780円

◆昆虫や鳥は群れになると秩序だった集団行動をとる。群れとなることで知的な行動をとる様子を群知能と呼ぶ。本書は群知能を計算機上で再現し、その性質をデータマイニング技術に利用する研究について解説。

カルマンフィルタの基礎

●足立修一・丸田一郎著
A5判・240頁　定価3045円

◆カルマンによって提案されたカルマンフィルタは、50 年以上経った現在でも、理論と応用の両面において活発に研究開発されている。本書は、カルマンフィルタの理論をわかりやすく解説した教科書。学習の理解を深める多くの演習問題を掲載。

アジャイルソフトウェア開発技術シリーズ ●長瀬嘉秀監修

◆近年のソフトウェア開発には迅速・適応的・軽量が求められており、それに応えるべく登場したのがアジャイル手法である。すでに世界中で取り入れられ、数々の成果をあげている。本シリーズは、アジャイル開発技術を短時間で効率よく習得できるようにと考えられた実践的教科書。

基礎編 Java
●浜川剛・山下智也編　A5判・224頁　定価2625円

基礎編 Ruby
●川端崇裕編　A5判・228頁　定価2625円

基礎編 データベース
●橋本大輔編　A5判・208頁　定価2625円

応用編 アジャイル概論
●設楽秀輔・中佐藤麻記子編　A5判・200頁　定価2625円

応用編 テスト駆動開発
●設楽秀輔編　A5判・208頁　定価2625円

応用編 リファクタリング
●設楽秀輔編　A5判・208頁　定価2625円

TDU 東京電機大学出版局
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-14-8　TEL 03-5280-3433(営業)
URL http://www.tdupress.jp/　FAX 03-5280-3563